Panasonic

取扱説明書 活用ガイド

デジタルカメラ
品番 DC-G99D

LUMIX

困ったときは?

メッセージ表示 P274

Q&A 故障かな？と思ったら P276

知りたいことの探し方 P2

目次 P4

機能別目次 P9

各部の名前と働き P15

メニューガイド P164

さくいん P293

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。**

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
https://panasonic.jp/support/dsc/

DVQP2778ZA
F0422AJ0

知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。ページ番号をクリックすると、該当ページへ移動して、知りたい情報を素早く見つけ出せます。

目次から探す [目次] をクリックしても、移動できます。	P4 ～
機能の名前から探す	P9 ～
ボタンやダイヤルから探す	P15 ～
画面やアイコンから探す	P269 ～
メッセージから探す	P274 ～
メニュー名から探す [MENU メニューガイド] をクリックしても、移動できます。	P164 ～
Q&A から探す	P276 ～
キーワードから探す [さくいん] をクリックしても、移動できます。	P293 ～

❶ クリックすると、「知りたいことの探し方」のページに移動します。

❷ クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

本書の見方

使用できるモード： P A S M

説明している機能がどの撮影モードで使用できるかを表しています。

- 黒のアイコン　　：使用できるモード
- グレーのアイコン　：使用できないモード

C1 C2 は登録した撮影モードによって使用できる機能が変わります。

■ 本文中の記号について

MENU：　[MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi：　[Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

：　上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

：　特定の機能が使用できなくなる条件を記載しています。

(P∗∗)：参照するページを示しています。クリックすると、そのページに移動します。

- 本文中やさくいんのページ番号をクリックすると、該当ページへ移動します。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。
例)撮影メニューで、[クオリティ] を [ ] に設定する

MENU ボタン→ [撮影]→[クオリティ]→[ ]

- 本書では交換レンズ(H-FSA14140)を用いて説明しています。

目次

知りたいことの探し方 2
本書の見方 3
機能別目次 9

1. はじめに

ご使用の前に 11
同梱品 13
各部の名前と働き 15
使用できるレンズ 18

2. 準備と基本操作

ショルダーストラップの取り付け 19
バッテリーの充電 20
- チャージャーを使った充電 20
- バッテリーの挿入 21
- カメラ本体を使った充電 22
- 撮影枚数、撮影可能時間 25

カード(別売)の挿入 26
使用できるメモリーカード 28
- カードのフォーマット(初期化) 29
- 記録可能枚数、記録可能時間 29

レンズの取り付け 31
モニター位置の変更 34
時計の設定(初めて電源を入れるとき) 35
基本操作 37
- カメラの構え方 37
- ファインダー撮影について 38
- シャッターボタン(写真の撮影) 39
- 動画ボタン(動画の撮影) 39
- モードダイヤル(撮影モードの選択) 40
- 前ダイヤル/後ダイヤル 40
- コントロールダイヤル 42
- カーソルボタン/[MENU/SET]ボタン 43
- [DISP.]ボタン(情報表示の切り換え) 43
- タッチパネル(タッチ操作) 46
- タッチ機能を使って撮る 47

メニューの設定方法 49
クイックメニュー 51
- クイックメニューをお好みの項目に変更する 52

Fnボタン 53
文字の入力 56

3. 撮影モード

かんたん撮影（インテリジェントオートモード）.....57
インテリジェントオートメニュー.....59
色合い･ボケ具合･明るさを変えて撮る.....60
プログラムAEモード.....61
絞り値/シャッタースピードを決めて撮る.....62
絞り優先AEモード.....62
シャッター優先AEモード.....63
マニュアル露出モード.....63
バルブ撮影.....64
ライブビューコンポジット撮影.....65
プレビューモード.....67
ワンプッシュAE.....68
カスタムモード.....69
カスタムセットへの登録.....69
カスタムセットを使う.....69
シーンガイドモード.....70
パノラマ写真を撮る（[パノラマで撮る]）.....73
クリエイティブコントロールモード.....75
画像効果の種類.....76

4. ピント・明るさ（露出）・色合いの設定

AFを使う.....80
フォーカスモードの選択（AFS、AFF、AFC）.....81
AF追従感度（写真）.....82
AFモードの選択.....83
AFエリアの移動操作.....87
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作.....90
タッチした位置にピントや明るさを合わせる.....91
MFで撮る.....92
ピントや露出の固定（AF/AEロック）.....95
露出補正.....96
ISO感度の設定.....97
ホワイトバランス（WB）の設定.....99
ホワイトバランスの調整.....101

5. 4Kフォト・ドライブの設定

ドライブモードの選択.....102
連写する.....103
4Kフォト撮影.....105
4Kフォトについてのお知らせ.....107
4K連写ファイルから写真を選ぶ.....110
写真を選ぶときの操作.....111
フォーカスセレクト撮影.....114
ピント位置を選んで写真を保存する.....116
フォーカス合成.....117

インターバル撮影/コマ撮りアニメ撮影 119
インターバル撮影 119
コマ撮りアニメ撮影 121
インターバル/コマ撮りアニメの動画 122
セルフタイマー撮影 123
ブラケット撮影 124
露出ブラケット 125
絞りブラケット 126
フォーカスブラケット 126
ホワイトバランスブラケット 127

6. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレ補正 128
手ブレ補正の設定 129
レンズの焦点距離を設定する 130
ズームを使って撮る 132
光学ズーム 132
望遠効果を上げる 132
タッチ操作でズームを使う（タッチズーム） 136
フラッシュを使う 137
フラッシュ機能の設定 138
発光モード、マニュアル発光量設定 138
フラッシュモード 138
フラッシュシンクロ 140
フラッシュ発光量調整 141
露出補正連動 141
ワイヤレスフラッシュ撮影 142
ワイヤレスフラッシュ撮影の設定 143

7. 動画撮影

動画を撮る 144
記録方式/画質設定 146
AF連続動作 147
AFカスタム設定（動画） 148
Log 撮影する（V-Log L） 148
動画撮影中に写真を撮る 149
スナップムービー 150
録音レベルの表示/設定 152
クリエイティブ動画モード 153
ハイスピード動画 154
4Kライブクロップ 155

8. 画像の再生・編集

写真の再生 157
動画の再生 158
写真の切り出し 159
表示方法の切り換え 160
拡大表示 160
サムネイル表示 160
カレンダー表示 161
グループ画像 162
画像の消去 163

9. メニューガイド

撮影モードの専用メニュー 164
撮影メニュー 165
動画メニュー 179
カスタムメニュー 182
セットアップメニュー 197
マイメニュー 206
再生メニュー 207

10. Wi-Fi/Bluetooth機能を使う

Wi-Fi®/Bluetooth®機能でできること 221
Wi-Fi/Bluetooth機能について 222
スマートフォンと接続する 224
「Image App」のインストール 224
スマートフォンとの接続（Bluetooth接続） 225
スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続） 227
初期設定以外の接続方法 229
Wi-Fi接続を終了する 230
スマートフォンでカメラを操作する 231
カメラの電源操作 231
リモート撮影 232
シャッターリモコン 233
撮影画像の再生/保存 234
撮影画像の自動転送 235
位置情報の記録 236
自動時刻合わせ 236
スナップムービーで撮影した動画の編集 237
テレビに写真を映す 238
カメラから画像を送る 239
スマートフォンに画像を送る 241
ワイヤレスでプリントする 242
AV機器に画像を送る 243
パソコンに画像を送る 244

Wi-Fi接続 246
ネットワーク経由 246
直接接続 248
以前と同じ設定でWi-Fi接続する 249
Wi-Fi設定メニュー 250

11. 他機器との接続

4K動画を他機器で見る/残す 252
4K動画を見る 252
4K動画を残す 252
テレビで見る 253
カメラの映像をモニターしながら撮る 254
ビエラリンク（HDMI）を使う 255
パソコンに画像を取り込む 256
ソフトウェアのダウンロード 256
パソコンに画像をコピーする 258
レコーダーにダビングする 260
プリントする 261
写真に日付や文字を入れる 263

12. その他・Q&A

別売品を使う 264
海外旅行先で使う 268
モニター/ファインダーの表示 269
メッセージ表示 274
Q&A　故障かな？と思ったら 276
使用上のお願い 285
さくいん 293

「取扱説明書 活用ガイド」は、下記サポートサイトでもご覧いただけます。
https://panasonic.jp/support/dsc/

機能別目次

撮影

撮影
撮影モード P40
プレビュー P67
バルブ撮影 P64
ライブビューコンポジット撮影 P65
パノラマ撮影 P73
インターバル撮影 P119
コマ撮りアニメ撮影 P121
ブラケット撮影 P124
サイレントモード P175
多重露出 P178

4Kフォト
4Kフォト撮影 P105
フォーカスセレクト撮影 P114

ピント(AF/MF)
AF P80
フォーカスモード P81
AF追従感度（写真） P82
AFモード P83
AFエリアの位置移動 P87
MF P92
AF/AEロック P95

ドライブ
ドライブモード P102
連写 P103
セルフタイマー P123

画質・色合い
ホワイトバランス P99
記録画素数 P166
クオリティ P166
フォトスタイル P167
フィルター設定 P169
色空間 P170
ハイライトシャドウ P171
iDレンジコントロール P172
超解像 P173
長秒ノイズ除去 P174
シェーディング補正 P174
回折補正 P175
HDR P177

露出
タッチAE P48
ワンプッシュAE P68
AF/AEロック P95
露出補正 P96
ISO感度 P97
露出ブラケット P125
測光モード P171

手ブレ補正
Dual I.S. P128
5軸ハイブリッド手ブレ補正 P128

フラッシュ
フラッシュモード P138
フラッシュシンクロ P140
フラッシュ光量調整 P141
ワイヤレスフラッシュ設定 P142

動画

動画
記録方式/画質設定 P146
動画撮影中の写真撮影 P149
スナップムービー P150

クリエイティブ動画モード
ハイスピード動画 P154
4Kライブクロップ P155

音声
録音レベル設定 P152
録音レベルリミッター P152
風音低減 P267
風音キャンセラー P180
レンズ動作音低減 P180

モニタリング
撮影時HDMI出力 P254
音声モニタリング P180

画面設定
録音レベル表示 P152
モノクロライブビュー P188
センターマーカー表示 P190
ゼブラパターン表示 P191

応用撮影
Log撮影（V-Log L） P148

目次
MENU メニューガイド
さくいん

セットアップ/カスタム

基本設定

フォーマット P29
時計設定 P35
視度調整 P38
クイックメニュー P51
電子音 P199
エコモード P200
リセット（初期化） P204
センサークリーニング P205

カスタマイズ

Fnボタン P53
カスタムモード P69
カスタムメニュー P182

再生

再生

写真の再生 P157
動画の再生 P158
再生ズーム P160
サムネイル表示 P160
消去 P163
オートレビュー P188
スライドショー P208
画像回転/縦位置自動回転 ..... P219、220

編集

4Kフォト一括保存 P110
フォーカスセレクト P114
フォーカス合成 P117
タイトル入力 P210
RAW現像 P211
比較明合成 P213
軌跡合成 P214
クリアレタッチ P215
文字焼き込み P216
リサイズ P217
トリミング P218

画像設定

プロテクト P209
レーティング P209

Wi-Fi/Bluetooth

Image App

Image App P224
リモート起動 P231
リモート撮影 P232
自動画像転送 P235

他機器連携

テレビで写真再生 P238
画像のプリント P242
AV機器に画像を送信 P243
パソコンに画像を送信 P244

他機器接続

パソコン

PHOTOfunSTUDIO P256
SILKYPIX P257
パソコンに画像を取り込む P258

テレビ

テレビで見る P253
ビエラリンク P255

レコーダー

ダビング P260

プリンター

PictBridge（ピクトブリッジ） P261

1. はじめに

ご使用の前に

■ カメラ/レンズのファームウェアについて

本機の性能向上や機能追加のため、ファームウェアアップデートを提供する場合があります。
より快適な撮影のために、カメラ/レンズのファームウェアを最新のバージョンにすることをお勧めします。

- **ファームウェアの最新情報やダウンロード、アップデート方法については、下記サポートサイトをご覧ください。**
  https://panasonic.jp/support/dsc/
- カメラ/レンズのファームウェアのバージョンは、カメラにレンズを取り付けて、セットアップメニューの[バージョン表示]でご確認ください。

■ カメラの取り扱いについて

カメラに、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。故障や破損の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- レンズ部やモニターを強く押さえつけないでください。

モニターに砂やほこり、液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。
- 付着したままモニターを収納すると、故障の原因になります。
- タッチ操作が誤認識される場合があります。

カメラのマウント内に手を入れないでください。
センサー部は精密機器のため、故障や破損の原因になります。

電源OFF時にカメラを振ると、センサーが動いたり、「カタカタ」音がしたりします。
ボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

■ 防じん防滴について

本機の防じん防滴構造は、ほこりや水滴の侵入を完全に防ぐものではありません。
防じん防滴性能を満足させるため、以下の注意事項をお守りください。
- 防じん防滴対応の当社製レンズを取り付けてください。
- カメラの扉部、端子キャップ、接点カバー、フラッシュなどは、しっかりと閉じてください。
- レンズやキャップを取り外したとき、扉を開けたときは、砂やほこり、水滴が内部に侵入しないようにしてください。
- 液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

■ 露付き(レンズやファインダー、モニターが曇るとき)

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になるためお気をつけください。
- 露付きが起こった場合は、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、自然に曇りが取れます。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

■ 必ず事前に試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に記録されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

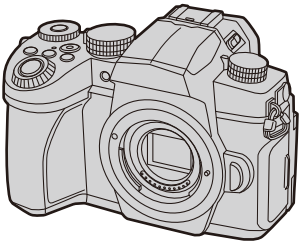
本機およびカードの不具合で記録されなかった場合、内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合があるためお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください（P285）

同梱品

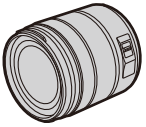


デジタルカメラボディ
（本書では**本体**と表記します）

記載の品番は2022年4月現在のものです。変更されることがあります。

DC-G99DH（レンズキット商品）に同梱

- **交換レンズ（H-FSA14140）は、防じん防滴対応です。**



交換レンズ
H-FSA14140
（本書では**レンズ**と表記します）

レンズフード
VYC1119

レンズキャップ ※
VYF3514

レンズリアキャップ ※
VFC4605

※ お買い上げ時はレンズに装着されています。

バッテリーパック DMW-BLC12 （本書では**バッテリー**と表記します） ● 充電してからお使いください。	**ショルダーストラップ** DVPW1001Z
バッテリーチャージャー※1 DMW-BTC12 （本書では**チャージャー**と表記します）	**ボディキャップ**※2 VKF4971
ACアダプター VSK0815J ● 充電や電力の供給に使用します。	**ホットシューカバー**※2 SKF0106K
USB接続ケーブル K1HY04YY0106	**バッテリーグリップ接点カバー**※2 SKF0145K

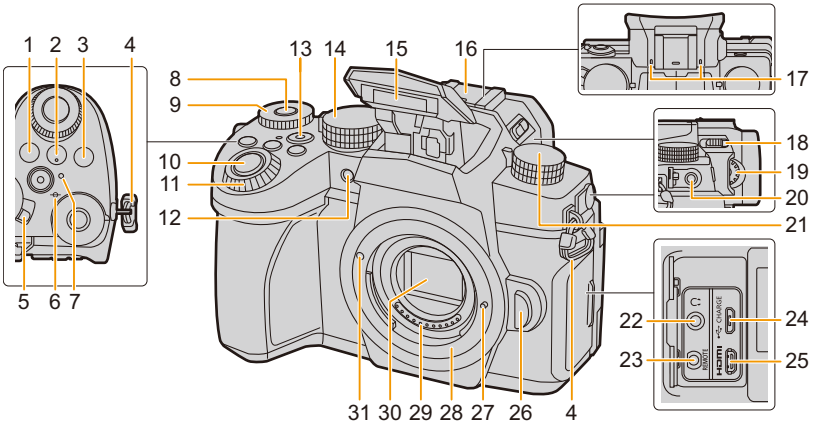
※1　DMW-BTC12(バッテリーチャージャー)は、ACアダプターおよびUSB接続ケーブルを含む別売品としてお買い求めいただけます。
　　バッテリーチャージャー単品をお買い求めの場合は、DVLC1001Zの品番でご注文ください。
※2　お買い上げ時は本体に装着されています。

- **メモリーカードは別売です。**
- 別売品については本書の 264 ページおよび付属冊子「取扱説明書」をご確認ください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

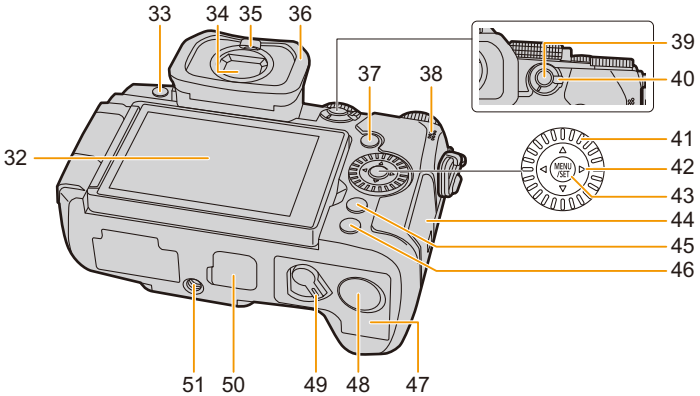
付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。
詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。
パナソニックグループのショッピングサイト
https://ec-plus.panasonic.jp/

各部の名前と働き

■ デジタルカメラボディ



1	[WB](ホワイトバランス)ボタン(P99)
2	[ISO](ISO感度)ボタン(P97)
3	[ ](露出補正)ボタン(P96)
4	ショルダーストラップ取り付け部(P19)
5	電源スイッチ(P35)
6	[ ](撮影距離基準マーク)(P93)
7	充電ランプ(P22)/ WIRELESS(ワイヤレス)接続ランプ(P222)
8	ダイヤル動作切換ボタン(P41)/ Fnボタン(Fn1)(P53)
9	後ダイヤル(P40)
10	シャッターボタン(P39)
11	前ダイヤル(P40)
12	セルフタイマーランプ(P123)/ AF補助光ランプ(P184)
13	動画ボタン(P144)
14	モードダイヤル(P40)
15	フラッシュ発光部(P137)
16	ホットシュー(ホットシューカバー)(P264)
17	ステレオマイク(P152) ●マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。
18	[ ](フラッシュオープンレバー)(P137)
19	視度調整ダイヤル(P38)
20	[MIC(マイク)]端子(P266)
21	ドライブモードダイヤル(P102)
22	ヘッドホン端子(P180)
23	[REMOTE(リモート)]端子(P266)
24	[USB/CHARGE(チャージ)]端子 (P22、258、260、261)
25	[HDMI]端子(P253)
26	レンズ取り外しボタン(P32)
27	レンズロックピン
28	マウント
29	接点
30	センサー
31	レンズ取り付けマーク(P31)



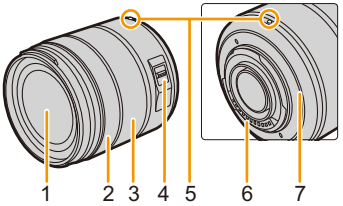
32	タッチパネル(P46)/モニター(P269)
33	[LVF]ボタン(P38)/[Fn3]ボタン(P53)
34	ファインダー(P38、286)
35	アイセンサー(P38)
36	アイカップ
37	[▶](再生)ボタン(P157)
38	スピーカー(P199)
39	[AF/AE LOCK]ボタン(P95)
40	フォーカスモードレバー(P80、81、92)
41	コントロールダイヤル(P42)
42	カーソルボタン(P43)/ ▲:Fnボタン(Fn9)(P53) ▶:Fnボタン(Fn10)(P53) ▼:Fnボタン(Fn11)(P53) ◀:[ ]（AFモード）ボタン(P80)
43	[MENU/SET]ボタン(P43、49)
44	カード扉(P26)

45	[Q.MENU]ボタン(P51)/ [Fn2]ボタン(P53)/ [🗑](消去)ボタン(P163)/ [↩](戻る)ボタン(P50)
46	[DISP.] ボタン(P43)
47	バッテリー扉(P21)
48	DCカプラー扉(P267) ● ACアダプターを使用するときは、当社製のACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。
49	開閉レバー(P21)
50	バッテリーグリップ接点カバー(P265)
51	三脚取り付け部(P290) ● ねじの長さが5.5 mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。

● **Fnボタン[Fn4]～[Fn8]は、タッチアイコンです。**
撮影画面の[Fn]タブをタッチすると表示されます。

■ 同梱レンズ

H-FSA14140



1	レンズ面
2	フォーカスリング(P92)
3	ズームリング(P132)
4	O.I.S.スイッチ(P128)
5	レンズ取り付けマーク(P31)
6	接点
7	レンズマウントラバー(P287)

使用できるレンズ

本機は、マイクロフォーサーズ™システムのレンズマウント規格に準拠した交換レンズ(マイクロフォーサーズマウント)を使うことができます。
また、マウントアダプターを装着することで以下のマウント規格のレンズを使用できます。

レンズ	マウントアダプター
フォーサーズ™ マウント規格レンズ	マウントアダプター(別売:DMW-MA1)
ライカ M マウント規格レンズ	Mマウントアダプター(別売:DMW-MA2M)
ライカ R マウント規格レンズ	Rマウントアダプター(別売:DMW-MA3R)

■ レンズと機能について

お使いのレンズによっては、AF、手ブレ補正、ズーム操作など一部の機能が使用できない、または動作が異なる場合があります。

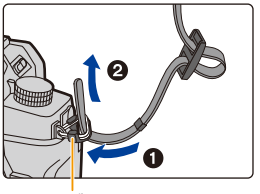
- 本機に対応するレンズの最新情報は、カタログ/ホームページをご覧ください。
  https://panasonic.jp/support/dsc/

- マイクロフォーサーズのレンズに表記されている焦点距離は、35 mmフィルムカメラで換算すると2倍に相当します。(50 mmレンズを使用した場合は、35 mm換算で100 mmレンズ相当になります)

ショルダーストラップの取り付け

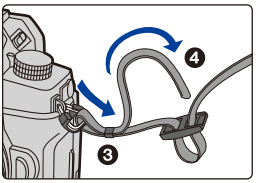
落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

1 ショルダーストラップを本体のショルダーストラップ取り付け部に通す

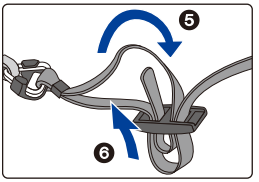


ショルダーストラップ
取り付け部

2 矢印に従って、ショルダーストラップの端をリングに通したあと、留め具に通す

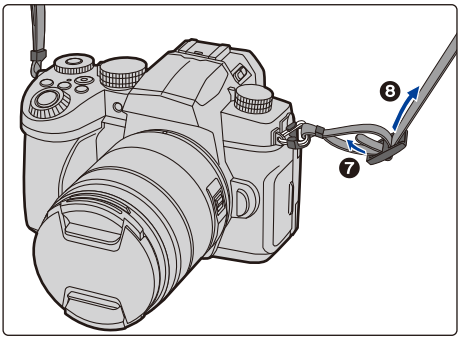


3 ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す



4 ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する

- 手順**1**～**4**の操作を行って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーの充電

バッテリーは付属のチャージャー、またはカメラ本体を使って充電できます。カメラの電源をオンにして、電源コンセントから電力を供給(給電)することもできます。

- **本機で使えるバッテリーは DMW-BLC12 です。(2022 年 4 月現在)**

- **お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。**

チャージャーを使った充電

充電時間	約175分

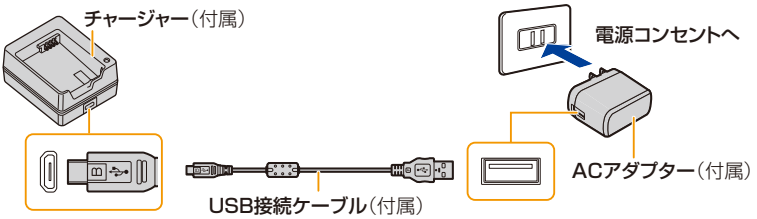
- 付属のチャージャーおよびACアダプターを使用。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

- **充電には本機の付属品をお使いください。**
- チャージャーは屋内で使用してください。

1 チャージャー(付属)とACアダプター(付属)をUSB接続ケーブル(付属)でつなぐ

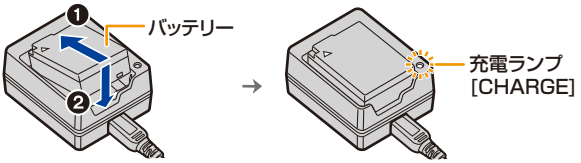
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)

2 ACアダプター(付属)を電源コンセントに差し込む



3 正しい向きにバッテリーを差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。



- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター(付属)とUSB接続ケーブル(付属)は他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

■ 充電ランプの表示

点灯：充電中

消灯：充電完了（充電完了後は、ACアダプター（付属）を電源コンセントから抜き、バッテリーを取り外してください）

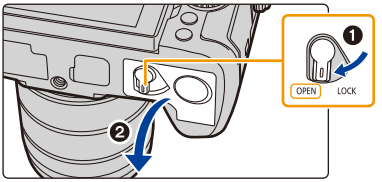
- **点滅するときは**
  - バッテリーの温度が高すぎる、あるいは低すぎます。周囲の温度が10 ℃～30 ℃のところで再度充電することをお勧めします。
  - チャージャーやバッテリーの端子部が汚れています。このようなときは、汚れを乾いた布でふき取ってください。

バッテリーの挿入

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

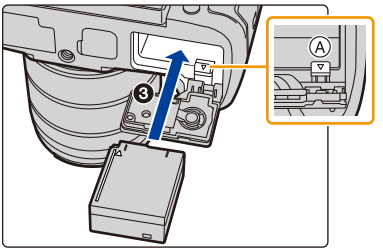
1 バッテリー扉を開く

- 開閉レバーを[OPEN]側にスライドします。



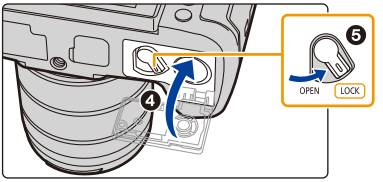
2 バッテリーを入れる

- バッテリーの端子部を奥にして、ロック音がするまでしっかりと押し込んでください。
- バッテリーにⒶのレバーがかかっていることを確認してください。



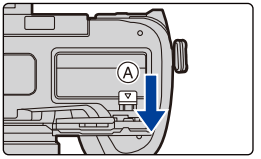
3 バッテリー扉を閉じる

- バッテリー扉を閉じて、開閉レバーを[LOCK]側にスライドします。



■ バッテリーを取り出す

Ⓐのレバーを矢印の方向に押して、
バッテリーを取り出す



- バッテリー扉の内側（ゴムパッキン）に異物が付着していないことを確認してください。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。（長期間放置すると、バッテリーは消耗します）
- **使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。**
- 電源を切り、モニターの「LUMIX」表示が完全に消えてから、バッテリーを取り出してください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります）
- バッテリーを取り出すときに、バッテリーが飛び出しますので、お気をつけください。

カメラ本体を使った充電

充電時間	約180分

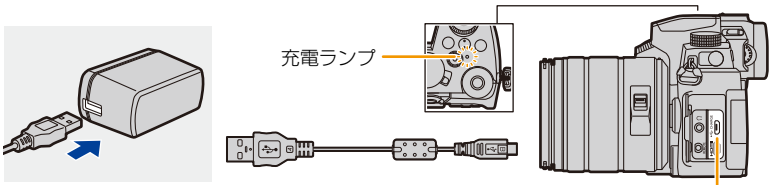
- カメラ本体と付属のACアダプターを使用。カメラの電源がオフの状態。
- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長期間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。

- **充電には本機の付属品をお使いください。**
- ACアダプター（別売：DMW-AC9）を使って充電することもできます。
- バッテリーグリップ（別売）に挿入したバッテリーは充電できません。

1 カメラの電源を切る

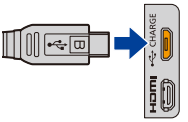
2 カメラにバッテリーを入れる

3 カメラの［USB/CHARGE］端子とACアダプター（付属）をUSB接続ケーブル（付属）でつなぐ



［USB/CHARGE］端子に接続する

- カメラを立てたときに上側にある端子です。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。（斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



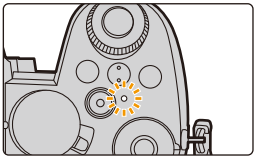
目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

4　ACアダプター（付属）を電源コンセントに差し込む

- 電源スイッチを[OFF]にして電源を切った状態でも、電力を消費しています。
  長期間使用しないときは、節電のため、ACアダプター（付属）を電源コンセントから抜いてください。
- USB機器（パソコンなど）とカメラをUSB接続ケーブル（付属）でつないで充電することもできます。
  この場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプターまたは当社製ACアダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。
  故障の原因になります。
- ACアダプター（付属）とUSB接続ケーブル（付属）は他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。

■ 充電ランプの表示

赤色点灯：充電中
消灯：　充電完了（充電完了後は、電源との接続を解除してください）



- **点滅するときは**
  - 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。
    周囲の温度が10 ℃～30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところでUSB接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
  - USB機器（パソコンなど）の給電能力が低い場合は、充電できません。

電力の供給（給電）

本機が電源オンの状態で電源コンセント（ACアダプター（付属））やUSB機器（パソコンなど）に接続すると、USB接続ケーブル（付属）を経由して、電力を供給（給電）できます。

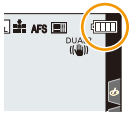
- 本機にバッテリーを入れてください。
- 給電時は、画面に［ ］が表示されます。

- **撮影中など使用状況によって、バッテリーを消耗する場合があります。バッテリー残量がなくなると、電源が切れます。**
- ACアダプター（付属）を抜き差しする場合は、本機の電源を切ってください。
- USB機器（パソコンなど）の給電能力によっては、給電できない場合があります。
- 周囲の温度が高い場合や、連続で給電した場合は、本機の温度が上昇します。［ ］が表示されたあと、一時的に給電できなくなることがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

充電 / 給電についてのお知らせ

■ バッテリー残量表示



	75% 以上
	50% ～ 74%
	25% ～ 49%
	24% 以下
赤色点滅	残量不足 ● バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

● 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

- **パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。**
  なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- USB延長ケーブルは使用しないでください。
- ACアダプター（付属）とUSB接続ケーブル（付属）は、他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- ACアダプター（付属）は海外でも使用できます。（P268）
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。電源プラグを接続し直してください。
- キーボードやプリンターのUSB端子やUSBハブには接続しないでください。
- 接続したパソコンが休止状態になると、充電/給電が中止されることがあります。

撮影枚数、撮影可能時間

付属のバッテリーを使用して撮影できる枚数と時間は下記のとおりです。
- 写真の記録可能枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。
- 当社製SDHCメモリーカード使用。
- 交換レンズ（H-FSA14140）使用。
- 記載している数値は目安です。

■ 写真記録（モニター使用時）

記録可能枚数	約290枚

■ 写真記録（ファインダー使用時）

（　）内は［省電力ファインダー撮影］の［時間］を［1秒］に設定し、［省電力ファインダー撮影］が働いた場合の数値です。

記録可能枚数	約290枚（約1000枚）

■ 動画撮影（モニター使用時）

記録方式	AVCHD	MP4	
画質設定	FHD/17M/60i	FHD/28M/60p	4K/100M/30p
撮影可能時間	約100分	約100分	約90分
実撮影可能時間	約50分	約50分	約45分

- 実撮影可能時間とは、電源の［ON］/［OFF］切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■ 再生（モニター使用時）

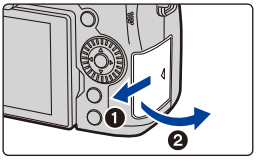
再生使用時間	約230分

- **使用時間と撮影枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、以下の場合は、使用時間と撮影枚数は減少します。
  – スキー場などの低温下
  – フラッシュ発光を繰り返したとき
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。
  新しいものをお買い求めください。

カード(別売)の挿入

● 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

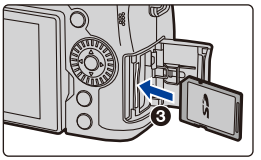
1 カード扉をスライドして開く

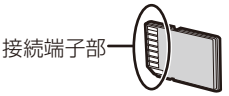


2 カードを「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

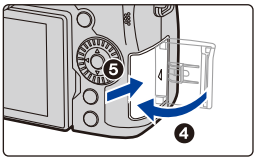
● カードの向きを確認してください。

● カードの接続端子部には触れないでください。



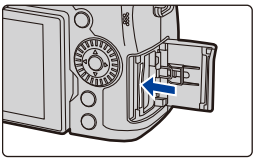


3 カード扉を閉じて、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで確実に扉をスライドする



■ カードの取り出し

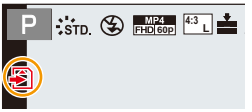
「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



● 電源を切り、モニターの「LUMIX」表示が完全に消えてから、カードを取り出してください。
(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります)

■ カードアクセス中の表示

アクセス表示
カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- **アクセス中(画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など)は、以下の操作をしないでください。カードや撮影データが壊れることや、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  - 電源を切る
  - バッテリーやカード、ACアダプター(別売:DMW-AC10)、DCカプラー(別売:DMW-DCC8)を取り外す
  - 本機に振動、衝撃や静電気を与える
- **振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。**

使用できるメモリーカード

本機では、SD規格に準拠した以下のカードを使用できます。(本書では、**カード**と表記します)

SDメモリーカード(512 MB～2 GB)/microSDカード※	● 本機は UHS-I/UHS-II UHS Speed Class 3 規格のSDHC/SDXCメモリーカードに対応しています。 ● 左記の当社製カードで動作確認済みです。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)/microSDHCカード※	
SDXCメモリーカード(48 GB～128 GB)/microSDXCカード※	

※ 本機で使用する場合は、専用のアダプターを装着してお使いください。

■ 動画撮影時や4Kフォト撮影時のスピードクラスについて

以下のSDスピードクラスや UHSスピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。
  カードのラベル面などでご確認ください。

記録方式	画質設定	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4　4
MP4	FHD/HD		
	4K	UHS Speed Class 3	3

ハイスピード動画/4Kフォト撮影/フォーカスセレクト撮影	UHS Speed Class 3	3

- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。**
  https://panasonic.jp/support/dsc/

- 書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- カードに記録されたデータは電磁波、静電気、本機やカードの故障などにより壊れたり消失したりすることがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

カードのフォーマット（初期化）

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。**フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。**

MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリー、またはACアダプター（別売：DMW-AC10）とDCカプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。
- フォーマット中は電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- 他の機器でフォーマットしたカードは、もう一度本機でフォーマットしてください。

記録可能枚数、記録可能時間

- 記載している数値は目安です。

■ 記録可能枚数（写真：枚）

● 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [▪▪▪] の場合

記録画素数	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(20M)	1450	2910	5810	11510
M(10M)	2630	5280	10510	20810
S(5M)	4600	9220	17640	34940

● 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW▪▪▪] の場合

記録画素数	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(20M)	450	900	1810	3590
M(10M)	520	1050	2110	4180
S(5M)	570	1150	2290	4550

■ 記録可能時間（動画撮影時）（h: 時間、m: 分、s: 秒）

記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

● 記録方式 [AVCHD] の場合

画質設定	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
FHD/28M/60p	1h10m	2h30m	5h00m	9h55m
FHD/17M/60i	2h00m	4h05m	8h15m	16h25m
FHD/24M/30p FHD/24M/24p	1h25m	2h55m	5h50m	11h35m

目次
MENU メニューガイド
さくいん

● **記録方式 [MP4] の場合**

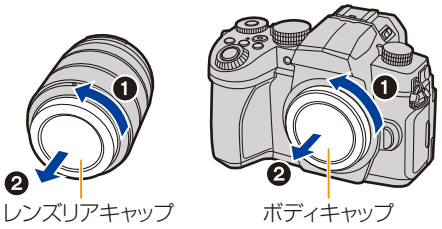
画質設定	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/100M/30p 4K/100M/24p	20m00s	41m00s	1h25m	2h45m
FHD/28M/60p	1h10m	2h25m	5h00m	9h55m
FHD/20M/30p	1h35m	3h15m	6h40m	13h15m
HD/10M/30p	3h05m	6h20m	12h45m	25h20m

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数･記録可能時間は変動します。
- 記録可能枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面では[9999＋]と表示されます。
- 記録方式[AVCHD]の場合：
  ファイルサイズが4 GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存されます。（撮影は中断することなく続けることができます）
- 記録方式[MP4]（[画質設定]のサイズが[FHD]/[HD]）の場合：
  連続記録時間が30分を超える場合やファイルサイズが4 GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存･再生されます。（撮影は中断することなく続けることができます）
- 記録方式[MP4]（[画質設定]のサイズが[4K]）の場合：
  以下の条件ではファイルは分かれて保存･再生されます。（撮影は中断することなく続けることができます）
  SDHCメモリーカード使用時： ファイルサイズが4 GBを超える場合
  SDXCメモリーカード使用時： 連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96 GBを超える場合
- **画面には、連続して動画を記録できる時間が表示されます。**

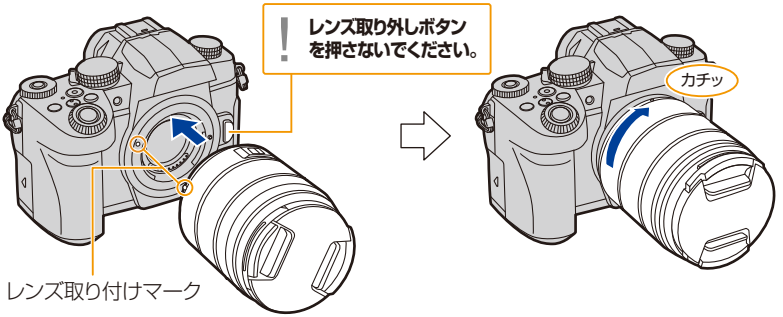
レンズの取り付け

- 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。
- レンズの交換は、ごみやほこりの少ない場所で行ってください。ごみなどが付着した場合は：(P286)

1 レンズリアキャップとボディキャップを矢印の方向に回して外す



2 レンズ取り付けマークを合わせて、レンズを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回す

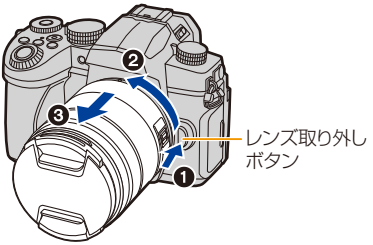


- レンズを本体に対して傾いた状態で付けようとすると、本体のレンズ取り付け部を傷つけるおそれがありますのでお気をつけください。

■ レンズの取り外し

● レンズキャップを取り付けてください。

レンズ取り外しボタンを押しながら、レンズを矢印の方向に止まるまで回して外す



● 本体からレンズを取り外すと、ほこりなどが付着、侵入するおそれがあります。ボディキャップとレンズリアキャップを必ず付けてください。

■ レンズフードの取り付け

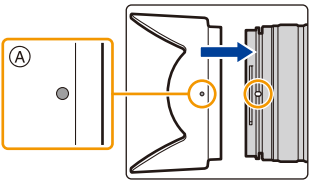
日差しが強い逆光での撮影時、レンズ内部で光の乱反射が生じて、光が写り込んだり、コントラストが低下したりすることを軽減します。余分な光を遮り、より美しく撮ることができます。

交換レンズ（H-FSA14140）に付属しているレンズフード（花型）を取り付ける場合

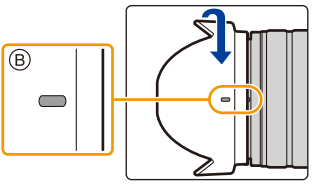
レンズフードを図のように指を添えて持ってください。

● レンズフードをゆがませるような持ち方はしないでください。

1　レンズフードの指標Ⓐ（●）とレンズ先端の指標を合わせる

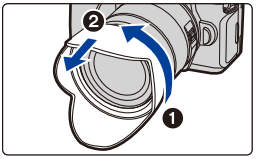


2　レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回し、レンズフードの指標Ⓑ（▭）とレンズ先端の指標を合わせる



■ レンズフードの取り外し

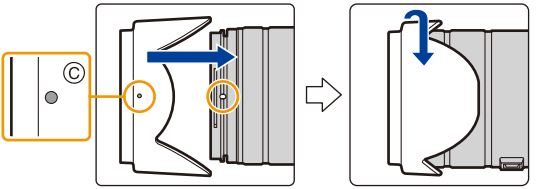
レンズフードを矢印の方向に回して取り外す



レンズフードを一時的に逆向きに付けて運ぶ

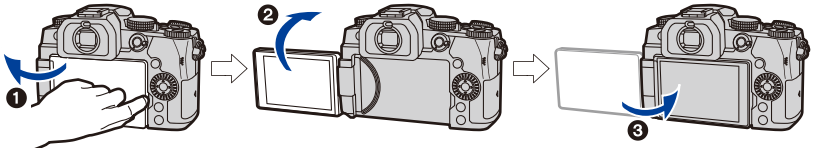
例：H-FSA14140 の場合

❶ レンズフードを取り外す
❷ レンズフードの指標 ⓒ（●）とレンズ先端の指標を合わせる
❸ レンズフードを矢印の方向に「カチッ」と音がするまで回して付ける



モニター位置の変更

お買い上げ時、モニターは収納状態になっています。
下図のようにしてモニター面を表にします。



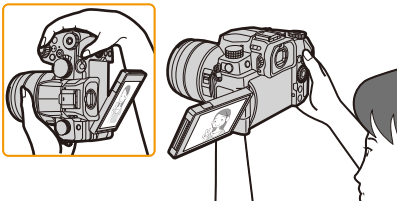
❶ モニターを開く（最大180° まで開きます）
❷ レンズ方向に180° 回転する
❸ 元の位置へ閉じる

- **モニターを回転するときは、無理な力を加えないようお気をつけください。故障の原因になります。**

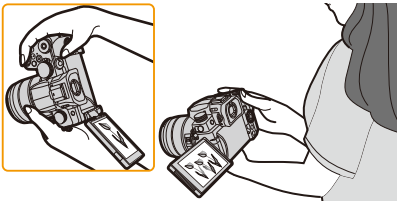
■ フリーアングル撮影

モニターの角度を調整すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

ハイアングル撮影



ローアングル撮影

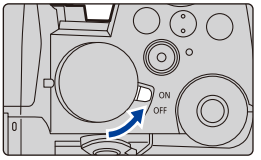


- モニターを使用しないときは、汚れや傷防止のためモニターを内側に収納しておくことをお勧めします。

時計の設定(初めて電源を入れるとき)

● お買い上げ時は、時計が設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする



2 [MENU/SET]ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ ボタンで設定する

: ホームの時間
: 旅行先の時間

表示順・時刻表示形式を設定する場合

● [表示形式]を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

表示順　時刻表示形式

4 [MENU/SET]ボタンを押す

5 [時計を設定しました]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す

6 ［ホームエリアを設定してください］と表示されたら、［MENU/SET］ボタンを押す

7 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

GMT（グリニッジ標準時）との時差

■ 時計を合わせ直す

MENU ボタン→ [セットアップ]→［時計設定］

- 35 ページの手順**3**、**4**の操作で変更できます。

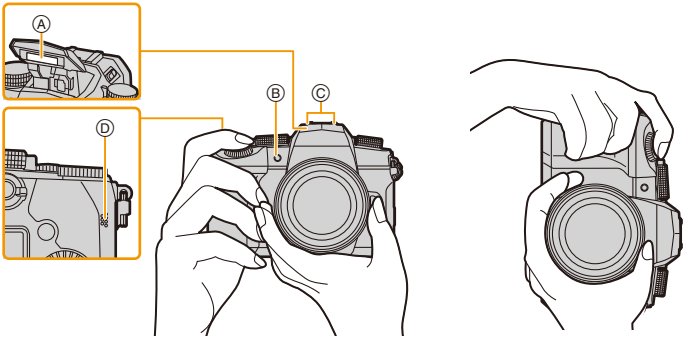
- **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計設定を記憶できます。（内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください）**
- 正しい日付をプリントするには、撮影前に時計を設定してください。

基本操作

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **フラッシュ発光部(Ⓐ)やAF補助光ランプ(Ⓑ)、マイク(Ⓒ)、スピーカー(Ⓓ)を指などで塞がないでください。**
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



■ 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

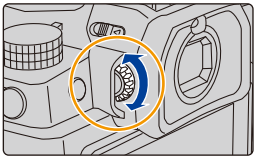
本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出します。再生時に自動で縦向きに表示できます。([縦位置自動回転]を[ON]に設定した場合)

- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上や下に向けて撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かない場合があります。
- 動画、4K連写ファイルおよびフォーカスセレクト撮影した画像は、縦向きに表示できません。

ファインダー撮影について

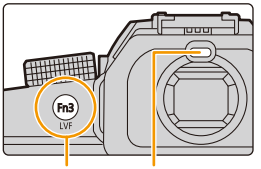
ファインダーの視度の調整

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるように、視度調整ダイヤルを回してください。

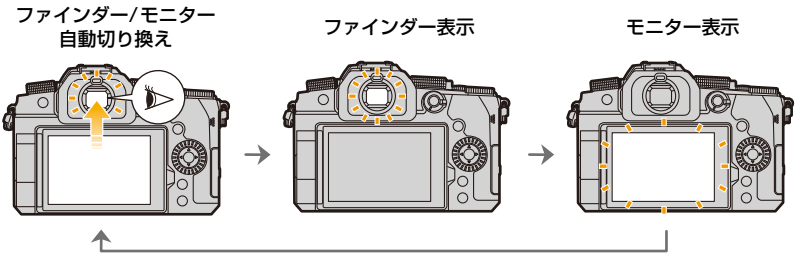


モニターとファインダーの切り換え

[LVF] ボタンを押す



[LVF]ボタン　アイセンサー



■ ファインダー/モニター自動切り換え

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

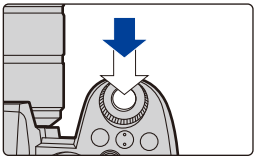
- バッテリーの消耗を抑えるには、[エコモード](P200)の[省電力ファインダー撮影]を設定してください。
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中およびスライドショー中は、ファインダー/モニター自動切り換えが働きません。
- モニターの角度によっては、アイセンサーが働きません。
- カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の[アイセンサーAF]を[ON]に設定した場合、ファインダーをのぞいたときにピントを合わせます。[アイセンサーAF]でピントが合っても電子音は鳴りません。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

シャッターボタン（写真の撮影）

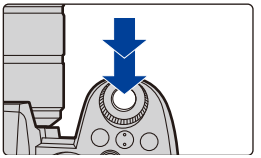
シャッターボタンは2段式になっています。

シャッターボタンを半押し（軽く押す）してピントを合わせる



- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正な露出が得られないときは、赤くなり点滅します）
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。（ピントが合わないときは点滅します）

シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する



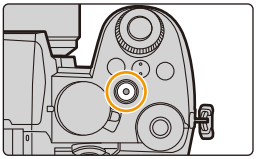
- **シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。**
- **［フォーカス/レリーズ優先］を［フォーカス］に設定した場合、ピントが合うまで撮影できません。**
- メニュー操作中や画像の再生中にシャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できる状態になります。

動画ボタン（動画の撮影）

動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。

もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

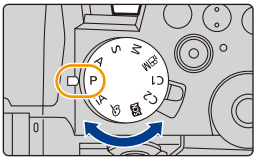


目次
MENU メニューガイド
さくいん

モードダイヤル（撮影モードの選択）

モードダイヤルを回して、撮影モードを選択する

- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

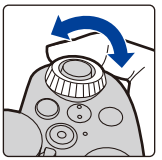


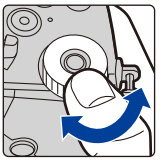
iA	インテリジェントオートモード(P57)
	インテリジェントオートプラスモード(P58)
P	プログラムAEモード(P61)
A	絞り優先AEモード(P62)
S	シャッター優先AEモード(P63)
M	マニュアル露出モード(P63)
M	クリエイティブ動画モード(P153)
C1 C2	カスタムモード(P69)
SCN	シーンガイドモード(P70)
	クリエイティブコントロールモード(P75)

前ダイヤル/後ダイヤル

回す：項目や数値を選択します。

- 本書では次のように説明しています。
  - 前ダイヤルを左右に回すとき：
  - 後ダイヤルを左右に回すとき：


前ダイヤル


後ダイヤル

P / A / S / M モード時は、絞りやシャッタースピードなどを設定します。

モードダイヤル	前ダイヤル	後ダイヤル
P	プログラムシフト	プログラムシフト
A	絞り値	絞り値
S	シャッタースピード	シャッタースピード
M	絞り値	シャッタースピード

■ ISO感度設定画面でダイヤルに割り当てる機能を設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→[操作]→[ISO感度画面の操作]→[前/後ダイヤルの割当]

ISO/ISO	ISO感度/ISO感度
ISO LIMIT/ISO	ISOオート上限設定/ISO感度
OFF/ISO	OFF/ISO感度
ISO/ISO LIMIT	ISO感度/ISOオート上限設定
ISO/OFF	ISO感度/OFF

■ 露出補正画面で▲/▼ボタンおよびダイヤルに割り当てる機能を設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→[操作]→[露出補正画面の操作]

上/下ボタンの割当		露出ブラケット
	OFF	OFF
前/後ダイヤルの割当		露出補正/露出補正
		フラッシュ光量調整/露出補正
	OFF/	OFF/露出補正
	/	露出補正/フラッシュ光量調整
	/OFF	露出補正/OFF

前後のダイヤルの動作を一時的に変更する（ダイヤル動作切換）

1 Fnボタンに[ダイヤル動作切換]を設定する (P53)

- お買い上げ時は、Fn ボタン（Fn 1）に設定されています。

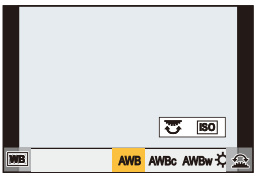
2 Fnボタンを押す

- 前後のダイヤルに割り当てた機能のガイドが表示されます。
- 何も操作をしない場合、数秒後にガイドの表示が消えます。

3 ガイドが表示されている間に、前後のダイヤルを回す

4 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

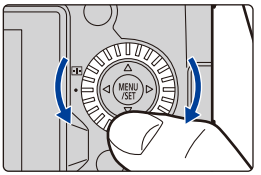
- 以下の操作でも、同じ操作ができます。
  - シャッターボタンを半押しする
  - Fnボタンを押す



- カスタムメニュー（操作）の[ダイヤル設定]で以下の設定ができます。(P42)
  - 前後のダイヤルの操作方法
  - コントロールダイヤルの操作方法
  - [ダイヤル動作切換]で、一時的に前後のダイヤルに割り当てる項目

コントロールダイヤル

回す：項目や数値を選択します。



- 本書では次のように説明しています。
  - コントロールダイヤルを左右に回すとき：（◎）

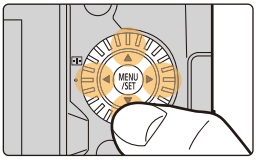
■ ダイヤルの操作方法を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [ダイヤル設定]

F/SSダイヤルの割当	マニュアル露出モード時のダイヤルの割り当てる操作を設定します。 [F SS]：前ダイヤルに絞り値、後ダイヤルにシャッタースピードの操作を割り当てます。 [SS F]：前ダイヤルにシャッタースピード、後ダイヤルに絞り値の操作を割り当てます。
F/SSダイヤルの回転	絞り値とシャッタースピードを操作する際の、ダイヤルの回転方向を変更します。 [ ]、[ ]
コントロールダイヤルの割当	撮影画面でコントロールダイヤルに割り当てる機能を設定します。 [ ]（ヘッドホン音量）、[/ISO]（露出補正/絞り）※1、 [ ]（露出補正）、[ISO]（ISO感度）、[ ]（フォーカス枠サイズ）※2 ※1 露出補正の操作を割り当てます。 マニュアル露出モード時は、絞り値を調整します。 ※2 以下の操作を割り当てます。 – AFモードが[ ]、[ ]、[ ]、[ ] の場合： AFエリアの大きさの変更 – AFモードが[ ]、またはフォーカスモードがMFの場合： アシスト画面の拡大率の変更
露出補正のダイヤル割当	露出補正の操作を前ダイヤルまたは後ダイヤルに割り当てます。 （マニュアル露出モード時を除く） [ ]（前ダイヤル）、[ ]（後ダイヤル）、[OFF]
ダイヤル動作切換設定	Fnボタンの[ダイヤル動作切換]で、前後のダイヤルに一時的に割り当てる項目を設定します。 [ ]（前ダイヤル動作）、[ ]（後ダイヤル動作） ● 設定できる項目は、以下のとおりです。 – [フォトスタイル]　– [超解像] – [フィルター効果]　– [フラッシュモード] – [画像横縦比]　– [フラッシュ光量調整] – [4Kフォト]　– [ISO感度] – [ハイライトシャドウ]　– [ホワイトバランス] – [iDレンジコントロール]　– [オートフォーカスモード] ● [ハイライトシャドウ]では2つのダイヤルを使用します。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

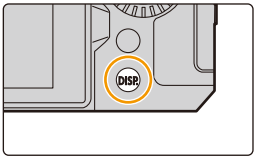
カーソルボタン/[MENU/SET] ボタン



カーソルボタンを押す：
項目や数値を選択します。
- 本書ではカーソルボタンの上下左右を▲/▼/◀/▶で説明しています。

[MENU/SET] ボタンを押す：
設定内容を決定します。
- 撮影時と再生時はメニューを表示します。

[DISP.] ボタン（情報表示の切り換え）



[DISP.] ボタンを押す
- 情報表示が切り換わります。

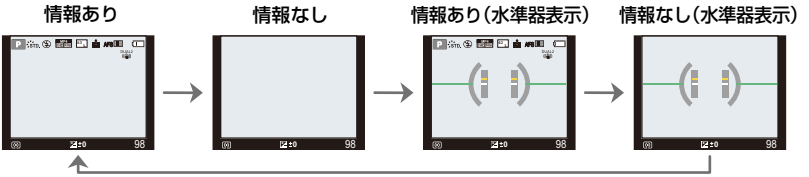
撮影時

ファインダー/モニターの表示方法を切り換えることができます。

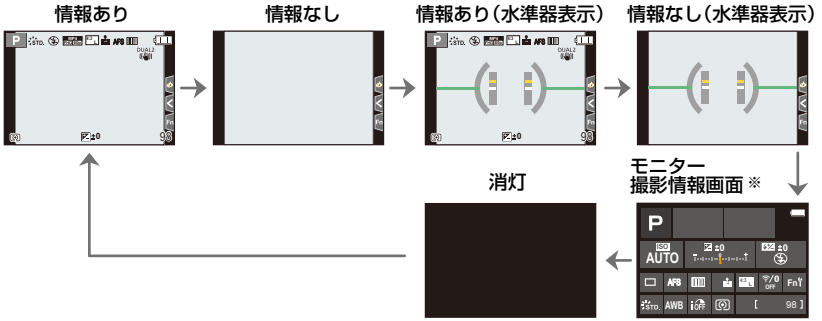
MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/表示]→[LVF/モニター表示設定]→[LVF表示設定]、[モニター表示設定]

（ファインダースタイル）	適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。
（モニタースタイル）	画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。

- **[ ] ファインダースタイル（ファインダー表示の場合）**



● [ ] モニタースタイル（モニター表示の場合）

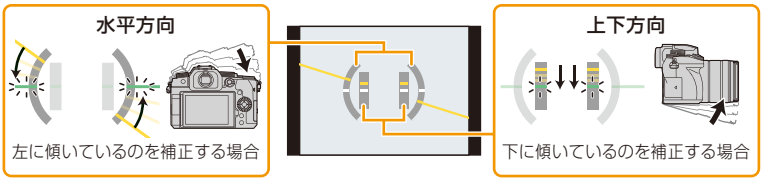


※ カスタムメニュー（モニター/表示）の［モニター撮影情報画面］を［ON］にした場合に表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

- カスタムメニュー（操作）の［Fnボタン設定］で［LVF/モニター表示スタイル］をFnボタンに割り当てることができます。Fnボタンを押すごとに、現在表示しているモニターかファインダーの表示スタイル（[ ]/[ ]）をそれぞれ切り換えます。
- 何も操作しない場合、画面上の情報が約10秒経過すると段階的に暗くなり、約1分経過すると表示されなくなります。［DISP.］ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

■ 水準器表示について

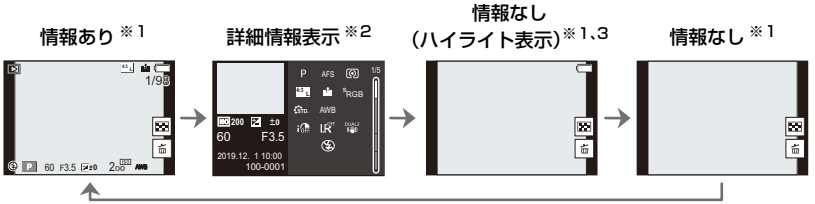
水準器を表示すると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。



- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器が緑色に変わります。

- 傾きが補正された状態でも、±1°程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上や下に向けて撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能が正しく働かなかったりする場合があります。

再生時



※1 約10秒以上何も操作しないと、画面上の情報が表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。

※2 ▲/▼ボタンを押すと、以下の表示内容に切り換わります。
- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

※3 カスタムメニュー(モニター/表示)の[ハイライト表示]を[ON]に設定した場合に表示されます。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

タッチパネル（タッチ操作）

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。

■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。

■ ピンチする（広げる・縮める）

タッチパネル上で2本の指を広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。

- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
  （モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります）

こんなときは使用できません

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  – 手袋を着用している
  – タッチパネルがぬれている

タッチ機能を使って撮る

タッチ AF/タッチシャッター

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

1 [ ] をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするごとにアイコンが切り換わります。

（タッチ AF）	タッチした位置にピントを合わせます。※
（タッチシャッター）	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。※
（OFF）	タッチAF、タッチシャッターは働きません。

※ カスタムメニュー（操作）で[タッチ設定]の[タッチAF]を[AF+AE]に設定した場合は、タッチした位置にピントと明るさを合わせます。（P91）

3 （OFF以外に設定した場合）
被写体をタッチする

- [ ]設定時にAFエリアの位置や大きさを変更する操作については、87 ページをお読みください。

- タッチシャッターに失敗した場合、AFエリアが赤く点灯したあと消えます。

タッチ AE

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [ ] をタッチする

2 [AE] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の [AE] に切り換わります。

3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット] をタッチしてください。

4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除する

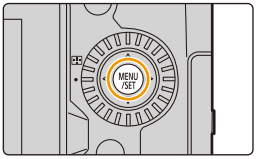
[OFF AE] をタッチする

こんなときは使用できません

- 以下の場合、タッチ AE が使用できません。
  - デジタルズーム使用時
  - 4K ライブクロップ設定時
  - カスタムメニュー（操作）の [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF+AE] に設定したとき

メニューの設定方法

メニューは、ボタン操作またはタッチ操作で設定できます。



1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する

2 ◀ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで[ ]などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

- 前ダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンを選択できます。

	インテリジェントオート(P59)	各撮影モードで使用できる機能を設定します。
	クリエイティブ動画(P153)	
	カスタムモード(P69)	
	シーンガイド(P70)	
	クリエイティブコントロール(P75)	
	撮影(P165)	写真撮影時の設定ができます。
	動画(P179)	動画撮影時の設定ができます。
	カスタム(P182)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
	セットアップ(P197)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 Wi-Fi、Bluetooth機能に関する設定もできます。
	マイメニュー(P206)	よく使うメニューを登録できます。
	再生(P207)	画像の再生や編集の設定ができます。

- 「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に設定を確認してください。

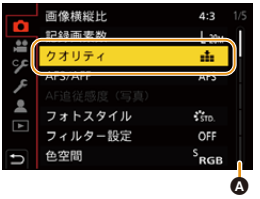
4 [MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

[ ]などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

目次
MENU メニューガイド
さくいん

5 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 後ダイヤルを回すと、ページを切り換えることができます。

タッチ操作

メニュー項目をタッチする

- ページを切り換えるには、画面右のバー（Ⓐ）をタッチしてください。

6 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目によっては、設定が表示されなかったり、表示のしかたが異なったりする場合があります。

タッチ操作

設定内容をタッチして決定する

- コントロールダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンやメニュー項目、設定内容を選択できます。

■ メニューを終了する

[⮌] ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

タッチ操作

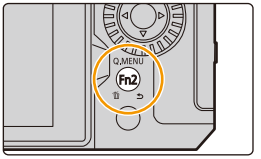
[⮌] をタッチする

- メニューの説明を表示するには、[DISP.] ボタンを押してください。
- 設定できないメニュー項目は、グレーで表示されます。一部の設定状況では、グレーの項目を選択しているときに[MENU/SET] ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。

クイックメニュー

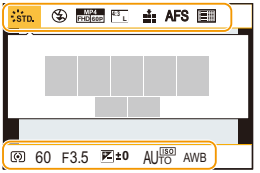
撮影中によく使う機能を、メニュー画面を呼び出すことなく素早く設定できるメニューです。

1 [Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する



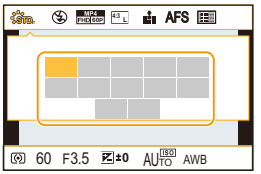
2 前ダイヤルを回してメニュー項目を選ぶ

- コントロールダイヤルを回しても設定できます。



3 後ダイヤルを回して設定内容を選ぶ

4 設定が終了したら [Q.MENU] ボタンを押してクイックメニューを終了する



- ▲/▼/◀/▶ ボタンでもメニュー項目や設定項目を選択できます。
- モードや表示画面によっては、設定の変更ができない項目もあります。

モニター撮影情報画面(P44)の場合

[Q.MENU] ボタンを押し、前ダイヤルを回して項目を選び、後ダイヤルを回して設定内容を選んでください。

クイックメニューをお好みの項目に変更する

- 最大15項目まで設定できます。

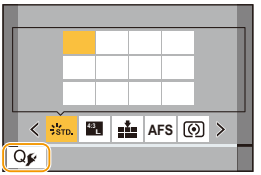
1　メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [Q.MENU] → [カスタム]

2　シャッターボタンを半押しして、メニューを終了する

3　[Q.MENU] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

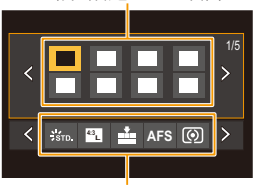
4　▼ボタンで [Q] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



5　▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段の設定済みの項目は、薄いグレーで表示されます。

上段：設定できる項目



下段：設定済みの項目

6　◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段から下段へ項目をドラッグしても、同じ操作ができます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えることができます。
- 以下の操作で設定を解除できます。
  ❶ ▼ ボタンを押して、下段に移動する
  ❷ ◀/▶ ボタンで解除する項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

7　[↩] ボタンを押す

- 上記手順**4**の画面に戻ります。撮影画面にするには [MENU/SET] ボタンを押してください。

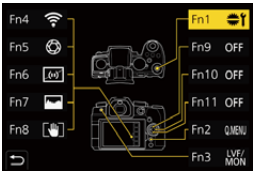
Fnボタン

Fn(ファンクション)ボタンに機能を登録できます。撮影時と再生時でそれぞれ異なる機能を設定できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [Fnボタン設定] → [撮影時設定] または [再生時設定]

2 ▲/▼ボタンで機能を割り当てたいFnボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲/▼ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] で割り当てができる機能については(P54)
- [再生時設定] で割り当てができる機能については(P55)
- Fnボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。
- Fnボタンに機能を設定しない場合は、[OFF] を選んでください。

■ モニター撮影情報画面からFnボタンを設定する

モニター撮影情報画面(P44)で [Fn] をタッチしても、手順**2**の画面を表示できます。

■ 素早く機能を割り当てる

Fnボタン([Fn1]～[Fn3]、[Fn9]～[Fn11])を長押し(2秒)すると、手順**3**の画面を素早く表示できます。(登録した機能や表示画面などによっては、表示できない場合もあります)

- モードや表示している画面によっては、使用できない機能もあります。
- Fnボタンによっては、割り当てができない機能があります。

撮影時にFnボタンを使う

Fnボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。

■ タッチ操作でFnボタンを使う

1 [Fn] をタッチする

2 [Fn4] ～ [Fn8] のいずれかをタッチする

■ [撮影時設定]で割り当てができる機能

- Wi-Fi(P222)	- AFS/AFF(P81)	- 動画記録方式/画質設定(P146)
- Q.MENU(P51)	- 測光モード(P171)	- 動画撮影中の写真撮影(P149)
- 動画撮影(P144)	- 連写速度(P103)	- 録音レベル表示(P152)
- LVF/モニター切換(P38)	- 4Kフォト(P105)	- 録音レベル設定(P152)
- LVF/モニター表示スタイル(P43)	- セルフタイマー(P123)	- マイク指向性調整(P266)
- AF/AE LOCK(P95)	- ブラケット(P124)	- サイレントモード(P175)
- AF-ON(P95)	- ハイライトシャドウ(P171)	- ピーキング(P189)
- プレビュー(P67)	- iDレンジコントロール(P172)	- ヒストグラム表示(P190)
- ワンプッシュAE(P68)	- 超解像(P173)	- ガイドライン表示(P190)
- タッチAE(P48)	- 下限シャッター速度(P174)	- ゼブラパターン表示(P191)
- 水準器表示(P44)	- HDR(P177)	- モノクロライブビュー(P188)
- フォーカスエリア選択	- シャッター方式(P176)	- 常時プレビュー(Mモード)(P188)
- ズーム操作(P133)	- フラッシュモード(P138)	- ライブビューブースト(P189)
- ワンショット4Kフォト	- フラッシュ光量調整(P141)	- 記録枠表示(P192)
- 操作ロック	- ワイヤレスフラッシュ設定(P142)	- ステップズーム(P135)
- フォーカスリングロック(P187)	- EXテレコン(P132)	- ズーム速度(P135)
- ダイヤル動作切換(P41)	- デジタルズーム(P134)	- 露出補正(P96)
- フォトスタイル(P167)	- 手ブレ補正(P128)	- ISO感度(P97)
- フィルター効果(P75)	- 電子補正(動画)(P129)	- ホワイトバランス(P99)
- 画像横縦比(P165)	- 手ブレロック(動画)(P130)	- AFモード/MF(P83)
- 記録画素数(P166)	- 4Kライブクロップ(P155)	- 撮影/再生切換
- クオリティ(P166)	- スナップムービー(P150)	- デフォルトに戻す

● お買い上げ時のFnボタン設定

Fn1	ダイヤル動作切換
Fn2	Q.MENU
Fn3	LVF/モニター切換
Fn4	Wi-Fi
Fn5	プレビュー
Fn6	水準器表示

Fn7	ヒストグラム表示
Fn8	手ブレロック(動画)
Fn9	お買い上げ時は、機能が設定されていません。
Fn10	
Fn11	

- [動画撮影]設定時は、動画ボタンと同様に動画記録の開始/停止を操作できます。
- [フォーカスエリア選択]設定時は、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示できます。
- [ワンショット4Kフォト]設定時は、設定中の4Kフォトモードで1度だけ撮影します。撮影後は元の状態に戻ります。
- [操作ロック]設定時、特定の操作を無効にします。無効にする操作は、カスタムメニュー(操作)の[操作ロック設定]で設定します。(P187)
- [撮影/再生切換]設定時は、撮影状態と再生状態の切り換えができます。
- 画面にⒶのように表示された場合は、[Fnボタン設定]で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。

再生時にFnボタンを使う

Fnボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。

- 機能によっては、再生している画像に直接設定できます。

例）[レーティング★3]を[Fn1]に設定した場合

1　◀/▶ ボタンで画像を選ぶ

2　Fnボタン(Fn1)を押し、画像に[レーティング★3]を設定する

■ [再生時設定]で割り当てができる機能

- Fnボタン(Fn1)/[Fn3]ボタンに、以下の機能の割り当てができます。

– Wi-Fi(P222) – LVF/モニター切換(P38) – 撮影/再生切換 – 4Kフォト再生 – 1枚消去(P163) – プロテクト(P209) – レーティング★1(P209)	– レーティング★2(P209) – レーティング★3(P209) – レーティング★4(P209) – レーティング★5(P209) – RAW現像(P211) – 4Kフォト一括保存(P110) – デフォルトに戻す

- お買い上げ時の Fn ボタン設定

Fn1	Wi-Fi
Fn3	LVF/モニター切換

- [4Kフォト再生]設定時は、4K連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。

文字の入力

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押して入力する

- 続けて同じ文字を入力するには、前後のダイヤルまたはコントロールダイヤルを右側に回し、入力位置を移動してください。
- 以下の項目を選択したときの動作
  - [切換]: かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換え ※1
  - [␣]: 空白を入力
  - [消去]: 文字を消去
  - [<]: 入力位置を左に移動
  - [>]: 入力位置を右に移動

  ※1 [DISP.]ボタンを押しても文字の切り換えができます。
- 入力できる文字数
  - かな/カナ:最大15文字([個人認証]の名前は最大6文字)
  - A/a/1/& ※2:最大30文字([個人認証]の名前は最大9文字)

  ※2 [\]、[「]、[」]、[・]、[ー]は最大15文字([個人認証]の名前設定時は最大6文字)です。

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで[決定]にカーソルを合わせ、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

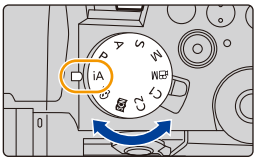
かんたん撮影(インテリジェントオートモード)

撮影モード: iA iA+

[iA]モード(インテリジェントオートモード)は、カメラにおまかせで撮影できるモードです。被写体や撮影状況に合わせてカメラがシーンを判別し、自動で最適な撮影設定をします。

1 モードダイヤルを[iA]に合わせる

- お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。



2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンに変わります。(自動シーン判別)

カメラが自動でシーンを判別します(自動シーン判別)(写真撮影時、動画撮影時)

i 人物

i 風景

i マクロ

i 夜景&人物 ※1

i 夜景

i 手持ち夜景 ※2

i 料理

i 赤ちゃん ※3

i 夕焼け

i ローライト

iA

※1 フラッシュ使用時に表示されます。
※2 [i手持ち夜景]を[ON]に設定した場合に表示されます。
※3 個人認証機能で登録した、3歳未満の人物を認識したときに表示されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は[iA]になり、標準的な設定にします。
- 4Kフォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

■ インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

1　メニューを設定する

MENU ボタン → [インテリジェントオート]→[インテリジェントオートモード]

2　▲/▼ ボタンで[ ]または[ ]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

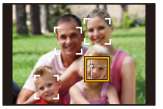
インテリジェントオートモードの設定に加えて、インテリジェントオートプラスモードは、下記の設定を変更できます。

	インテリジェントオートプラスモード	インテリジェントオートモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

■ AF/顔・瞳認識/個人認証

AFモードは自動で[ ]に設定されます。被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。

- [ ]ボタン（◀）を押し、シャッターボタンを半押ししても追尾AF機能が働きます。
- [個人認証]を[ON]に設定した場合、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。



■ フラッシュ

- **フラッシュを使うときは、フラッシュを開いてください。**(P137)

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[ ]、[ ]、[ ]または[ ]に設定します。

- [ ]、[ ]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [ ]、[ ]のときは、シャッタースピードが遅くなります。
- インテリジェントオートプラスモード時は、フラッシュを開いているときでも、撮影メニューの[フラッシュ設定]で[フラッシュモード]を[ ]（発光禁止）に設定できます。

■ 自動シーン判別について

- [ ]と判別された場合に、三脚などを使用してください。ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

逆光補正について

カメラが自動で画像を明るくすることで、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。
インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。

インテリジェントオートメニュー

手持ちで夜景を撮る（i手持ち夜景）

手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影し1枚の写真に合成します。

MENU ボタン→ [インテリジェントオート]→[i手持ち夜景]→[ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは[ ](発光禁止)に固定されます。

階調豊かな写真に合成する（iHDR）

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン→ [インテリジェントオート]→[iHDR]→[ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。

こんなときは使用できません

- 動画撮影中の写真記録では、[i手持ち夜景]、[iHDR]が働きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景]、[iHDR]が使用できません。
  - 連写撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - [EXテレコン(写真)]設定時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
- 以下の場合、[iHDR]が使用できません。
  - フラッシュ撮影時

色合い・ボケ具合・明るさを変えて撮る

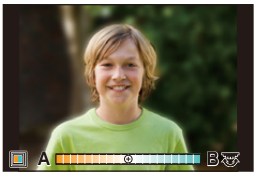
撮影モード：

■ 色合いを設定する

1 ［WB］ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- 撮影画面に戻るには、もう一度［WB］ボタンを押してください。
- 設定した色合いを標準（中心点）に戻すには、電源スイッチを［OFF］にする、または他の撮影モードに変更してください。



■ 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）

1 ［ ］ボタンを押して、明るさ設定画面を表示する

2 Fnボタン（Fn1）を押して設定画面を表示する

3 後ダイヤルを回してボケ具合を設定する

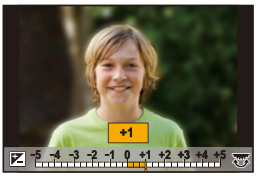
- 撮影画面に戻るには、［MENU/SET］ボタンを押してください。
- 設定を解除するには、ボケ具合の設定画面で［Fn2］ボタンを押してください。
- AFモードは［■］になります。AFエリアの位置を設定するには、画面をタッチしてください。（大きさは変更できません）

■ 明るさを設定する

1 ［ ］ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して明るさを調整する

- カスタムメニュー（操作）の［露出補正画面の操作］で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。（P41）
- 撮影画面に戻るには、もう一度［ ］ボタンを押してください。



タッチパネルで設定を変える

❶ ［ ］をタッチする

❷ 設定する項目をタッチする

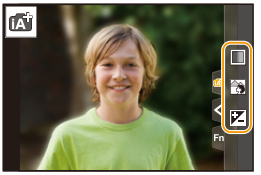
［ ］：色合い

［ ］：ボケ具合

［ ］：明るさ

❸ スライドバーをドラッグして設定する

- 撮影画面に戻るには、［MENU/SET］ボタンを押してください。



- 使用するレンズによっては、ボケ具合を操作しているときに、レンズ部から音がすることがあります。このときの音はレンズの絞り動作によるもので、異常ではありません。
- 使用するレンズによっては、動画撮影中にボケ具合を操作すると、その動作音が記録されることがあります。

プログラムAEモード

撮影モード： P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動で設定します。
撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 モードダイヤルを[P]に合わせる

2 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

- 適正な露出が得られない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。

■ プログラムシフトについて

本機が自動的に設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせを、同じ露出のままで変えることができます。これをプログラムシフトといいます。
より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる

2 数値が表示されている間に(約10秒間)、後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、以下の操作をしてください。
  - 電源スイッチを[OFF]にする
  - プログラムシフト表示が消えるまで、前後のダイヤルを回す

こんなときは使用できません

- 以下の場合、プログラムシフトできません。
  - フラッシュ撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ISO感度を[ISO]に設定したとき

絞り値/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード： A S M

（例：マニュアル露出モード）

絞り値
シャッタースピード

絞り値	**小さい** 背景をぼかしやすくなります。	**大きい** 背景までピントが合った状態にしやすくなります。
シャッタースピード	**遅い** 動きを表現しやすくなります。	**速い** 動きを止めやすくなります。

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P67)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- シャッターボタンを半押ししたときに、適正な露出が得られないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

A： 絞り優先AEモード

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを [A] に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して絞り値を設定する

絞り値

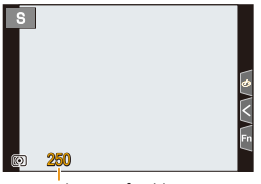
- 絞りリングのあるレンズを使用しているときは、絞りリングの位置を[A]以外にすると、レンズの絞り値に設定されます。

S： シャッター優先AEモード

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回して シャッタースピードを設定する



シャッタースピード

- フラッシュ発光時は、1/200秒より速いシャッタースピードに設定できません。(P139)

M： マニュアル露出モード

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを[M]に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを、前ダイヤルを回して絞り値を設定する

設定可能なシャッタースピード(秒)	
メカシャッター使用時	B(バルブ)、60 ～ 1/4000
電子先幕使用時	B(バルブ)、60 ～ 1/2000
電子シャッター使用時	1 ～ 1/16000

- メカシャッター使用時または電子先幕使用時に後ダイヤルを左に回すと、B(バルブ)の次にLC(ライブビューコンポジット)を設定できます。
  ライブビューコンポジット撮影については、65 ページをお読みください。

シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

ISO感度を[AUTO]に設定した場合、シャッタースピードと絞り値に応じてISO感度が設定されます。
- 撮影条件により、適正な露出が得られなかったり、ISO感度が高くなったりする場合があります。

マニュアル露出アシストについて

ISO感度を[AUTO]以外に設定したときに、マニュアル露出アシストが撮影画面に表示されます。

±0	適正露出になります。
0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-3 0	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

- マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

- 絞りリングのあるレンズを使用する場合は、絞りリングの位置を[A]にすると前後のダイヤルの設定が有効になります。[A]以外では絞りリングの設定が優先されます。
- フラッシュ発光時は、1/200秒より速いシャッタースピードは設定できません。(P139)

バルブ撮影

撮影モード： M

マニュアル露出モード時にシャッタースピードをB（バルブ）に設定すると、シャッターボタンを全押ししている間、シャッターが開いた状態になります。（最大約30分間）
シャッターボタンを離すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けておきたいときに使います。

- バルブ撮影時は、手ブレ防止のために三脚やシャッターリモコン（別売：DMW-RS2）の使用をお勧めします。
- バルブ撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの[長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、B（バルブ）が使用できません。
  - フラッシュ撮影時（[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定したとき）
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
  - 電子シャッター使用時
  - [HDR]を[ON]に設定したとき
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時（[自動撮影]設定時）

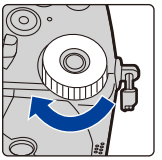
ライブビューコンポジット撮影

撮影モード： M

設定した露光時間ごとに画像を撮影し、明るく変化した部分を合成して1枚の写真として記録します。露光時間が経過するたびに合成された画像が表示され、仕上がりを確認しながら撮影できます。
全体の明るさを抑えて撮影できるため、明るい夜景を背景にして、星や花火の光跡を撮影するときに便利です。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 後ダイヤルを回してシャッタースピードを［LC］に設定する



3 メニューを設定する

MENU ボタン → 📷［撮影］→［ライブビューコンポジット］

- シャッタースピードを［LC］に切り換えてから［MENU/SET］ボタンを押すと、［ライブビューコンポジット］が選択された状態でメニューが表示されます。（シャッタースピードを［LC］に切り換えたあとの1回目だけ表示されます）

4 1コマごとの露光時間（シャッタースピード）を選択する

- ［1/2秒］～［60秒］の範囲で設定できます。
- シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。

5 シャッターボタンを全押しして、ノイズリダクション用の画像を取得する

- カウントダウン画面が表示されます。終了するまでお待ちください。

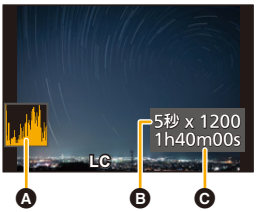
6 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- 手順**4**で設定した露光時間が経過するたびに画像が合成されます。

7 シャッターボタンをもう一度全押しして、撮影を終了する

- ノイズリダクションが実行され、画像が保存されます。
- 1回のライブビューコンポジット撮影につき、最大3時間まで撮影できます。（3時間を超えると、自動的に撮影を終了します）

■ 撮影時の画面表示



Ⓐ ヒストグラム表示
- 手順**5**の操作後、自動的に表示されます。

Ⓑ 1コマごとの露光時間 × 合成した枚数

Ⓒ 経過時間
- 合成した枚数が増えるたびに時間が更新されます。

- ライブビューコンポジット撮影時は、三脚やシャッターリモコン（別売：DMW-RS2）の使用をお勧めします。
- 十分に充電されたバッテリー、またはACアダプター（別売：DMW-AC10）とDCカプラー（別売：DMW-DCC8）の使用をお勧めします。

- [長秒ノイズ除去]は[ON]に固定されます。
- ノイズリダクション用の画像を取得したあとは、一部のメニューが表示されません。
- 以下の操作をすると、ノイズリダクション用の画像が破棄されます。再度手順**5**の操作をしてください。
  - [ライブビューコンポジット]を設定する
  - ISO感度を変更する
  - 再生モードに切り換える
  - 動画撮影を開始する
  - 撮影モードを変更する
  - ドライブモードを変更する
- シャッターボタンを全押しして撮影を終了するときは、最後の画像が合成されない場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ライブビューコンポジット撮影ができません。
  - フラッシュ撮影時（[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定時）
  - 連写撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [フィルター設定]設定時
  - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
  - [シャッター方式]を[電子シャッター]に設定したとき
  - [HDR]を[ON]に設定したとき
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時
  - [多重露出]設定時

プレビューモード

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

- **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認できます。
- **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードで画面を表示し、動きを確認できます。

[Fn5] ボタンをタッチして確認画面を切り換える

- お買い上げ時の設定では、[Fn5] ボタンに [プレビュー] が設定されています。(P54)

通常撮影画面

絞り効果確認画面
絞り効果：ON
シャッタースピード効果：OFF

シャッタースピード効果確認画面
絞り効果：ON
シャッタースピード効果：ON

被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度（ピントの合っている範囲）		浅い（狭い） 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い（広い） 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/16000秒です。

こんなときは使用できません

- [4Kプリ連写] で撮影時、プレビューモードが使用できません。

ワンプッシュAE

使用できるモード： P A S M

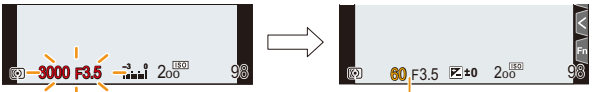
露出の設定が明るすぎたり、暗すぎたりしたとき、ワンプッシュAEを使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト(P64)が 以外で表示されたとき。

1 Fnボタンに［ワンプッシュAE］を設定する(P53)

2 （適正露出でないときに）Fnボタンを押す



赤色で点滅　　適正露出に変更

- 絞り値 やシャッタースピードが適正露出に合った設定に変わります。
- 以下の場合、適正露出に合わせることができません。
  - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
  - フラッシュ撮影時
  - プレビューモード時
  - 絞りリングのあるレンズを使用したとき

カスタムモード

撮影モード：C1 C2

カスタムセットへの登録

現在のカメラの設定内容を[カスタムセット登録]で4つまで登録できます。
（C1、C2-1、C2-2、C2-3）
お買い上げ時、カスタムセットにはプログラムAEモードの初期設定が登録されています。

準備： あらかじめ保存したい状態の撮影モードとメニュー設定にする。

MENU ボタン→ [セットアップ]→[カスタムセット登録]→登録したいカスタムセット

- モードダイヤルの[C2]には、3つまでカスタムセットを登録できます。
- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

カスタムメニュー	セットアップメニュー	再生メニュー
– [メニューガイド] – [個人認証]で登録されたデータ – [プロフィール設定]の設定内容	– すべてのメニュー	– すべてのメニュー

カスタムセットを使う

モードダイヤルを[C1]または[C2]に合わせる

- [C2]の場合は、最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■ [C2]のカスタムセットを変更する（カスタムモード）

1 モードダイヤルを[C2]に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン→ C [カスタムモード]

3 ▲/▼ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、カスタムセットの選択画面を表示できます。

■ 登録内容を変更する

モードダイヤルを[C1]、または[C2]に合わせた状態で一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップニューの[カスタムセット登録]で登録内容を上書きしてください。

シーンガイドモード

撮影モード： SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを[SCN]に合わせる

2 ◀/▶ ボタンでシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグしても、シーンを選択できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。

- シーンによっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンガイドモードを変更するには、シーンガイドメニューの[シーン切換]を選択してください。上記手順 **2** に戻ります。
- シーンガイドモード時はカメラが自動で最適に調整するため、一部の撮影メニューが設定できません。
- シーンによってはホワイトバランスは[AWB]に固定されますが、撮影画面で[WB]ボタンを押すとホワイトバランスの調整(P101)やホワイトバランスブラケット(P127)が使用できます。

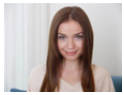
シーンガイドモードの種類

シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で [DISP.] ボタンを押す

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。

1: 人物をきれいに撮る



2: 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果がわかりにくい場合があります。

3: 逆光でふんわり撮る

4: 逆光でしっかり撮る

5: ほのぼのした雰囲気で撮る

6: 子どもをかわいく撮る

顔をタッチする

- タッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。

7: 風景をきれいに撮る

8: 青空をさわやかに撮る

9: 夕焼けを幻想的に撮る

10: 夕焼けを印象的に撮る

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

11: 水面をキラキラ撮る

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

12: 夜景をきれいに撮る

13: 夜空をクールに撮る

14: 夜景を暖かく撮る

15: 夜景をアーティスティックに撮る

16: イルミネーションをキラキラ撮る

17: 夜景を手持ちで撮る

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角が僅かに狭くなります。

18: 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約1秒間は動かないように伝えてください。

19: 花をふんわり撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

20: 料理をおいしそうに撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

21: スイーツをかわいく撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

22: 動くペットをきちんと撮る

- [AF補助光]の初期設定は[OFF]になります。

23: スポーツをきれいに撮る

24: モノクロで撮る

25: パノラマで撮る

パノラマ写真を撮る（[パノラマで撮る]）

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ写真を撮影できます。

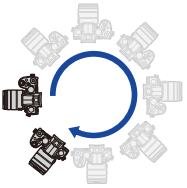
準備： シーンガイドモードを[パノラマで撮る]に設定する。

1　シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

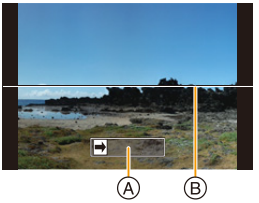
2　シャッターボタンを全押しして、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

左から右へ撮影する場合

画像サイズ：標準の場合



画像サイズ：ワイドの場合



Ⓐ 撮影の方向と進み具合（目安）
Ⓑ 水平／垂直ガイド

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

3　もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■ パノラマ写真の設定を変更する

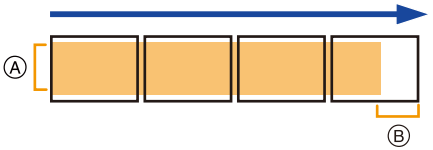
MENU ボタン→ [撮影]→[パノラマ設定]

撮影方向	撮影する向きを設定します。 [→]、[←]、[↑]、[↓]
画像サイズ	画角（画像サイズ）を設定します。 **[標準]、[ワイド]**

- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	**水平方向**	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	**水平方向**	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素

■ 撮影のテクニック



Ⓐ 揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。（揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く（小さく）なったりします）
Ⓑ 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。（最後の１コマは端まで記録されません）

■ 再生について

▲ボタンを押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

● スクロール再生中は、以下の操作ができます。

▶/❚❚	▲	パノラマ再生開始 / 一時停止 ※
■	▼	停止

※ 一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。
スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

● 望遠レンズ装着時など、焦点距離が長いときはカメラをゆっくり動かしてください。
● ピント･ホワイトバランス･露出は、１コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合、パノラマ写真全体では適切なピントや明るさで撮影されない場合があります。
● 複数の写真から１枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立ったりする場合があります。

こんなときは使用できません

● 以下の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されなかったりする場合があります。
– 単調な色や模様が続く被写体（空や砂浜など）
– 動いている被写体（人やペット、自動車、波、風に揺れる花など）
– 短時間で色や模様が変化する被写体（ディスプレイに映った画像など）
– 暗い場所
– 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

クリエイティブコントロールモード

撮影モード：

画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

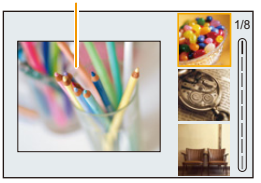
1 **モードダイヤルを[ ]に合わせる**

2 **▲/▼ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ**

- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。

プレビュー表示



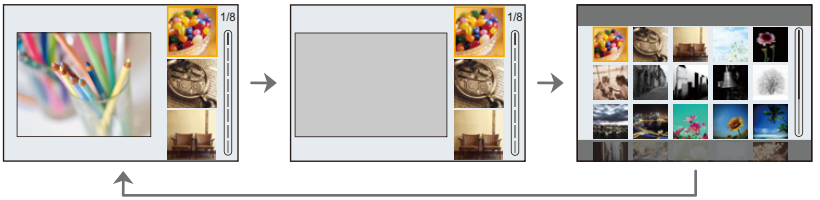
3 **[MENU/SET]ボタンを押す**

画像効果の説明を表示する

画像効果選択画面で[DISP.]ボタンを押す

- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

通常表示　　ガイド表示　　一覧表示



- ホワイトバランスは[AWB]に、ISO感度は[AUTO]に固定されます。
- 画像効果によっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。

クリエイティブコントロールメニュー

クリエイティブコントロールモード時は、以下のメニューを設定できます。

MENU ボタン → [クリエイティブコントロール]

フィルター効果	画像効果(フィルター)選択画面を表示します。
フィルターなし同時記録	画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

画像効果の種類

ポップ	レトロ	オールドデイズ
ハイキー	ローキー	セピア
モノクローム	ダイナミック モノクローム	ラフモノクローム
シルキー モノクローム	インプレッシブ アート	ハイダイナミック
クロスプロセス	トイフォト	トイポップ
ブリーチバイパス	ジオラマ	ソフトフォーカス
ファンタジー	クロスフィルター	ワンポイント カラー
サンシャイン		

■ [ジオラマ] でぼかし方を設定する

1　▲ボタンを押して設定画面を表示する

- [ ] をタッチしたあと、[ ] をタッチしても表示できます。

2　▲/▼ボタンまたは◀/▶ボタンでぼかさない部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
- 撮影する向き（ぼかす向き）を設定するには、[ ] をタッチしてください。

3　後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチインしても、拡大/縮小できます。
- ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

4　[MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約1/10の時間で記録されます。（10分間撮影した場合、動画記録時間は約1分になります）表示される記録可能時間は約10倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を設定する

1　▲ボタンを押して設定画面を表示する

- [ ] をタッチしたあと、[ ] をタッチしても表示できます。

2　▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ

- 画面をタッチしても、残す色を選択できます。
- 枠を中央に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

3　[MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

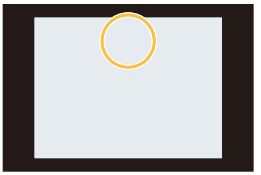
■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する

1　▲ボタンを押して設定画面を表示する

- [ ] をタッチしたあと、[ ] をタッチしても表示できます。

2　▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチしても、光源の位置を移動できます。



光源の中心を置くときのポイント

より自然な仕上がりにするには、画像の外に光源の中心を置いてください。

3　後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できます。
- 光源の設定を初期設定に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。

4　[MENU/SET] ボタンを押す

画像効果を好みに合わせて調整する

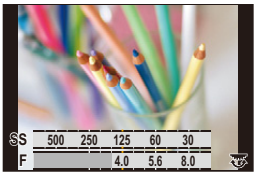
1 **[WB] ボタンを押す**

2 **後ダイヤルを回して設定する**

- 撮影画面に戻るには、もう一度[WB]ボタンを押してください。

画像効果	調整できる項目			
ポップ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
レトロ	色合い	黄色っぽい色	⟺	赤っぽい色
オールドデイズ	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ハイキー	色合い	ピンクっぽい色	⟺	水色っぽい色
ローキー	色合い	赤っぽい色	⟺	青っぽい色
セピア	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
モノクローム	色合い	黄色っぽい色	⟺	青っぽい色
ダイナミックモノクローム	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ラフモノクローム	粒子感	粒子感が弱い	⟺	粒子感が強い
シルキーモノクローム	ボケ具合	ボケ具合が小さい	⟺	ボケ具合が大きい
インプレッシブアート	鮮やかさ	白黒	⟺	派手な色合い
ハイダイナミック	鮮やかさ	白黒	⟺	派手な色合い
クロスプロセス	色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色		
トイフォト	色合い	オレンジっぽい色	⟺	青っぽい色
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲	小さい	⟺	大きい
ブリーチバイパス	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ジオラマ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
ソフトフォーカス	ボケ具合	ボケ具合が小さい	⟺	ボケ具合が大きい
ファンタジー	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
クロスフィルター	× - ✕	輝きが短い	⟺	輝きが長い
	✕ - ✹	輝きが少ない	⟺	輝きが多い
	↓✕↓	輝きを左に回転	⟺	輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量	少し色を残す	⟺	多く色を残す
サンシャイン	色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色		

背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）



1 [ ] ボタンを押して、明るさ設定画面を表示する

2 Fnボタン（Fn1）を押して設定画面を表示する

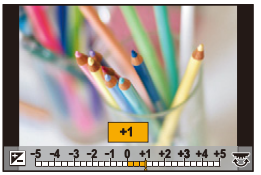
3 後ダイヤルを回して設定する

- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 設定を解除するには、ボケ具合の設定画面で [Fn2] ボタンを押してください。

こんなときは使用できません

- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使用できません。

明るさを設定する

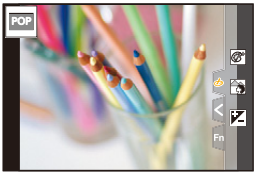


1 [ ] ボタンを押す

2 後ダイヤルを回して設定する

- カスタムメニュー（操作）の [露出補正画面の操作] で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。（P41）
- 撮影画面に戻るには、もう一度 [ ] ボタンを押してください。

■ タッチパネルで設定を変える



❶ [ ] をタッチする

❷ 設定する項目をタッチする

[ ]：画像効果の調整

[ ]：ボケ具合

[ ]：明るさ

❸ スライドバーをドラッグして設定する

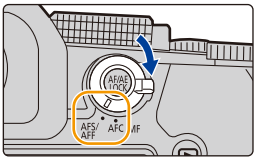
- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。

AFを使う

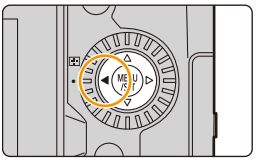
AF(オートフォーカス)とは自動ピント合わせのことです。被写体や撮影状況に合わせてフォーカスモードとAFモードを選択してください。

1 フォーカスモードレバーを[AFS/AFF]または[AFC]に合わせる

- フォーカスモードを設定します。(P81)



2 [ ]ボタン(◀)を押す



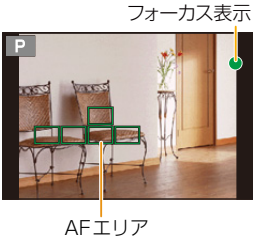
3 ◀/▶ ボタンでAFモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- AFモードを設定します。(P83)

4 シャッターボタンを半押しする

- AFが働きます。

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示	点灯	点滅
AFエリア	緑	―
電子音	ピピッ	―



- 暗い環境ではフォーカス表示が[LOW]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [LOW]を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空AFが働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が[STAR]と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。
(画面の端では、星空AFでの検知ができません)

- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。

ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるときや、遠くと近くを同時に撮影するとき

シャッター半押し時の構図づくりについて

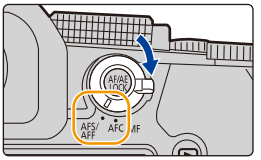
[■]で撮影するときに、被写体の位置が撮りたい構図の中央にない場合は、以下の手順で撮影してください。(フォーカスモードを[AFS]に設定した場合)

❶ 被写体にAFエリアを合わせる
❷ シャッターボタンを半押しする
　- ピントと露出を固定します。
❸ シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かす
❹ シャッターボタンを押して撮影する

フォーカスモードの選択(AFS、AFF、AFC)

使用できるモード: iA iA+ P A S M 🎥M SCN

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。



フォーカスモードレバーを合わせる

項目		お勧めの撮影シーン
AFS/AFF	AFS (Auto Focus Single)	**静止している(風景、記念撮影など)** シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定され、構図を変えて撮影できます。
	AFF (Auto Focus Flexible)	**動きが予測できない(子ども、ペットなど)** シャッターボタンを半押ししている間に被写体が動いても、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
		メニューを設定して、切り換えることができます。 MENU ボタン→📷[撮影]/🎥[動画]→[AFS/AFF] 設定:[AFS]、[AFF]
AFC (Auto Focus Continuous)		**動いている(スポーツ、鉄道など)** シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせ続けます。

[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

- 被写体の動きを予測しながらピントを合わせます。(動体予測)
- W端からT端にズームした場合や、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 以下の場合、フォーカスモードの[AFF]または[AFC]は、[AFS]と同じ動作をします。
  - クリエイティブ動画モード
  - [4K連写(S/S)]で撮影時
  - 低照度時
- シーンガイドモードを[パノラマで撮る]にした場合、[AFS]に固定されます。
- 4Kフォト撮影時、[AFF]に設定できません。撮影時にはAF連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

AF追従感度(写真)

使用できるモード： P A S M

被写体の動きに合わせてピント合わせをするときの感度を設定します。

準備： フォーカスモードを[AFF]または[AFC]に設定する。(P81)

MENU ボタン→ [撮影]→[AF 追従感度(写真)]
設定：[+2]、[+1]、[±0]、[−1]、[−2]

+	被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 異なる被写体に次々にピントを合わせることができます。
−	被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。 カメラの前を障害物が横切った場合など、意図しないピントの合わせ直しを防ぐことができます。

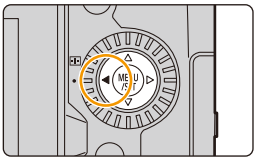
こんなときは使用できません

- 以下の場合、[AF追従感度(写真)]が使用できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時

AFモードの選択

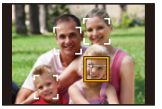
使用できるモード： P A S M

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。



1 [ ] ボタン(◀)を押す

2 ◀/▶ ボタンでAFモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

(顔・瞳認識)	人の顔や目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。([測光モード]を[ ]に設定したとき)(P84)	
(追尾)	指定した被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。(動体追尾)([測光モード]を[ ]に設定したとき)(P84)	
(49点)	最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。	
など (カスタムマルチ)	49点のAFエリアから、被写体に合わせて、自由にAFエリアの形状を設定できます。(P85)	
(1点)	AFエリア内にピントを合わせます。	
(ピンポイント)	[ ]より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。	

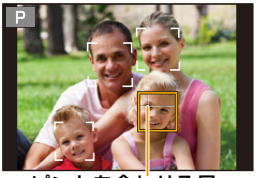
- インテリジェントオートモードおよびインテリジェントオートプラスモード時は、[ ] または [ ] に切り換えることができます。

(顔・瞳認識)について

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しして、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



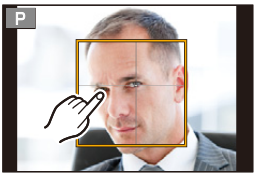
ピントを合わせる目

- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。認識できる目は、ピントを合わせる顔の目だけです。

■ ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

- [AF OFF]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



追尾する被写体をロックする(追尾)

ボタン操作

被写体を追尾AFエリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET]ボタンを押すと、ロックは解除されます。

追尾AFエリア

タッチ操作

被写体をタッチする

- タッチシャッター機能は解除してください。
- ロック中は追尾AFエリアが黄色になります。
- [AF OFF]をタッチすると、ロックは解除されます。

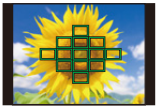
- ロックが失敗すると、追尾AFエリアが赤く点滅したあとに消えます。

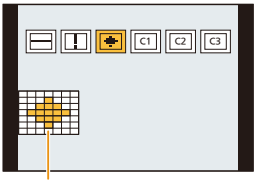
AFエリアの形状を設定する(カスタムマルチ)

1 [ ]ボタン(◀)を押す

2 カスタムマルチアイコン([ ]など)を選び、▲ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンで設定項目を選び、▼ボタンを押す

(横)	流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
(縦)	建築物の撮影などに便利な形状です。	
(中央)	中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
C1/C2/C3 (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。	



現在のAFエリアの形状

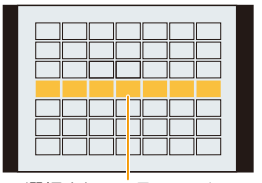
● AFエリア設定画面が表示されます。

4 AFエリアを選ぶ

[ ]/[ ]/[ ] 選択時

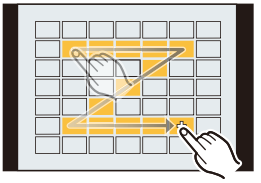
❶ AFエリアを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
/ /	ピンチアウト/ピンチイン	大きさの変更
[DISP.]	[リセット]	1回目: 位置を中央に戻す 2回目: 大きさを初期設定に戻す


選択されているAFエリア

❷ [MENU/SET]ボタンを押して、決定する

[C1]/[C2]/[C3] 選択時



❶ AFエリアを変更する

ボタン操作

▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度[MENU/SET]ボタンを押してください。
- すべての選択を解除するには、[DISP.]ボタンを押してください。

タッチ操作

タッチまたはドラッグして、AFエリアを選ぶ

- 選択したAFエリアを解除するには、もう一度タッチしてください。

❷ Fnボタン（Fn1）を押して、決定する

■ 設定したAFエリアを [C1]、[C2]、[C3]（カスタム）に登録する

❶ 85ページの手順3の画面で、▲ ボタンを押す
❷ ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [ ]/[ ]/[ ]で調整した設定は、電源スイッチを[OFF]にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

AF モードの制限事項

- 以下の場合、AFモードは[ ]に固定されます。
  - デジタルズーム使用時
  - クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]
- 4K ライブクロップ設定時、AFモードは[ ]に固定されます。
- 以下の場合、AFモードは設定できません。
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [スナップムービー]の[ピント送り]を[ON]にしたとき

（顔・瞳認識）

- 以下の場合、[ ] が設定できません。
  - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[料理をおいしそうに撮る]/[スイーツをかわいく撮る]
- 4Kライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[ ]の動作になります。

（追尾）

- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によって追尾AFが正しく動作しない場合は、[ ]の動作になります。

- 以下の場合、[ ]が使用できません。
  - インターバル撮影時
  - ライブビューコンポジット撮影時
- 以下の場合、[ ]は[ ]の動作になります。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[モノクロで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [フォトスタイル]の[モノクローム]/[L.モノクローム]/[L.モノクロームD]

[+](ピンポイント)
- 動画撮影時や4Kフォト撮影時、[+]に設定している場合は、[■]に切り換わります。
- フォーカスモードが[AFF] または [AFC] の場合、[+]に設定できません。

AFエリアの移動操作

使用できるモード： P A S M

AFモードの [ ]、[ ]、[■]、[+]では、AFエリアの位置や大きさを設定できます。
[ ] では、ロック開始位置を設定できます。

- タッチ機能を [ ](タッチAF)に切り換えてください。(P47)
- 撮影画面をタッチしても、AFエリア設定画面を表示できます。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[タッチ設定]→[タッチAF]→[AF]

- カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)で、AFエリアの表示方法などをお好みに応じて設定できます。(P182)

- [測光モード]が[ ]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。

こんなときは使用できません
- 以下の場合、AFエリアの位置と大きさを変えることはできません。
  - デジタルズーム使用時
  - 4Kライブクロップ設定時

[ ]、[ ]、[■] 選択時

1 [ ]ボタン(◀)を押す

2 [ ]、[ ]または [■] を選び、▼ ボタンを押す

- AFエリア設定画面が表示されます。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

3 AF エリアの位置と大きさを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト/ピンチイン	大きさの変更(細かく)※
/	ー	大きさの変更 ※
[DISP.]	[リセット]	1回目:位置を中央に戻す 2回目:大きさを初期設定に戻す ※

※[ ]の場合は操作できません。

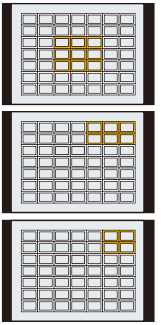
4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- [ ]選択時は、設定した場所に[■]と同じ働きのAFエリアが設定されます。
  [MENU/SET]ボタンを押す、または[AF OFF]をタッチするとAFエリアの設定を解除できます。

[ ] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点(画面の端では6点または4点)ごとのグループに分けられています。

グループの例



1 [ ] ボタン(◀)を押す

2 [ ] を選び、▼ ボタンを押す

- AFエリア設定画面が表示されます。

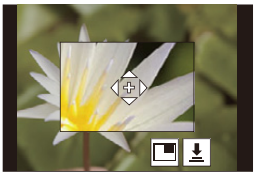
3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで、AFエリアのグループを選択する

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- [MENU/SET]ボタンを押す、または[AF OFF]をタッチするとAFエリアの設定が解除されます。

[⊞] 選択時

画面を拡大して、ピント位置を細かく設定できます。



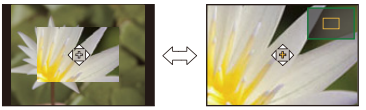
1 **[⊞]ボタン(◀)を押す**

2 **[⊞]を選び、▼ ボタンを押す**

3 **▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 拡大表示が表示されます。

4 **[+] をピントを合わせる位置に移動する**

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	[+]の移動
	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	–	画面を拡大/縮小
		拡大表示の切り換え(画面の一部/画面全体) 
[DISP.]	[リセット]	手順**3**の画面に戻す

- 画面の一部のときは約 3倍～ 6倍、画面全体のときは約 3倍～ 20倍に拡大できます。
- [⬇]をタッチしても、写真を撮影できます。

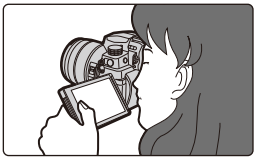
5 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

- ピントを合わせる位置は、画面の端に設定できません。

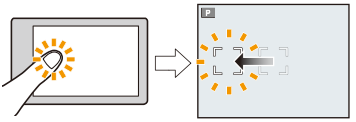
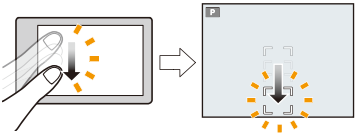
タッチパッドを使ったAFエリアの移動操作

使用できるモード： P A S M

ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動できます。



MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[タッチ設定] →[タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーのAFエリアが移動します。 
相対位置 1 ～ 相対位置 7	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーのAFエリアが移動します。 操作エリアを7つから選択できます。 **設定：** [相対位置1]（全域） [相対位置2]（右半分） [相対位置3]（右上） [相対位置4]（右下） [相対位置5]（左半分） [相対位置6]（左上） [相対位置7]（左下） 例）[相対位置1]に設定した場合 
OFF	—

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。
  また、ピントを合わせる位置を中央に戻すには、決定前に[DISP.]ボタンを押してください。
  もう一度押すと、大きさが初期設定に戻ります。
- [ ]、[ ]、[ ] 選択時に、AFエリア枠の設定を解除するには、[MENU/SET]ボタンを押してください。

- 以下の場合、[タッチパッドAF]が使用できません。
  - 4Kライブクロップ撮影時
  - [スナップムービー]の[ピント送り]を[ON]にしたとき

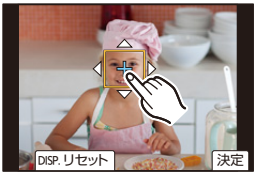
タッチした位置にピントや明るさを合わせる

使用できるモード： P A S M

MENU ボタン→[カスタム]→[操作]→[タッチ設定]→[タッチAF]→[AF+AE]

1 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが表示されます。(P87)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[ ]に変わります。



2 [決定]をタッチする

- [AF+AE] の設定を解除するには、[ ]([■]設定時は[ ])をタッチしてください。

背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。

- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[AF+AE]が働きません。
  - デジタルズーム使用時
  - 4Kライブクロップ撮影時

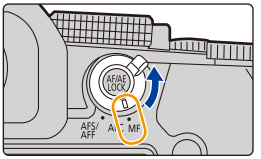
MFで撮る

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

MF(マニュアルフォーカス)とは手動ピント合わせのことです。ピントを固定したい場合や、被写体との距離が固定されていて、AFを働かせたくない場合に使います。

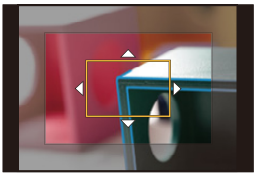
1 **フォーカスモードレバーを[MF]に合わせる**

2 **[ ]ボタン(◀)を押す**



3 **▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET]ボタンを押す**

- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。(MFアシスト)
- 画面をドラッグしても、ピントを合わせる位置を選択できます。
- 以下の操作でも拡大表示されます。
  - フォーカスリングを回す
  - フォーカスレバーを動かす
  - 画面をピンチアウトするか2 回タッチする

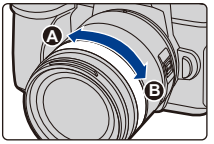


4 **ピントを合わせる**

手動でピントを合わせる操作はレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズをお使いの場合

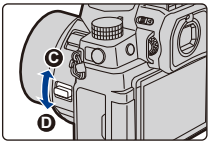
Ⓐ **側に回す**：近くにピントを合わせる
Ⓑ **側に回す**：遠くにピントを合わせる



フォーカスレバーのある交換レンズをお使いの場合

Ⓒ **側に動かす**：近くにピントを合わせる
Ⓓ **側に動かす**：遠くにピントを合わせる

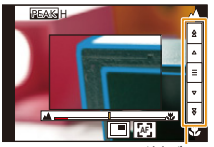
- フォーカスレバーを動かす幅によって、ピントを合わせる速度が変わります。



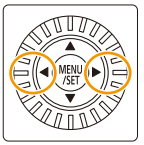
フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合

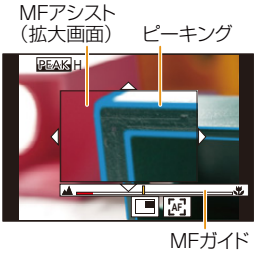
▶ **ボタンを押す**：近くにピントを合わせる
◀ **ボタンを押す**：遠くにピントを合わせる

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグしても、ピント合わせができます。



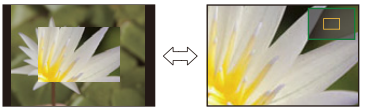
スライドバー





- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。（MFガイド）

以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶ ※1	ドラッグ	拡大表示位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
	ー	画面を拡大/縮小
※2	※2	拡大表示の切り換え（画面の一部/画面全体） 
[DISP.] ※1	[リセット] ※1	1回目：拡大表示する位置を中央に戻す 2回目：大きさを初期設定に戻す

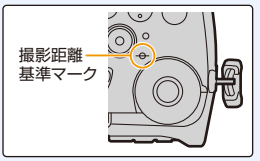
※1　フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合、▼ボタンを押して拡大位置の設定画面を表示させると操作ができます。
※2　インテリジェントオートモードでは設定できません。

- 画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～20倍に拡大できます。

5 シャッターボタンを半押しする

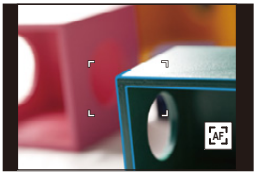
- [MENU/SET] ボタンを押しても、同じ操作ができます。
- フォーカスリングを回して、またはフォーカスレバーを動かして拡大表示した場合は、操作をやめると約10秒後にアシスト画面を終了します。

- 使用するレンズにより、MFアシストまたはMFガイドが表示されない場合があります。MFアシストを表示するには、タッチパネル操作またはボタン操作で本機を直接操作してください。
- カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の[縦/横位置フォーカス切換]を設定した場合、カメラの向きごとにMFアシストの拡大表示位置を記憶できます。
- 撮影距離基準マークは、撮影距離の基準となるマークです。MFや接写の目安にしてください。



AFを使って素早くピントを合わせる

[AF]をタッチする



- 枠の中心でAFが働きます。
- 以下の操作でもAFが働きます。
  - [AF-ON]を設定した[AF/AE LOCK]ボタンを押す(P95)
  - [AF-ON]を設定したFnボタンを押す(P53)
  - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- 4Kライブクロップ設定時、この機能は使用できません。

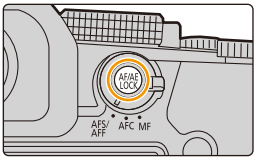
ピントや露出の固定(AF/AEロック)

使用できるモード： P A S M

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

1 被写体に向けてカメラを構える

2 [AF/AE LOCK]ボタンを押したまま、ピントや露出を固定する



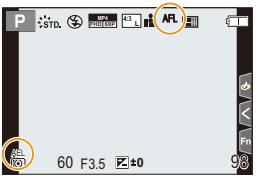
- お買い上げ時の設定では[AE LOCK]が動作して、露出を固定します。画面に[AEL]が表示されます。
- [AF/AE LOCK]ボタンを離すと、ロックは解除されます。

3 [AF/AE LOCK]ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

■ [AF/AE LOCK]の機能を設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]→[AF/AEロック切換]

AE LOCK	露出を固定します。 ● [AEL]が表示されます。
AF LOCK	ピントを固定します。 ● [AFL]が表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 ● [AFL]と[AEL]が表示されます。
AF-ON	AFが働きます。



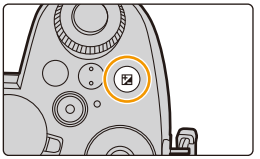
- マニュアル露出モード時は、AFロックだけ働きます。
- MF時は、AEロックだけ働きます。
- AEロック時でも、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直すことができます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出補正

使用できるモード： P A S M

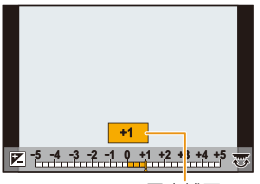
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

1 [ ]ボタンを押す



2 前後のダイヤル、またはコントロールダイヤルを回して露出を補正する

- カスタムメニュー(操作)の[露出補正画面の操作]で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。(P41)



露出補正

露出アンダー

露出をプラス方向に補正してください。

適正露出

露出オーバー

露出をマイナス方向に補正してください。

3 [ ]ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。

- マニュアル露出モード時は、ISO感度を[AUTO]に設定した場合に露出補正できます。
- 露出補正値は、–5 EV～+5 EVの範囲で設定できます。
  動画撮影時、4Kフォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、–3 EV～+3 EVの範囲で設定できます。
- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定した場合、露出補正値に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。
- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- 露出補正値が–3 EVから+3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。シャッターボタンを半押しする、または[AF/AE LOCK]ボタンでAEロックにすると、撮影画面に反映されます。
- 設定した露出補正値は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。([露出補正リセット]を[OFF]に設定した場合)

ISO感度の設定

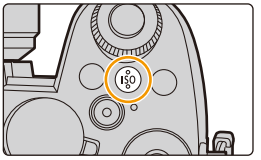
使用できるモード： P A S M

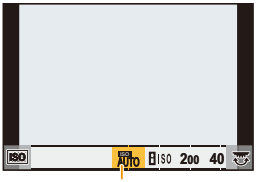
光に対する感度(ISO感度)を設定できます。

1 [ISO]ボタンを押す

2 前後のダイヤル、またはコントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ

- カスタムメニュー(操作)の[ISO感度画面の操作]で、ISO感度画面で設定する内容を変更できます。(P41)





ISO感度

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大[ISO3200]※1
ISO(インテリジェントISO)	被写体の動きと明るさに応じてカメラが最適なISO感度とシャッタースピードを自動的に設定し、被写体のブレを抑えます。 ● 最大[ISO3200]※1 ● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されません。全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.100※2、200～25600	それぞれのISO感度に固定します。

※1 撮影メニューの[ISO感度設定(写真)]の[ISOオート上限設定]を[AUTO]に設定した場合
※2 カスタムメニュー(露出)の[拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合

3 [ISO]ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。

ISO感度の性質

	200 ⟷	25600
撮影場所(お勧め)	明るいとき(屋外)	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

- [AUTO]設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、137 ページをお読みください。
- シャッター優先AEモードやマニュアル露出モードでは、[ISO]が使用できません。
- [多重露出]設定時のISO感度の上限は[ISO3200]になります。
- [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定した場合は、ISO感度の下限が[ISO400]になります。
- 以下の機能を使用中は、設定できるISO感度に制限があります。
  - クリエイティブ動画モード/4Kフォト撮影/フォーカスセレクト撮影:
    [AUTO]、200～6400([拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合は、L.100～6400)
  - ライブビューコンポジット撮影:
    200～1600([拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合は、L.100～1600)
- シーンガイドモードでは、[パノラマで撮る]を設定したときにだけ、ISO感度を設定できます。

■ 拡張ISO感度

使用できるモード： P A S M

ISO感度を最小[ISO100]まで設定できるようになります。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [露出]→[拡張ISO感度]→[ON]

こんなときは使用できません

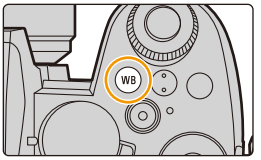
- 以下の場合、[拡張ISO感度]が働きません。
  - [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定したとき
  - [多重露出]設定時

ホワイトバランス(WB)の設定

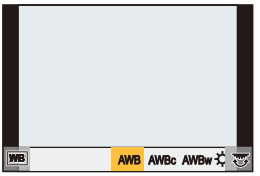
使用できるモード： P A S M

光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 [WB] ボタンを押す



2 前後のダイヤルまたはコントロールリングを回してホワイトバランスを選ぶ



AWB	オート
AWBc	オート(白熱電球下で赤みを抑えます)
AWBw	オート(白熱電球下で赤みを残します)
☼	晴天の屋外での撮影時
☁	曇りの屋外での撮影時
🏠	屋外の晴天下の日陰での撮影時
白熱灯下での撮影時	
※	フラッシュ光だけでの撮影時
1、2、3、4	白いものを撮影してホワイトバランスを設定します。複数の光源下で撮影するときに便利です。 ❶ ▲ ボタンを押す ❷ 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、[MENU/SET] ボタンを押す ● ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 ● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。
K1、K2、K3、K4	光源に合わせてホワイトバランスの色温度を設定します。 ❶ ▲ ボタンを押す ❷ ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す ● [2500K]～[10000K] まで設定できます。

※ 動画撮影時、4Kフォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は[AWB]の動作になります。

3 [WB] ボタンを押して決定する

● シャッターボタンを半押ししても決定できます。

蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[AWBw]、[1]、[2]、[3]、[4]をお使いください。

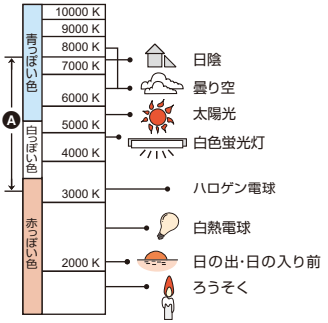
- フラッシュ撮影可能範囲外でフラッシュ撮影をすると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモード時は、
  - それぞれのシーンに適した設定になります。
  - シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス(ホワイトバランスの調整も含む)が[AWB]に戻ります。

■ オートホワイトバランスについて

撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、以下の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かないことがあります。ホワイトバランスを[AWB]、[AWBc]、[AWBw]以外に設定して調整してください。

- 光源が複数あるとき
- 白に近い色がないとき

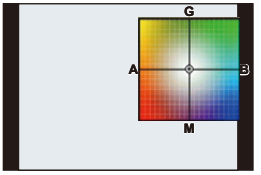
Ⓐ:[AWB]が働く範囲



目次
MENU メニューガイド
さくいん

ホワイトバランスの調整

ホワイトバランスを設定しても、思いどおりの色合いにならないときに、色合いを調整できます。



1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して色合いを調整する

◀:A(アンバー:オレンジ系)　▲:G(グリーン:緑系)
▶:B(ブルー:青系)　▼:M(マゼンタ:赤系)

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても調整できます。
- 中心点に戻すには、[DISP.] ボタンを押してください。
- ホワイトバランスブラケットを設定するには、コントロールダイヤルを回してください。(P127)

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。

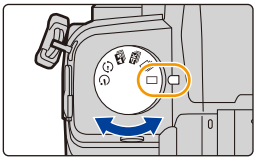
- ホワイトバランスをA(アンバー)またはB(ブルー)方向に調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG(グリーン)またはM(マゼンタ)方向に調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] または[−] が表示されます。

ドライブモードの選択

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

ドライブモードダイヤルを回す

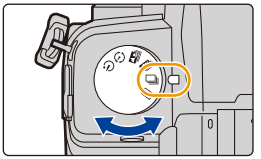


	単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
	連写(P103)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
4K	**4Kフォト**(P105)	シャッターボタンを押すと4Kフォトの撮影をします。
	フォーカスセレクト(P114)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクトの撮影をします。
	インターバル/コマ撮り撮影(P119、121)	インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影します。
	セルフタイマー(P123)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

連写する

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。



1 ドライブモードダイヤルを[ ]に合わせる

2 連写設定を選ぶ

MENU ボタン→ [撮影]→[連写速度]

設定：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）

3 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■ 連写速度

	連写速度	連写中のライブビュー
[H]（高速）	9 コマ/秒（AFS、MF） 6 コマ/秒（AFF、AFC）	なし（AFS、MF） あり（AFF、AFC）
[M]（中速）	6 コマ/秒	あり
[L]（低速）	2 コマ/秒	あり

■ 連写コマ数

	RAWファイルあり	RAW ファイルなし
[H]（高速）	30 コマ以上	600 コマ以上
[M]（中速）		
[L]（低速）		

- 当社測定条件による撮影時。
  途中から連写速度が遅くなりますが、カードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
  撮影条件によっては連写コマ数が少なくなる場合があります。

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。
撮影速度を維持しながら連写撮影できる枚数の目安が確認できます。

例）20 枚のとき：[r20]

- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100枚以上の連続撮影ができます。

■ 連写時のピントについて

ピント合わせは、フォーカスモードとカスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の[フォーカス/レリーズ優先]の設定によって異なります。

フォーカスモード	フォーカス/レリーズ優先	[H]	[M]/[L]
AFS	フォーカス	1コマ目	
	バランス		
	レリーズ		
AFF/AFC※1	フォーカス	予測ピント※2	常時ピント※3
	バランス	予測ピント※2	
	レリーズ		
MF	ー	マニュアルで設定したフォーカス	

※1　被写体が暗い場合は、ピントは1コマ目に固定されます。
※2　連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
※3　連写速度は遅くなることがあります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
  - [記録画素数]/[クオリティ]/ISO感度/フォーカスモード/[フォーカス/レリーズ優先]
- 連写速度を[H]（フォーカスの設定が[AFS]または[MF]の場合）に設定したときは、1コマ目の露出に固定されます。その他の場合は、1コマごとに露出を調整します。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**
- シャッターボタンを押したまま連続撮影するときは、シャッターリモコン（別売：DMW-RS2）の使用をお勧めします。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、連写は働きません。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - フラッシュ撮影時
  - [多重露出]設定時

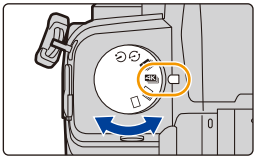
4Kフォト撮影

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

約800万画素の写真を30コマ/秒で連写撮影します。撮影後に連写ファイルから一瞬を選んで保存できます。

- 撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。

1 ドライブモードダイヤルを［4K］に合わせる



2 撮影方法を選ぶ

MENU ボタン→［撮影］→［4Kフォト］→［撮影方法］

4K連写	**動きが速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき** （スポーツ、飛行機、鉄道など） 音声記録：なし
4K連写（S/S） S/Sとは「Start/Stop」の略を表します。	**いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき** （植物、動物、子どもなど） 音声記録：あり※
4Kプリ連写	**シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき** （ボールを投げる瞬間など） 音声記録：なし

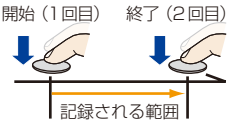
※ 本機で再生する場合、音声は再生されません。

3 シャッターボタンを半押しして、メニューを終了する

4 4Kフォトを撮影する

- AFで撮影中はAF連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。

4K連写	**1 シャッターボタンを半押しする** **2 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする** ● 全押しから約0.5秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。 ● 撮影開始後すぐにシャッターボタンを離すと、最大約1.5秒後まで記録される場合があります。

4K連写(S/S)	**1 シャッターボタンを全押しする** **2 もう一度、シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する**  **手動でマーカーを設定する** 撮影中に [Fn2] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。（1回の撮影に最大40個まで） 4K連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。
4Kプリ連写	**シャッターボタンを全押しする** ● AF時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ● 通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。 **撮影のテクニック** 被写体が中央にないときなどに、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AEロックをお使いください。(P95)

- 4Kフォトを連写撮影し、MP4形式の4K連写ファイルが記録されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。
  続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- 撮影した4K連写ファイルから写真を選び保存する方法は：(P110)

■ プリ記録を設定する（4K連写、4K連写(S/S)）

シャッターボタンを全押しする約1秒前から記録し、シャッターチャンスを逃すことを防ぎます。

MENU ボタン → [撮影] → [4Kフォト] → [プリ記録]

設定：[ON]、[OFF]

- 設定時は撮影画面に[PRE]が表示されます。
- [プリ記録]使用時のAFの動作や設定できないメニューは、[4Kプリ連写]と同じです。

■ ループ記録を設定する（4K連写(S/S)）

古いデータを消去しながら記録できます。カードを交換せずにシャッターチャンスを待ちながら撮影できます。

- 撮影を開始すると、4K連写ファイルが約2分ごとに分割して記録されます。
  最新の約10分間（最大約12分間）が記録されます。それ以前の部分は消去されます。

MENU ボタン → [撮影] → [4Kフォト] → [ループ記録(4Kフォト)]

設定：[ON]、[OFF]

- **十分に充電されたバッテリー、またはACアダプター（別売：DMW-AC10）とDCカプラー（別売：DMW-DCC8）の使用をお勧めします。**
- 連続して撮影できるのは、12時間までです。
- 設定時は撮影画面に[ ]が表示されます。

こんなときは使用できません

- カードの空き容量が不足する場合、ループ記録ができません。

本機の温度やバッテリーの消耗について

- 周囲の温度が高い場合や、連続で4Kフォトの撮影をした場合は、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- **[ ]（4Kプリ連写）※や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。撮影するときだけ設定してください。**

※ 本機の保護のため、[ ]（4K連写）に切り換わる場合があります。

4Kフォトについてのお知らせ

■ 横縦比を変更する

撮影メニューの[画像横縦比]を設定することで、4Kフォトの横縦比を設定できます。

■ 被写体ブレを抑えて撮る

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

1 モードダイヤルを[S]に合わせる

2 後ダイヤルまたは前ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■ 手ブレを抑えて撮る

[比較明合成]や[軌跡合成]をする場合、カメラのブレを抑えるために、三脚とシャッターリモコン（別売：DMW-RS2）の使用をお勧めします。

■ 撮影時のシャッター音について

- [4K連写]や[4Kプリ連写]で撮影するときは、[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音を設定できます。
- [4K連写（S/S）]で撮影時、開始音/終了音は、[電子音音量]で音量を設定できます。
- [サイレントモード]と組み合わせて撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。

■ 苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減される場合があります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。

■ 4Kフォト撮影時のカメラの設定について

4Kフォト撮影時は、自動で最適な設定に切り換わります。

- 以下の撮影メニューは固定されます。

記録画素数	[4K](8M) [4:3]:　3328×2496 [3:2]:　3504×2336 [16:9]: 3840×2160 [1:1]:　2880×2880

クオリティ	[⁂]
シャッター方式	[電子シャッター]

- 4K連写ファイルは以下の設定で撮影されます。
  動画メニューの設定は、4K連写ファイルに反映されません。

記録方式	[MP4]
画質設定	[4K/100M/30p]

AF 連続動作	[ON]
輝度レベル設定	[0–255]

- 4Kフォト撮影時は、以下の機能を設定できる範囲が写真撮影時と異なります。
  - シャッタースピード：1/30～1/16000
  - [下限シャッター速度]：[1/1000]～[1/30]
  - 露出補正：－3 EV～＋3 EV
  - ISO感度：[AUTO]、200～6400（[拡張ISO感度]を[ON]にした場合は、L.100～6400）
- 4Kフォト撮影時は、以下の機能が使用できません。
  - フラッシュ撮影
  - ブラケット撮影
  - プログラムシフト
  - フォーカスモード（AFF）
  - AF モード（[+]）
  - MFアシスト（[4Kプリ連写]設定時）
  - ホワイトバランス（[WB]）
- 以下のメニューは設定できません。

インテリジェントオート	[i手持ち夜景]/[iHDR]
クリエイティブコントロール	[フィルターなし同時記録]
撮影	[記録画素数]/[クオリティ]/[AFS/AFF]/[AF追従感度(写真)]/[色空間]/[フラッシュ設定]/[長秒ノイズ除去]/[シェーディング補正]/[EXテレコン(写真)]/[ライブビューコンポジット]/[シャッター方式]/[シャッターディレイ]/[ブラケット]/[HDR]
カスタム	[記録枠表示]/[個人認証]/[プロフィール設定]
セットアップ	[エコモード]（[4Kプリ連写]設定時）

- 以下の条件ではファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は中断することなく続けることができます）
  SDHCメモリーカード使用時： ファイルサイズが 4 GBを超える場合
  SDXCメモリーカード使用時： 連続記録時間が3時間4分を超える場合、ファイルサイズが96 GB を超える場合
- 4Kフォト撮影時、以下のようになります。
  – 画角が狭くなります。
  – [トラベル日付]の[旅行先]は記録できません
  – [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]は設定できません
  – HDMI出力はできません
- [4Kプリ連写]で撮影時、[パワーズームレンズ]の[ステップズーム]は働きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じです。
- ドライブモードを4Kフォトに設定した場合、動画撮影中に写真を撮影できません。（[(写真優先)]設定時）
- パソコンで4K連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」では4K連写ファイルを動画として編集できません。

こんなときは使用できません

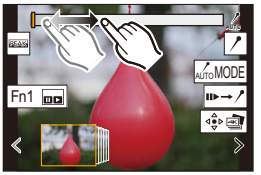
- 以下の場合、4Kフォトは働きません。
  – シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  – 動画撮影時
  – [多重露出]設定時

4K連写ファイルから写真を選ぶ

1 再生画面で [▲] アイコンが付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- アイコン [▲] をタッチしても同じ操作ができます。
- [4Kプリ連写] で撮影した場合は、手順3へ進んでください。

スライドフォトセレクト画面



2 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、111 ページをお読みください。
- [ ] (Fn1) をタッチすると、4K連写再生画面でもシーンを選択できます。(P112)
- [ ] をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わります。(P113)

3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀/▶ を押しても、同じ操作ができます。
- 連続してコマ戻し/コマ送りするには、[<]/[>] をタッチし続けてください。

4 [ ] をタッチして、写真を保存する

- 写真は JPEG 形式で保存されます。

- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif情報)が記録されます。
- パソコンに4K連写ファイルを保存した場合、MP4 動画として扱われます。

■ 4Kフォト一括保存

4K連写ファイルから、5秒分の写真を一括で保存できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [再生] → [4Kフォト一括保存]

2 ◀/▶ ボタンで4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

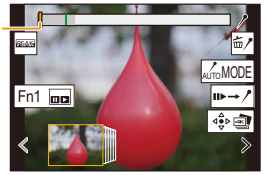
3 一括保存する最初のコマを選ぶ

- 選択方法は、4K連写ファイルから写真を選ぶ操作と同じです。
- 写真は JPEG形式で、1 つの連写グループとして保存されます。(P162)

写真を選ぶときの操作

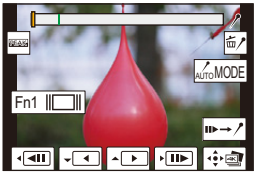
■ スライドフォトセレクト画面での操作

表示中のコマの位置

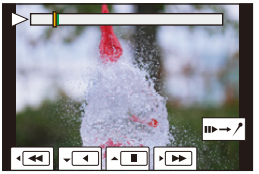


ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/(◎)	ドラッグ/ ＜/＞	コマの選択 ● スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[＜] または [＞] をタッチしてください。
◀/▶ 長押し	＜/＞ タッチし続ける	連続してコマ戻し/コマ送り
–	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択 ● 前後のコマをスライドフォトで表示します。
	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小
	–	拡大したままコマを選択(拡大表示中)
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
–	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え(P113)
Fn1		4K連写再生画面を表示
–		マーカー操作への切り換え(P113)
–	/	マーカーの追加/削除
–	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示(ピーキング) ● [PEAK OFF] → [PEAK L](低)→ [PEAK H](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

■ 4K連写再生画面での操作



一時停止中


連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	連続再生/一時停止（連続再生中）
▼	◀/❚❚	連続戻し再生/一時停止（連続戻し再生中）
▶/◎	▶▶/❚❚▶	早送り再生/コマ送り（一時停止中）
◀/◎	◀◀/◀❚❚	早戻し再生/コマ戻し（一時停止中）
–	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択（一時停止中）
	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小（一時停止中）
	–	拡大したままコマを選択（拡大表示中）
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
–	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え（P113）
Fn1		スライドフォトセレクト画面を表示（一時停止中）
–		マーカー操作への切り換え（P113）
–	/	マーカーの追加/削除
–	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示（ピーキング） ● [PEAK OFF] → [PEAK L]（低）→ [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存（一時停止中）

● 画面を2回タッチするごとに、拡大表示/通常表示が切り換わります。

テレビの画面で写真を選び保存する

● [HDMI出力解像度（再生時）]を[AUTO]または[4K/30p]の解像度の設定にしてください。
4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO]に設定してください。
● テレビに接続して表示する場合、4K連写再生画面が表示されます。

マーカー

4K連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真が選びやすくなります。
マーカーには2種類あります。

白色： 撮影時や再生時に手動で設定したマーカー
緑色： 撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
（オートマーキング機能）

マーカー操作画面

■ マーカーの位置へスキップする

スライドフォトセレクト画面、または4K連写再生画面で[▮▮▶→📍]をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わり、マーカーの位置にスキップできます。
[📍→▮▮▶] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	▮◀ / ▶▮	前 / 次のマーカーへ移動

オートマーキング機能

カメラが被写体の動きや顔を検出したシーンに、自動でマーカーを設定します。
（例：乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン）

- 1ファイルにつき最大10個まで表示されます。
- 以下の場合は撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されないことがあります。
  - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
  - 被写体の動きが遅い/小さい
  - 被写体が小さい
  - 顔が正面を向いていない

■ 表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K連写再生画面、またはマーカー操作画面で [AUTO MODE] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示します。
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
OFF	手動で設定したマーカーだけを表示します。

- オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
- 4K連写ファイルを他の機器で動画分割して再び本機で再生すると、オートマーキング機能によるマーカーは、正しく表示されない場合があります。
- 以下の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
  - [4Kプリ連写]で撮影した4K連写ファイル

フォーカスセレクト撮影

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

4K連写でピント位置を変えながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。動きのない被写体に適した機能です。

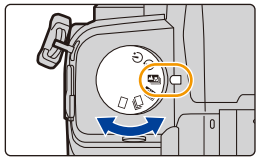
自動でピントをずらしながら 4K フォト連写

合わせたいピント位置をタッチ

お好みのピント位置の写真が完成

- 撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。
- フォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 ドライブモードダイヤルを[ ]に合わせる

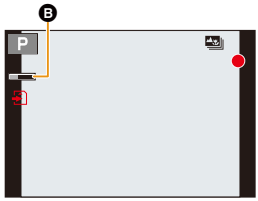


2 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- AFが働き、画面内のピント位置を検出します。(画面の端を除く)
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示(A)が点滅し、撮影できません。

シャッターボタン半押しから撮影終了までは
- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

3 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する



- ピント位置を自動で変えながら撮影します。
  アイコン(B)が消えると、撮影は自動で終了します。
- 記録方式[MP4]の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が表示されます。(P116)

本機の温度について
- 周囲の温度が高い場合や、連続でフォーカスセレクト撮影をした場合は、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ フォーカスセレクト撮影の制限事項

- 4Kフォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。
  詳しくは、108 ページの「4Kフォト撮影時のカメラの設定について」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4Kフォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
  - AFモードは設定できません
  - MF操作はできません
  - 動画撮影はできません
  - [デジタルズーム]は使用できません
  - 以下のカスタムメニューは設定できません
    [シャッター半押し AF]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、フォーカスセレクト撮影は働きません。
  - シーンガイドモードの[逆光でしっかり撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [多重露出]設定時

ピント位置を選んで写真を保存する

1　再生画面で［▲］アイコンが付いた画像を選び、▲ボタンを押す

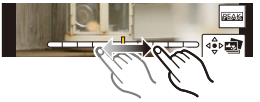
- アイコン［▲］をタッチしても同じ操作ができます。

2　ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真を保存できません。
- 画面の端は選択できません。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/ / ( )	タッチ	ピント位置の選択 ● 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小（拡大表示中）
Fn1		フォーカス合成操作への切り換え（P117）
–	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示（ピーキング） ●［PEAK OFF］→［PEAK L］（低）→［PEAK H］（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

- 拡大表示中は、スライドバーをドラッグして、ピントを微調整できます。（◀/▶ ボタンでも同じ操作ができます）



3　［ ］をタッチして、写真を保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。

- テレビに画像を表示して、ピント位置を選ぶことはできません。

フォーカス合成

複数のピント位置を合成して写真を保存します。

近い ピント 遠い

1 「ピント位置を選んで写真を保存する」(P116)の手順2のピントを合わせる位置を選ぶ画面で、[ ] をタッチする

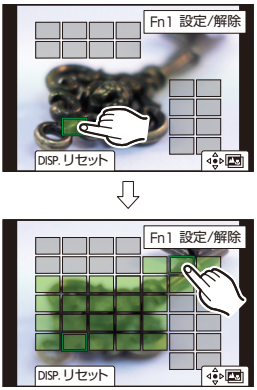
- Fnボタン(Fn1)を押しても、同じ操作ができます。

2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 ● 近距離側の写真を優先して選びます。 ● 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

([指定範囲合成]選択時)

3 ピントを合わせる位置をタッチする



- 2点以上の位置を選択してください。
- 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が表示されます。
- 選択できない範囲がグレーで表示されます。

- 選択を解除するには、もう一度タッチしてください。
- 位置を続けて選択するには、画面をドラッグしてください。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/	タッチ	位置の選択
Fn1	[設定/解除]	位置の設定/解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択 (位置の選択前)
	[リセット]	すべての選択を解除 (位置の選択後)
[MENU/SET]		写真の合成・保存

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

4 [ ] をタッチして、写真を合成し保存する

- 写真はJPEG形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 以下の場合は、不自然な写真に合成されることがあります。
  - 撮影中に被写体が動いたとき
  - 被写体間の距離の差が大きいとき
  - ボケ具合が大きいとき（絞り値を大きくして撮影すると、不自然さが軽減することがあります）
- 他の機器で撮影した画像は、フォーカス合成できない場合があります。

インターバル撮影/コマ撮りアニメ撮影

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

インターバル撮影、またはコマ撮りアニメを撮影できます。撮影した写真を動画にすることもできます。

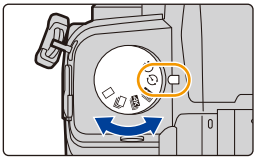
- **あらかじめ時計設定をしてください。**(P35)

- 撮影した写真はグループ画像として表示されます。

インターバル撮影

時間経過を追って動植物などの被写体を自動的に撮影し、動画を作成できます。

1 ドライブモードダイヤルを [⏲] に合わせる



2 メニューを設定する

MENU ボタン→ [撮影]→[インターバル/コマ撮り撮影]→[撮影方法]→[インターバル撮影]

- 撮影画面で [ ] をタッチしても、同じ操作ができます。
- ドライブモードダイヤルを[⏲]に切り換えてから[MENU/SET]ボタンを押すと、[インターバル/コマ撮り撮影]が選択された状態でメニューが表示されます。(ドライブモードダイヤルを切り換えたあとの1回目だけ表示されます)

3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、設定する

撮影間隔設定	ON	撮影開始から次の撮影開始までの時間を設定します。
	OFF	撮影終了後、間隔を空けずに次の撮影を開始します。
開始時刻	**即時開始**	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大23時間59分後まで設定できます。 ◀/▶：項目(時・分)選択、▲/▼：設定、[MENU/SET]：決定
撮影枚数 **撮影間隔**※1	撮影枚数と撮影間隔を設定できます。 ◀/▶：項目(分・秒・枚)選択、▲/▼：設定、[MENU/SET]：決定	

※1 [撮影間隔設定]が[ON]の場合に設定できます。

- 設定画面に、撮影の終了予定時刻が表示されます。
  [撮影間隔設定]を[OFF]に設定した場合は、以下の条件で表示されます。
  - 撮影モード：シャッター優先 AE モードまたはマニュアル露出モード
  - フォーカスモード：[MF]
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できなかったり、終了予定時刻に終了しなかったりする場合があります。

4 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。

5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中に一定時間何も操作をしないと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作（電源が入った状態）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn2]※2	※3	一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示（一時停止中）

※2 [撮影間隔設定]を[OFF]に設定して撮影するときは、撮影中でも[Fn2]を押すことができます。
[Fn2]を押したときの画像の撮影（露光）が終了してから、選択画面を表示します。
※3 [撮影間隔設定]を[OFF]に設定して撮影するときは、タッチ操作はできません。

- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。
作成する場合は、[はい]を選んでください。
動画の作成については、「インターバル/コマ撮りアニメの動画」(P122)をお読みください。

- システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 電源スイッチを[OFF]にしたとき
  設定時間内であれば、一時停止中にバッテリーやカードを交換し、電源を入れて再開できます。（ただし、カードを交換してから撮影した画像は、別のグループ画像として記録されます）
  なお、バッテリーやカードを交換するときは、電源スイッチを [OFF] にしてください。
- [撮影間隔]を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、AF でインターバル撮影することをお勧めします。

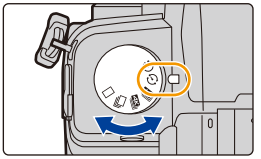
こんなときは使用できません

- 以下の場合、[インターバル撮影]が使用できません。
  - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
  - [多重露出]設定時

コマ撮りアニメ撮影

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

1 ドライブモードダイヤルを [⏱] に合わせる



2 メニューを設定する

MENU ボタン→ 📷 [撮影]→[インターバル/コマ撮り撮影]→[撮影方法]→[コマ撮りアニメ]

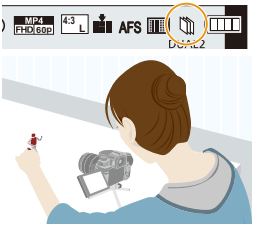
- 撮影画面で [ ] をタッチしても、同じ操作ができます。
- ドライブモードダイヤルを [⏱] に切り換えてから [MENU/SET]ボタンを押すと、[インターバル/コマ撮り撮影]が選択された状態でメニューが表示されます。（ドライブモードダイヤルを切り換えたあとの1回目だけ表示されます）

3 ▲/▼ ボタンで項目を選び、設定する

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影]を[ON]に設定した場合) ◀/▶：項目(秒)選択、▲/▼：設定、[MENU/SET]：決定	

4 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。



5 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

6 （2枚目以降を撮影する場合）
被写体を動かし、構図を決めて撮影する（繰り返す）

- 最大9999コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。

素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影した画像を確認するには、[▶]ボタンを押してください。不要な画像は[🗑]ボタンを押して消去できます。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。

7 **[ ] をタッチして撮影を終了する**

- 撮影メニューから[インターバル/コマ撮り撮影]を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影]を[ON]に設定した場合は、確認画面で[終了]を選んでください。([一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。作成する場合は、[はい]を選んでください。
  動画の作成については、「インターバル/コマ撮りアニメの動画」(下記)をお読みください。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順**3**で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押してください。

- フラッシュ撮影など、撮影条件によっては撮影に時間がかかる場合があります。このため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 1 枚だけ撮影された画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]が使用できません。
  - シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
  - [多重露出]設定時
- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]の[自動撮影]が使用できません。
  - シーンガイドモードの [夜景を手持ちで撮る]

インターバル/コマ撮りアニメの動画

インターバル撮影、コマ撮り撮影後に、続けて動画を作成できます。

1 **動画の作成方法を選ぶ**

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	**[撮影順]**：撮影した順番で画像をつなげます。 **[逆順]**：　撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

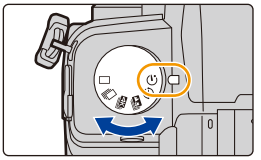
2 **▲/▼ ボタンで [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**

- 再生メニューの[インターバル動画作成](P219)、[コマ撮りアニメ作成](P220)からも動画を作成できます。
- 画質設定のサイズを[4K]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29 分59 秒を超える動画は作成できません。
  - SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4 GBを超える場合も動画作成できません。
  - SDXCメモリーカードを使用すると、ファイルサイズが4 GBを超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを[FHD]または[HD]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。

セルフタイマー撮影

使用できるモード：iA iA+ P A S M M SCN

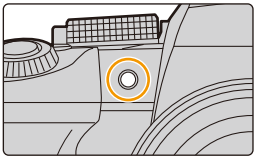
1 ドライブモードダイヤルを[ ]に合わせる



2 シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、全押しして撮影する

- ピントと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。

- セルフタイマーランプが点滅後、撮影が始まります。



■ セルフタイマーの時間を設定する

MENU ボタン→ [撮影]→[セルフタイマー]

10	10秒後に撮影します。
10	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
2	2秒後に撮影します。 ● シャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ ]に設定できません。
  - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]を[ON]に設定したとき
  - ブラケット撮影時
  - [多重露出]設定時
  - ライブビューコンポジット撮影時
- 以下の場合、セルフタイマーは働きません。
  - 動画撮影時

ブラケット撮影

使用できるモード： P A S M

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(P125)
絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。(P126) ● 絞り優先AEモード時、またはマニュアル露出モードでISO感度を[AUTO]に設定した場合に選択できます。
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(P126)
WB ホワイトバランスブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。(P127)

2 ▲/▼ ボタンで[詳細設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [詳細設定]については、各機能のページをお読みください。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分を撮影する前にブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にしたりすると、1枚目からの撮影になります。

■ ブラケットを解除する

手順1で[OFF]を設定する。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ブラケット撮影は働きません。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - フラッシュ撮影時(ホワイトバランスブラケットを除く)
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
  - インテリジェントオートプラスモード
  - クリエイティブコントロールモード
  - 連写撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき

露出ブラケット

■ 詳細設定(124 ページの手順2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3](3枚撮影・1/3 EV 幅)～[7・1](7枚撮影・1 EV 幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法 ※	[□]:シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 [□]:1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

補正幅:[3・1/3]、ブラケット順序:[0/ー/＋]設定時の例

1枚目

±0 EV

2枚目

－1/3 EV

3枚目

＋1/3 EV

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

絞りブラケット

撮影モード：A M

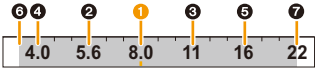
■ 詳細設定（124 ページの手順2）

撮影枚数	[3]、[5]：開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]：　すべての絞り値で撮影。

● 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

絞り値は使用するレンズによって変わります。

交換レンズ（H-FSA14140）装着時の例



開始位置を F8.0 に設定時

❶1 枚目、❷2枚目、❸3枚目・・・❼7枚目

フォーカスブラケット

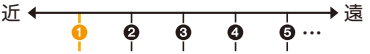
■ 詳細設定（124 ページの手順2）

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。 ● 1 つの補正幅でピント位置をずらす距離は、開始時のピント位置が近い場合は短く、遠い場合は長くなります。
撮影枚数 ※	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/－/＋]：　開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/＋]：　開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

[ブラケット順序]：[0/－/＋] 設定時の例

[ブラケット順序]：[0/＋] 設定時の例



❶1 枚目、❷2枚目・・・❺5枚目・・・

● フォーカスブラケット撮影した写真は、グループ画像として表示されます。

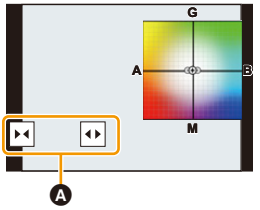
ホワイトバランスブラケット

■ 詳細設定（124 ページの手順2）

コントロールダイヤルを回して補正幅を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

：横方向（A～B）

：縦方向（G～M）



- Ⓐ をタッチしても補正幅を設定できます。

手ブレ補正

本機は、ボディ内手ブレ補正、レンズ内手ブレ補正が使用できます。2つの手ブレ補正を効果的に組み合わせたDual I.S.方式のうち、補正効果の高いDual I.S.2（DUAL2、DUAL2、DUAL2）に対応しています。さらに動画撮影時には、電子式を組み合わせた5軸ハイブリッド手ブレ補正が使用できます。

- 装着するレンズによって使用できる手ブレ補正は異なります。撮影画面に表示されるアイコンは、現在働いている手ブレ補正の種類を表します。

装着するレンズ	使用できる手ブレ補正	表示されるアイコン	
		写真撮影時	動画撮影時
Dual I.S.方式に対応した当社製レンズ（マイクロフォーサーズ規格準拠）	レンズ＋ボディ（Dual I.S.）	DUAL2 / DUAL / DUAL2 / DUAL	DUAL2 / DUAL
手ブレ補正機能のあるレンズ（マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格準拠）	レンズまたはボディ	/	
手ブレ補正機能のないレンズ（マイクロフォーサーズ規格 / フォーサーズ規格準拠）	ボディ	/	
ライカレンズ用マウントアダプター（別売）/ 他社製マウントアダプター使用時	ボディ	/	

- 5 軸ハイブリッド手ブレ補正機能は、すべてのレンズで使用できます。
  撮影メニューの[手ブレ補正]の[電子補正(動画)]を[ON]に設定してください。[ON]に設定した場合、撮影画面では以下のアイコンが表示されます。
  - Dual I.S.方式に対応した当社製レンズ：DUAL2 / DUAL
  - 上記以外：
- Dual I.S. 方式に対応した当社製レンズを使用しても撮影画面のアイコンに[DUAL2]や[DUAL]が表示されない場合は、レンズのファームウェアを最新のバージョンにしてください。対応レンズの最新情報やファームウェアのダウンロードについては、ホームページをご覧ください。(P11)

■ 手ブレ補正を使う

- O.I.S.スイッチのあるレンズを使用するときは、O.I.S.スイッチを[ON]にしてください。
- 本機との通信機能がないレンズを使用するときは、カメラの電源を入れたときに、焦点距離設定の確認メッセージが表示されます。
  手ブレ補正機能を正しく動作させるには、レンズに合わせて焦点距離を設定する必要があります。メッセージに従って焦点距離を設定してください。メニューでも設定できます。(P130)

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマー、シャッターリモコン（別売：DMW-RS2）などをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されます。シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  - スローシンクロ
  - 赤目軽減スローシンクロ
  - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]
  - シャッタースピードを遅くしたとき

手ブレ補正の設定

使用できるモード： P A S M

撮影状況に合わせて、手ブレ補正の動作を設定します。

- O.I.S.スイッチがある交換レンズ（H-FSA14140など）の場合、レンズのO.I.S.スイッチを[ON]にすると手ブレ補正機能が働きます。（お買い上げ時は[ ]に設定されています）

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[手ブレ補正]

動作設定	**（通常）**	上下、左右、回転の動きに対する手ブレを補正します。
	（流し撮り）	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法）するときに適しています。
	OFF	手ブレ補正は働きません。（ ） ● O.I.S.スイッチがあるレンズをご使用の場合は、レンズのO.I.S.スイッチを[OFF]にしてください。
電子補正（動画）	動画撮影時の上下方向、左右方向、回転軸、縦回転、水平回転の5つのブレをレンズ、ボディ、電子式を組み合わせて補正します。（5軸ハイブリッド手ブレ補正） **[ON]、[OFF]** ● [ON]に設定すると、画角が狭くなる場合があります。	

手ブレロック（動画）	動画撮影中の手ブレ補正の効果を高めます。固定したアングルで撮りたい場合、安定した構図を保つことができます。 **[ON]、[OFF]** ● 撮影中だけ働きます。撮影画面に[✋]が表示されます。 ● **撮影中に構図を変える場合は、[OFF] に設定してから本機を動かしてください。** 撮影中に[ON]/[OFF]を切り換えるには、Fnボタンを使用してください。(P53) ● 望遠レンズ装着時など、焦点距離が大きくなるほど、補正効果が弱くなります。 ● 使用するレンズによっては、補正効果が弱くなる場合があります。 ● 他社製の手ブレ補正機能のあるレンズをお使いの場合、[手ブレロック（動画）]が使用できません。
焦点距離設定	本機との通信機能がないレンズを使用しているときに、焦点距離を手動で設定します。

レンズの焦点距離を設定する

1　メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影]/[動画] → [手ブレ補正] → [焦点距離設定]

2　焦点距離を入力する

◀/▶：項目（桁）選択、▲/▼：設定

● 焦点距離は 0.1 mm～1000 mmまで設定できます。

3　[MENU/SET] ボタンを押す

■ 焦点距離を登録する

❶ 焦点距離を入力する

❷ ▶ボタンで上書き登録する焦点距離を選び、[DISP.] ボタンを押す

● 焦点距離の設定は３つまで登録できます。

■ 登録済みの焦点距離を呼び出す

◀/▶ボタンで登録済みの焦点距離を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- **手ブレ補正が働いているときは、動作音がしたり、振動したりすることがあります。故障ではありません。**
- 三脚を使用するときは、手ブレ補正機能をオフにすることをお勧めします。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ブレが大きいとき
  - ズーム倍率が高いとき
  - デジタルズーム使用時
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[ ] での流し撮りの効果が出にくくなります。
  - 夏の日中など、明るいところ
  - シャッタースピードが1/100秒より速い場合
  - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

こんなときは使用できません

- 以下の場合は、[ ]（通常）にしていても、[ ]（流し撮り）に切り換わります。
  - シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
- 以下の場合は、[ ]（流し撮り）にしていても、[ ]（通常）に切り換わります。
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
- 以下の場合、対応レンズを使用しても [DUAL2] は [DUAL] に切り換わります。
  - [ハイスピード動画] 設定時
- 以下の場合、5軸ハイブリッド手ブレ補正機能が使用できません。
  - デジタルズーム使用時
  - [ハイスピード動画] 設定時
  - 4K ライブクロップ設定時

ズームを使って撮る

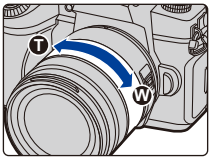
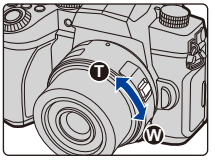
光学ズーム

使用できるモード： iA iA+ P A S M 🎥M SCN

人や物を大きく撮ったり、風景などを広く撮ったりすることができます。

Ⓣ **側**：望遠、大きく撮る

Ⓦ **側**：広角、広く撮る

ズームリングのある交換レンズ	ズームリングを回す。 
パワーズーム（電動式ズーム）に対応した交換レンズ	ズームレバーを動かす。 （動かす幅によって、ズーム速度が変わります） ● Fnボタンに［ズーム操作］を割り当てると、◀/▶ボタンでゆっくり、▲/▼ボタンで速く、光学ズーム操作ができます。操作方法については、133 ページの手順**2**以降をお読みください。 
ズームに対応していない交換レンズ	光学ズームはできません。

望遠効果を上げる

EX テレコン

使用できるモード： iA iA+ P A S M 🎥M SCN

EXテレコンを使うと、画質を劣化させずにさらに大きく撮ることができます。

準備：

- **写真撮影時：**［記録画素数］を［EX M］または［EX S］に、［クオリティ］を［RAW］以外に設定する。
- **動画撮影時：**［画質設定］のサイズを［FHD］または［HD］に設定する。

■ EX テレコン使用時の最大ズーム倍率

写真撮影時	［EX テレコン（写真）］	1.3 倍：［EX M］（［画像横縦比］が［16:9］の場合） 1.4 倍：［EX M］（［画像横縦比］が［4:3］、［3:2］、［1:1］の場合） 2.0 倍：［EX S］
動画撮影時	［EX テレコン（動画）］	2.7倍（［画質設定］のサイズが［FHD］の動画） 4.0倍（［画質設定］のサイズが［HD］の動画）

■ 写真撮影時にズーム倍率を段階的に拡大する

1　メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [ZOOM]

2　Fnボタンに [ズーム操作] を設定する(P53)

3　Fnボタンを押す

4　◀/▶ ボタンまたは ▲/▼ ボタンを押す

▲/▶ ボタン：T 側（望遠、大きく撮る）
▼/◀ ボタン：W 側（広角、広く撮る）

- もう一度 Fnボタンを押すか、一定時間が経過するとズーム操作が終了します。

光学ズーム領域（焦点距離）※　　EXテレコン領域（ズーム倍率）

※ パワーズームに対応した交換レンズをお使いの場合に表示されます。

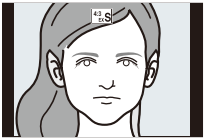
- ズーム速度は一定です。
- ズーム倍率は目安です。
- タッチズームでズーム操作することもできます。(P136)

■ ズーム倍率を最大に固定する

MENU ボタン → [撮影] → [EX テレコン(写真)] → [TELE CONV.]
MENU ボタン → [動画] → [EX テレコン(動画)] → [ON]

[OFF]

[TELE CONV.] または [ON]



- カスタムメニュー（操作）の[Fnボタン設定]に[EXテレコン]を設定すると、設定したFnボタンを押して写真と動画のEXテレコンの設定画面を表示できます。画面表示中に[DISP.]ボタンを押すと[記録画素数]の設定を変更できます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、EXテレコンが使用できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]
  - [クオリティ]を[RAW]に設定したとき
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [HDR]を[ON]に設定したとき
  - [多重露出]設定時
  - [ハイスピード動画]を[120fps/FHD]または[90fps/FHD]に設定したとき
  - 4Kライブクロップ設定時
- 以下の場合、[EXテレコン（写真）] が使用できません。
  - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]
- HDMI出力中は [EX テレコン（動画）] が使用できません。（クリエイティブ動画モード時を除く）

デジタルズーム

使用できるモード： P A S M

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大4倍まで拡大できます。（段階的な拡大はできません）

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[デジタルズーム]→[4×]/[2×]

- デジタルズーム使用時は、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、デジタルズームが使用できません。
  - クリエイティブコントロールモードの[トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [ハイスピード動画]設定時
  - [HDR]を[ON]に設定したとき
  - [多重露出]設定時

パワーズームレンズの設定を変更する

使用できるモード： P A S M

パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時の画面表示や動作を設定します。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ/その他]→[パワーズームレンズ]

焦点距離表示	ズーム操作をすると、焦点距離が表示され、ズーム位置を確認できます。 焦点距離表示 14 … 4 42mm 現在の焦点距離
ステップズーム	[ON]に設定してズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ● 動画撮影時や [4Kプリ連写]撮影時は働きません。 ステップズーム表示 14 18 25
ズーム速度	ズーム操作時のズーム速度を設定できます。 ● [ステップズーム]を[ON]に設定した場合、ズーム速度は変わりません。 **[写真]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）** **[動画]：[H]（高速）、[M]（中速）、[L]（低速）**
ズームリング操作	ズームレバーとズームリングのあるパワーズーム対応交換レンズを装着しているときに選択できます。[OFF]に設定すると、誤操作を防止するためにズームリングの操作を無効にします。

タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

光学ズームや写真撮影時のEXテレコンのズーム倍率をタッチ操作で変更できます。

- パワーズームに対応していない交換レンズ（H-FSA14140）をお使いの場合は、[EXテレコン（写真）]を[ZOOM]に設定すると、EXテレコンのズーム倍率を操作できます。

1 [ ]をタッチする

2 [ ]をタッチする

- スライドバーが表示されます。

3 スライドバーをドラッグして、ズーム操作する

- タッチする位置により、ズーム速度は変わります。

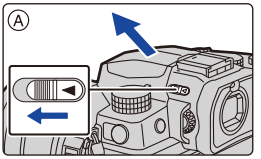
[▼]/[▲]	ゆっくりズームする
[▼▼]/[▲▲]	速くズームする

- タッチズーム操作を終了するには、もう一度[ ]をタッチしてください。

フラッシュを使う

使用できるモード：iA iA+ P A S M SCN

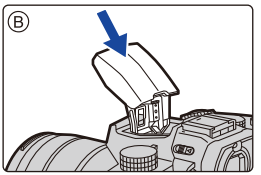
■ 内蔵フラッシュを開く/閉じる



Ⓐ 開くとき

フラッシュオープンレバーをスライドする

- **フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。**



Ⓑ 閉じるとき

フラッシュをカチッと音がするまで押す

- **指などを挟まないようにお気をつけください。**
- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュを必ず閉じてください。

■ フラッシュ撮影可能範囲

使用するレンズによってはフラッシュ光が遮られたり、フラッシュ光がレンズの画角をカバーできなかったりするため、撮影画像の一部が暗くなる場合があります。

フラッシュ光が遮られる被写体との距離やフラッシュ光が届く距離は、使用するレンズによって異なります。被写体との距離を確認しながら撮影してください。

交換レンズ(H-FSA14140)装着時	
W端時	T端時
約0.5 m～約7.3 m	約0.5 m～約4.5 m

- ISO感度を[AUTO]、[ISO感度設定(写真)]の[ISOオート上限設定]を[AUTO]に設定した場合の範囲です。

フラッシュを上手に使うには

フラッシュ使用時にレンズフードを付けていると、フラッシュ光がレンズフードに遮られ、画面の下が暗くなり、調光もできなくなります。レンズフードを外して使用することをお勧めします。

- 熱や光で変形、変色する場合がありますので、以下のことはしないでください。
  - フラッシュに物を近づける
  - 発光中にフラッシュを閉じる
  - 発光中にフラッシュを手で塞ぐ
- 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光したときは、フラッシュの充電に時間がかかる場合があります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤色で点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。
  外部フラッシュについては：(P264)

フラッシュ機能の設定

カメラからフラッシュの発光を制御するためのフラッシュ機能を設定できます。

発光モード、マニュアル発光量設定

使用できるモード： P A S M

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

- 内蔵フラッシュ使用時に設定できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの発光量を手動で設定します。[TTL] では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。 ● [マニュアル] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1] など)が表示されます。

2 ([マニュアル] に設定時)
メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]

3 ◀/▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- [1/1](フル発光)～ [1/128] まで、1/3段ごとに設定できます。

フラッシュモード

使用できるモード： P A S M

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光方法を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

：強制発光 **：赤目軽減強制発光** ※	フラッシュが強制的に発光します。 ● **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
：スローシンクロ **：赤目軽減スローシンクロ** ※	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** ● **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。**
：発光禁止	フラッシュは発光しません。

※ [フラッシュ設定] を以下の設定にしてください。
– [ワイヤレスモード]：[OFF]
– [発光モード]：[TTL]

- インテリジェントオートプラスモードでは、[⚡A] または [⊛] に設定できます。インテリジェントオート（iA または iA+）モード時のフラッシュ設定については、58 ページをお読みください。
- 外部フラッシュの設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できない場合があります。

フラッシュは2回発光します。特に [⚡◎]、[⚡S◎] に設定した場合は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡	1/60秒※ ～1/200秒
⚡◎	
⚡S	1～1/200秒
⚡S◎	

※ シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はB（バルブ）になります。

- インテリジェントオート（iA または iA+）モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。
（○：設定可、×：設定不可、◎：シーンガイドモード初期設定）

撮影モード		⚡	⚡◎	⚡S	⚡S◎	⊛
P プログラム AE モード A 絞り優先 AE モード		○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード M マニュアル露出モード		○	○	×	×	○
SCN シーンガイドモード	人物をきれいに撮る	○	◎	×	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎	×	×	○
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	×	○
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	×	○
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎	○
	花をふんわり撮る	◎	×	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	×	○
	モノクロで撮る	◎	○	○	○	○

- 以下の場合、[⊛]（発光禁止）に固定されます。
  - フラッシュを閉じたとき（外部フラッシュ使用時を除く）
  - シーンガイドモード(P70)の[逆光でふんわり撮る]/[ほのぼのした雰囲気で撮る]/[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜景をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]
  - 動画撮影時(P144)
  - 4Kフォト撮影時(P105)
  - フォーカスセレクト撮影時(P114)
  - 電子シャッター使用時(P176)
  - [フィルター設定]設定時(P169)
  - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき(P175)
  - [HDR] を [ON] に設定したとき(P177)
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。

フラッシュシンクロ

使用できるモード： iA iA+ **P** **A** **S** **M** SCN

夜間、動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影すると、光の軌跡が被写体の前方に写ります。[フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定すると、シャッターが閉じる直前にフラッシュを発光させることで、光の軌跡が被写体の後方に写り、躍動感のある写真を撮影できます。

準備： [フラッシュ設定]の[ワイヤレスモード]を[OFF]に設定する。

MENU ボタン →📷[撮影]→[フラッシュ設定]→[フラッシュシンクロ]

先幕（さきまく）	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕（あとまく）	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- [後幕]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに[2nd]が表示されます。
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- [後幕]設定時は、[⚡◎]、[⚡S◎]に設定できません。
- [フラッシュシンクロ]の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P264)

フラッシュ発光量調整

使用できるモード： P A S M SCN

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整します。

準備：［フラッシュ設定］の［ワイヤレスモード］を［OFF］、［発光モード］を［TTL］に設定する。

1　メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ光量調整]

2　◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- –3 EVから+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。

- フラッシュ発光量を調整すると、画面のフラッシュアイコンに［+］または［−］が表示されます。
- ［フラッシュ光量調整］の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。（P264）

露出補正連動

使用できるモード： P A S M SCN

露出補正量に応じてフラッシュの発光量を自動で調整します。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]
設定：[ON]、[OFF]

- 露出補正については：（P96）
- ［露出補正連動］の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。（P264）

ワイヤレスフラッシュ撮影

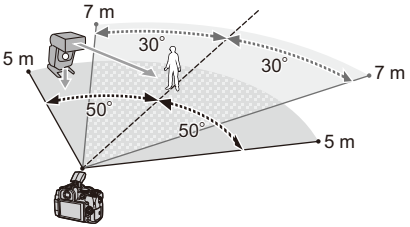
使用できるモード： P A S M

フラッシュライト（別売：DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L）には、ワイヤレス撮影機能があります。
その機能により、3つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ（または本機のホットシューに装着したフラッシュライト）を別々に発光制御できます。

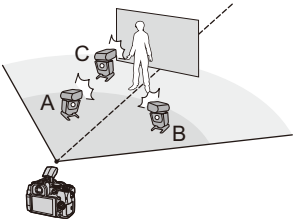
■ ワイヤレスフラッシュの設置

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は本機を横に構えて撮影する場合の設置範囲の目安です。範囲は周辺の環境により異なります。

設置範囲



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュA、Bでできる被写体の背景の影を消すためにCを設置した場合です。
- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。[ワイヤレス通信光量]を[弱]に設定したり、ディフューザーなどで減光したりすると症状が緩和されます。

準備： 本機のフラッシュオープンレバーをスライドしてフラッシュを開く、または本機にフラッシュライト（別売）を取り付ける。

1 ワイヤレスフラッシュの設定をRCモードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

2 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定]

ワイヤレスモード	[ON]に設定してください。画面のフラッシュアイコンに[WL]が表示されます。
ワイヤレスチャンネル	手順**1**で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。
ワイヤレス設定	手順**3**へ進んでください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

3 ▲/▼ボタンで設定項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- テスト発光をするには、[DISP.]ボタンを押してください。

内蔵フラッシュ※1/外部フラッシュ※1	発光モード	[TTL]：カメラが自動的に発光量を設定します。 [AUTO]※2,3：外部フラッシュ側で発光量を設定します。 [マニュアル]※3：外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 [OFF]：本機側のフラッシュは通信発光だけ動作します。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]の設定が[TTL]の場合に、本機側の発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]の設定が[マニュアル]の場合に、外部フラッシュの光量比を設定します。 ●[1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。
Aグループ/Bグループ/Cグループ	発光モード	[TTL]：カメラが自動的に発光量を設定します。 [AUTO]※1：ワイヤレスフラッシュ側で自動的に発光量を設定します。 [マニュアル]：ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 [OFF]：設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	[発光モード]の設定が[TTL]の場合に、ワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	[発光モード]の設定が[マニュアル]の場合に、ワイヤレスフラッシュの光量比を設定します。 ●[1/1](フル発光)～[1/128]まで、1/3段ごとに設定できます。

※1 [ワイヤレスFP]を[ON]に設定した場合は、設定できません。
※2 本機にフラッシュライト(別売:DMW-FL200L)を装着した場合は、設定できません。
※3 外部フラッシュ装着時に設定できます。

ワイヤレスフラッシュ撮影の設定

ワイヤレス FP

ワイヤレス撮影時に、外部フラッシュがFP発光(フラッシュが高速で発光を繰り返すこと)します。速いシャッタースピードでもフラッシュ撮影が可能になります。

MENU ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]→[ワイヤレス FP]
設定:[ON]、[OFF]

ワイヤレス通信光量

通信発光の強さを設定します。

MENU ボタン→[撮影]→[フラッシュ設定]→[ワイヤレス通信光量]
設定:[強]、[中]、[弱]

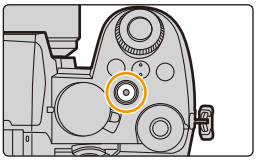
動画を撮る

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

AVCHD規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4で記録される動画を撮影できます。MP4では4K動画も撮影できます。音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 各撮影モードに適した動画が撮影できます。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点灯します。
- 何も操作しない場合、画面上の情報の一部が約10秒経過すると段階的に暗くなり、約1分経過すると表示されなくなります。[DISP.]ボタンを押したり、モニターをタッチすると再度表示されます。画面の焼き付きを防ぐための動作です。故障ではありません。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- mは「minute（分）」、sは「second（秒）」を省略した表示です。



記録経過時間　記録動作表示

記録可能時間

2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- **静かな環境下で撮影した場合は、絞りやフォーカスの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。**
  動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作]（P147）で[OFF]に設定できます。

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
- 3秒ほど長めに撮影し、再生メニューの[動画分割]で動画の終わりの部分を分割してください。
- シャッターリモコン（別売：DMW-RS2）を使って撮影してください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

- 周囲の温度が高い場合や、連続で動画を撮影した場合は、[⚠]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画撮影中のISO感度は、[AUTO](動画用)の動作になります。クリエイティブ動画モードでは、ISO感度を設定して動画を撮影できます。
- クリエイティブ動画モードでは、撮影前に記録可能時間を表示できます。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影を開始したときに画角が変わります。カスタムメニュー(モニター/表示)の[記録枠表示]を[🎥]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 使用するレンズにより、動画撮影中に働く機能に差があります。また、レンズの動作音が記録される場合があります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 以下のシーンガイドモードの場合、動画撮影時に撮影モードが切り換わります。

シーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
[逆光でしっかり撮る]	人物モード
[夜景をきれいに撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る]/[夜景をバックに人物をきれいに撮る]	ローライトモード

こんなときは使用できません

- 以下の場合、動画撮影できません。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]/[イルミネーションをキラキラ撮る]/[花をふんわり撮る]/[パノラマで撮る]
  - クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - フォーカスセレクト撮影時
  - インターバル撮影中
  - コマ撮りアニメ中

目次
MENU メニューガイド
さくいん

記録方式/画質設定

動画撮影の記録方式と画質を設定します。本機では、4K解像度（3840×2160）またはフルハイビジョン解像度（1920×1080）の動画を撮影できます。選択できる画質は[記録方式]の設定によって異なります。

1　メニューを設定する

MENU ボタン → [動画] → [記録方式]

AVCHD	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
MP4	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

2　▲/▼ ボタンで [画質設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[AVCHD] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
FHD/28M/60p※1	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/17M/60i	1920×1080	60i	60コマ/秒	17 Mbps
FHD/24M/30p	1920×1080	60i	30コマ/秒	24 Mbps
FHD/24M/24p	1920×1080	24p	24コマ/秒	24 Mbps

※1　AVCHD Progressive

[MP4] を選んだ場合

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p※2	3840×2160	30p	30コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p※2	3840×2160	24p	24コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps

※2　4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの[ジオラマ]では、4K動画に設定できません。
- 4K動画撮影時は UHS Speed Class 3のカードをお使いください。
- 4K動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K動画は高い精度でピントを合わせるためにAFの速度を抑えて撮影します。AFでピントが合いにくいことがありますが、異常ではありません。
- 連続撮影時間については、30 ページをお読みください。

■ 撮影した動画の互換性について

AVCHD動画やMP4動画は、それぞれの対応機器であっても、再生できない場合があります。
また、再生時に画質や音質が悪くなることや、撮影情報が正しく表示されないことがあります。
この場合は本機で再生してください。

- 他の機器でAVCHD動画の再生や取り込みをするときは、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしたパソコンをお使いください。
- 本機で記録した4K動画について詳しくは、252ページの「4K動画を他機器で見る/残す」をお読みください。

AF連続動作

使用できるモード： P A S M

動画撮影中のAFでのピントの合わせ方を選びます。

MENU ボタン→ [動画]→ [AF 連続動作]

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手動でピントを合わせます。

- フォーカスモードを [AFS]、[AFF]、[AFC] に設定した場合、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境や使用レンズによっては、動画撮影時にAFが働くと、動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作] を [OFF] に設定することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[AF連続動作] は使用できません。
  - [ハイスピード動画] 設定時
- 以下の場合、[AF連続動作] は働きません。
  - [スナップムービー] の [ピント送り] の動作中

AFカスタム設定(動画)

使用できるモード： P A S M

[AF連続動作]を使って動画を撮影するときのピントの合わせ方を細かく調整できます。

準備： [AF連続動作]を[ON]に設定する。

MENU ボタン→ [動画]→ [AF カスタム設定(動画)]

ON	下記の設定を有効にします。	
OFF	下記の設定を無効にします。	
設定	AF 駆動設定	[+] 側：速いスピードでピントを合わせます。 [−] 側：緩やかなスピードでピントを合わせます。
	AF 追従設定	[+] 側：被写体との距離が大きく変わったときに、すぐにピントを合わせ直します。 [−] 側：被写体との距離が大きく変わったときに、ピントの合わせ直しを少し待ちます。

Log 撮影する(V-Log L)

使用できるモード： P A S M

[フォトスタイル]を[V-Log L]に設定すると、Log撮影ができます。ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [動画]→[フォトスタイル]

2 ◀/▶ ボタンで[V-Log L]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 撮影画面や HDMI出力された映像などが全体的に暗くなります。

- LUT(ルックアップテーブル)を使ってポストプロダクション処理ができます。LUTデータは、下記サポートサイトからダウンロードできます。
  https://panasonic.jp/support/dsc/

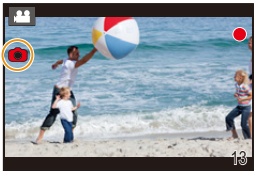
本機の動画は4:2:0/8 bitで記録されるため、ポストプロダクション処理すると青空や人の肌、白い壁などに輝度や色のむら、またはノイズが現れる場合があります。
事前に試し撮りを行い、ポストプロダクション処理をした映像を確認してから、撮影することをお勧めします。

動画撮影中に写真を撮る

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。（同時記録）

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする



- 写真の記録中は、同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能でも撮影できます。

■ 動画優先、写真優先を設定する

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

MENU ボタン→ [動画]→ [動画撮影中の写真撮影]

（動画優先）	● 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 ● [クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]に設定した場合でも、JPEG画像が記録されます。（[RAW]設定時は[]で記録されます） ● 最大40枚まで写真を撮影できます。（4K動画撮影中は最大10枚まで）
（写真優先）	● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真を記録中は画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。 ● 最大10枚まで写真を撮影できます。（4K動画撮影中は最大5枚まで）

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使用できません

- [（写真優先）]設定時は、以下の場合に同時記録ができません。
  - [画質設定]をフレームレートが[24p]の動画に設定したとき
  - ドライブモードを 4Kフォトに設定したとき
  - [EXテレコン（動画）] 使用時
- [スナップムービー]を[ON]に設定した場合は、同時記録ができません。

スナップムービー

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。
ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- [MP4]の[FHD/20M/30p]で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。

1　メニューを設定する

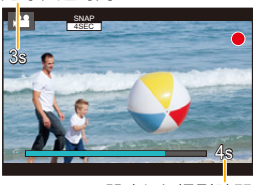
MENU ボタン→ [動画]→[スナップムービー]→[ON]

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

2　動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間



設定した撮影時間

■ スナップムービーの解除

手順1で[OFF]を設定する

スナップムービーの設定

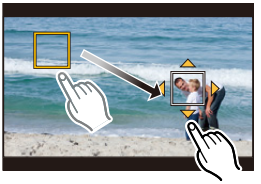
MENU ボタン→ [動画]→[スナップムービー]→[設定]

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影を開始すると、ピントがゆっくりと変化し、ドラマチックな映像表現にすることができます。(P151)
フェード	映像と音声が撮影を開始するとフェードイン(ゆっくりと現れる)または、撮影の終了にかけてフェードアウト(ゆっくりと消える)する効果です。 [WHITE-IN]、[WHITE-OUT]： 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN]、[BLACK-OUT]： 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN]、[COLOR-OUT]： 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

- [WHITE-IN]、[BLACK-IN] で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白一色または黒一色になります。
- カスタムメニュー（操作）の [Fn ボタン設定] (P53) に [スナップムービー] を設定し、Fn ボタンを押すと、[スナップムービー] の [ON]/[OFF] の切り換え画面を表示します。切り換え画面の表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う] でWi-Fi接続すると、[スナップムービー] は [OFF] に切り換わります。
- 以下の場合、[スナップムービー] は使用できません。
  - クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ]
  - 4K フォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [ハイスピード動画] 設定時
  - 4K ライブクロップ撮影時

■ [ピント送り] の設定

ピント送りの開始位置（1 点目）と終了位置（2 点目）の枠を設定します。



ボタン操作

1　◀ボタンを押す

2　▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、[MENU/SET] ボタンを押す（1 点目）

- [MENU/SET] ボタンを押す前に [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。

3　手順 2 を繰り返す（2 点目）

- [MENU/SET] ボタンを押すと、2 点目の枠の設定が解除されます。

タッチ操作

被写体をタッチし（1 点目）、ドラッグして指を離す（2 点目）

- [AF OFF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。

- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が 1 点目に戻ります。
- [ピント送り] を [ON] に設定した場合は、
  - AF モードは [ピント送り] 専用の [ ] に変わります。
  - 写真撮影時の AF 動作は、1 点目の枠で [ ] と同じ動作になります。
- [測光モード] (P171) が [ ] のときは、スポット測光ターゲットが 1 点目の枠に設定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ピント送り] が使用できません。
  - MF 時
  - デジタルズーム使用時

録音レベルの表示/設定

録音レベル表示

使用できるモード： P A S M

録音レベルを撮影画面に表示します。

MENU ボタン→ [動画]→[録音レベル表示]

設定：[ON]、[OFF]

- [録音レベルリミッター]が[OFF]の場合、[録音レベル表示]は[ON]に固定されます。

録音レベル設定

使用できるモード： P A S M

音声入力のレベルを19段階(−12 dB ～ +6 dB)に調整します。

MENU ボタン→ [動画]→[録音レベル設定]

- 表示される dB値は目安です。

録音レベルリミッター

使用できるモード： P A S M

音声入力のレベルを自動的に調整します。音量が大きくなったときの、音声のゆがみ（音割れ）を抑えます。

MENU ボタン→ [動画]→[録音レベルリミッター]

設定：[ON]、[OFF]

クリエイティブ動画モード

撮影モード： [M]

絞りやシャッタースピード、ISO感度を手動で設定して動画を撮影できます。
以下の動画は、クリエイティブ動画モードだけで撮影できます。

- ハイスピード動画 P154
- 4Kライブクロップ P155

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン → [M][クリエイティブ動画] → [動画露出設定] → [P]、[A]、[S] または [M]

- モードダイヤルをP/A/S/Mのいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。
- プログラムシフトは働きません。

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチしても、選択画面を表示できます。

3 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

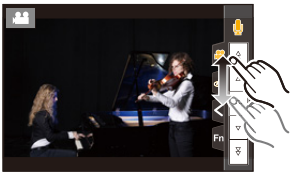
❶ [ ]をタッチする（ハイスピード動画撮影時は使用できません）

❷ アイコンをタッチする

T W：ズーム ※	：露出補正
F ：絞り値	ISO：ISO 感度
SS：シャッタースピード	：録音レベル設定

※ パワーズーム（電動式ズーム）対応交換レンズ使用時

❸ スライドバーをドラッグして設定する
[▼]/[▲]：ゆっくり設定を変える
[▼▼]/[▲▲]：速く設定を変える



4 もう一度動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

■ ISO感度[AUTO]の設定

ISO感度を[AUTO]に設定したときの、ISO感度の下限と上限を設定します。

MENU ボタン→ [動画]→[ISO感度設定(動画)]

ISOオート下限設定	[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]
ISOオート上限設定	[AUTO]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]

ハイスピード動画

超高速撮影を行うことにより、MP4形式のスローモーション動画を撮影できます。
- 撮影時はUHS Speed Class 3のカードをお使いください。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン→ M[クリエイティブ動画]→[ハイスピード動画]

設定	フレームレート(撮影時)	画質設定(保存時)	スローモーション効果
120fps/FHD	120 コマ/秒	FHD/20M/30p	約1/4倍速
90fps/FHD	90 コマ/秒		約1/3倍速
60fps/FHD	60 コマ/秒		約1/2倍速
OFF	—		

3 動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を開始する

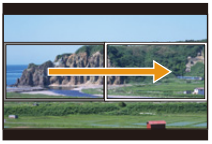
4 もう一度動画ボタン(またはシャッターボタン)を押して撮影を終了する

- 以下の場合、画角が狭くなります。
  - [120fps/FHD]または[90fps/FHD]に設定したとき
- AFは働きません。
- 音声は記録されません。
- フォーカスリングのない交換レンズを使用した場合、MFでピント合わせができません。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

4Kライブクロップ

4K画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。


パン

ズームイン

- 動画メニューの[記録方式]は[MP4]に、[画質設定]は[FHD/20M/30p]に固定されます。
- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- 画角は狭くなります。

1 **モードダイヤルを [🎥M] に合わせる**

2 **メニューを設定する**

MENU ボタン → 🎥M[クリエイティブ動画] → [4Kライブクロップ] → [40秒] または [20秒]

3 **切り出し開始枠を設定する**

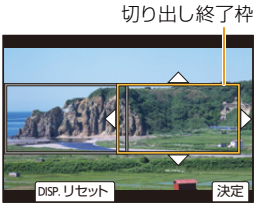
- 初回設定時、1920×1080の大きさの開始枠が表示されます。（切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます）
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

切り出し開始枠

ボタン操作	タッチ操作	操作内容	
▲/▼/◀/▶	タッチ	枠の移動	
/	ー	枠を細かく拡大/縮小	1920×1080～3840×2160の範囲で設定できます
	ピンチアウト/ピンチイン	枠の拡大 / 縮小	
[DISP.]	[リセット]	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す	
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定	

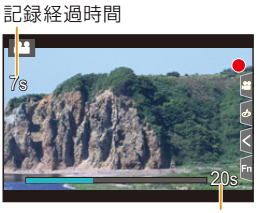
目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

4 切り出し終了枠を設定する



5 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン（またはシャッターボタン）を押してください。



ズームイン/ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

■ 切り出し枠の位置や大きさを変更する

撮影画面で◀ボタンを押し、手順**3**、**4**を行う。

■ 4Kライブクロップ撮影を解除する

手順**2**で［4Kライブクロップ］を［OFF］に設定する。

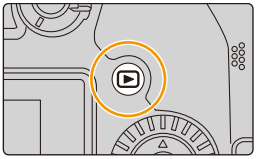
- AFモードは、［ ］（顔認識）に切り換わります。（ピントを合わせる目は表示されません）
- 明るさの測定とピント合わせは、切り出し開始枠内で行います。動画撮影中は、切り出し枠内で行います。ピント位置を固定する場合は、［AF連続動作］を［OFF］にするか、フォーカスモードを［MF］に設定してください。
- ［測光モード］は［ ］（マルチ測光）になります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、［4Kライブクロップ］が使用できません。
  - ［ハイスピード動画］設定時

写真の再生

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ　　▶:次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- 以下の操作でも同じことができます。

画像を送る	● 前ダイヤルまたはコントロールダイヤルを回す ● 画面を水平にドラッグする
画像を連続して送る	● ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにする

■ 再生を終了する

再度 [▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする

こんなときは使用できません

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他の機器で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画の再生

本機で再生できる動画のファイル形式はAVCHDまたはMP4です。

[🎥]が付いた画像を選び、▲ボタンを押して再生する

動画記録時間

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例)8分30秒のとき:8m30s
- AVCHD 動画は、一部の情報(撮影情報など)が表示されません。
- 画面中央の[▶]をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー]で撮影した動画は自動再生されます。

■ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生 ※1
	◀❚❚	コマ戻し(一時停止中)※2
(◎)	−	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生 ※1
	❚❚▶	コマ送り(一時停止中)
(◎)	+	音量を上げる

※1 早送り/早戻し速度を速くするには、もう一度▶/◀ボタンを押してください。
※2 [AVCHD]で撮影した動画は、約0.5秒ごとのコマ戻しになります。

■ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像へ
▶	次の画像へ

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。

- 本機で撮影した動画をパソコンで再生する場合は、「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

写真の切り出し

動画の１フレームをJPEG画像として切り出して保存します。

1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止にする

- 位置の細かい調整をするには、一時停止中に◀/▶ボタンを押してください。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [◁◆▷ 📷]をタッチしても同じ操作ができます。

- 画像横縦比は[16:9]、[クオリティ]は[ ]で保存されます。記録画素数は動画により異なります。

動画の画質設定	保存する写真の記録画素数
[4K]	3840×2160
[FHD]、[HD]	1920×1080

- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[ ]が表示されます。

表示方法の切り換え

拡大表示

再生画像を拡大表示(再生ズーム)できます。

後ダイヤルを右側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	–	画面を拡大/縮小
–	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大/縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
/	–	ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送る

- 画面を2回タッチするごとに、拡大表示/通常表示が切り換わります。
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像は、8倍まで拡大できます。

サムネイル表示

後ダイヤルを左側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー表示

- 後ダイヤルを右側に回すと、1つ前に戻ります。
- 再生画面を切り換えるには、以下のアイコンをタッチしてください。
  - [ ]:1画面
  - [ ]:12画面
  - [ ]:30画面
  - [CAL]:カレンダー表示
- 画面を上下にドラッグすると、一覧表示をスクロールできます。
- [[!]]と表示される画像は再生できません。

■ 1画面表示に戻すには

画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

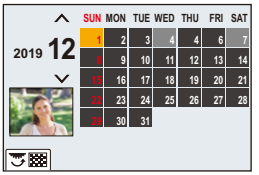
- 動画を選択すると、自動で再生されます。

カレンダー表示

1 後ダイヤルを左側に回して、カレンダー表示にする

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 同じ日付に撮影した画像だけ表示されます。
- カレンダー表示に戻すには、後ダイヤルを左側に回してください。



3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んだ画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- 時計を設定せずに撮影した場合、2019年1月1日に表示されます。
- [ワールドタイム] を [旅行先] に設定した場合は、撮影した画像が旅行先の日時で表示されます。

グループ画像

複数枚の画像を１つにまとめたグループ画像を連続再生したり、１枚ずつ再生したりできます。

- グループ単位で消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）

[▲]：[4Kフォト一括保存]で保存したグループ画像

[FOCUS]：　フォーカスブラケット撮影したグループ画像

[▲]：インターバル撮影したグループ画像

[▲]：コマ撮り撮影したグループ画像

- 時計を設定せずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

■ グループ画像を１枚ずつ再生する

1　▼ボタンを押す

- [▼]、[▼]、[▼]、[▼]をタッチしても同じ操作ができます。

2　◀/▶ ボタンを押して画像を送る

- 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▼ボタンを押す、または[▼]をタッチしてください。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。（サムネイル表示、拡大表示、画像の消去など）

■ グループ画像を連続再生する

▲ボタンを押す

- グループ画像アイコン（[▲]、[▲]、[▲]）をタッチしても同じ操作ができます。
- グループ画像を１枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
  [連写再生]（または[連続再生]）を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
  [最初の画像から見る]：グループの先頭画像から連続再生されます。
  [この画像から見る]：　再生中の画像から連続再生されます。
- 連続再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/II	連続再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生
	⏮	前の画像に戻す（一時停止中）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生
	⏭	次の画像へ送る（一時停止中）

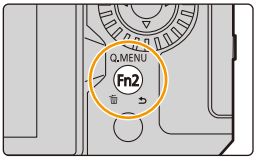
画像の消去

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

■ 1枚消去

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑] ボタンを押す

- [🗑] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲ボタンで [1枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 複数消去(100枚まで)/全画像消去

- グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で [🗑] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去] 選択時、[レーティング以外全消去] を選択すると、レーティング設定した画像以外の全画像を消去できます。

([複数消去] 選択時)

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 設定した画像に [🗑] が表示されます。
  選択を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

4 [DISP.] ボタンを押す

- 消去する枚数により、時間がかかることがあります。

9. メニューガイド

メニューの一覧を紹介します。他のページに詳細な説明があるメニューについては、ページ番号を記載しています。

- メニューの操作方法については、49 ページをお読みください。
- 文字入力の操作方法については、56 ページをお読みください。

撮影モードの専用メニュー	下記
撮影メニュー	P165
動画メニュー	P179
カスタムメニュー	P182
セットアップメニュー	P197
マイメニュー	P206
再生メニュー	P207

撮影モードの専用メニュー

iA iA+ インテリジェントオートメニュー

- インテリジェントオートモード(P58)
- iHDR(P59)
- i 手持ち夜景(P59)

M クリエイティブ動画メニュー

- 動画露出設定(P153)
- 4Kライブクロップ(P155)
- ハイスピード動画(P154)

C カスタムモードメニュー

カスタムセット（C2）の変更ができます。(P69)

SCN シーンガイドメニュー

- シーン切換(P70)

クリエイティブコントロールメニュー

- フィルター効果(P75)
- フィルターなし同時記録(P75)

撮影メニュー

- 画像横縦比(下記)
- 記録画素数(P166)
- クオリティ(P166)
- AFS/AFF(P81)※
- AF追従感度(写真)(P82)
- フォトスタイル(P167)※
- フィルター設定(P169)※
- 色空間(P170)
- 測光モード(P171)※
- ハイライトシャドウ(P171)※
- iDレンジコントロール(P172)※
- 超解像(P173)※
- フラッシュ設定(P138)
- デジタル赤目補正(P173)
- ISO感度設定(写真)(P173)
- 下限シャッター速度(P174)
- 長秒ノイズ除去(P174)
- シェーディング補正(P174)
- 回折補正(P175)※
- 手ブレ補正(P128)※
- EXテレコン(写真)(P132)
- デジタルズーム(P134)※
- 連写速度(P103)
- 4Kフォト(P105)
- セルフタイマー(P123)
- インターバル/コマ撮り撮影(P119、121)
- ライブビューコンポジット(P65)
- パノラマ設定(P73)
- サイレントモード(P175)
- シャッター方式(P176)
- シャッターディレイ(P176)
- ブラケット(P124)
- HDR(P177)
- 多重露出(P178)

※ 撮影メニューと動画メニューで共通したメニュー項目です。設定を変更すると、両方の設定に反映されます。

[画像横縦比]

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン→ [撮影]→[画像横縦比]

4:3	4:3テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	16:9テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[画像横縦比]が設定できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]

[記録画素数]

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→ [撮影]→[記録画素数]

画像横縦比	記録画素数	
4:3	L(20M)	5184×3888
	EX M(10M)	3712×2784
	EX S(5M)	2624×1968
3:2	L(17M)	5184×3456
	EX M(9M)	3712×2480
	EX S(4.5M)	2624×1752

画像横縦比	記録画素数	
16:9	L(14.5M)	5184×2920
	EX M(8M)	3840×2160
	EX S(2M)	1920×1080
1:1	L(14.5M)	3888×3888
	EX M(7.5M)	2784×2784
	EX S(3.5M)	1968×1968

- [EXテレコン(写真)] 設定時は、各画像横縦比の[L]以外の記録画素数に [EX]が表示されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[記録画素数]が設定できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時

[クオリティ]

使用できるモード： iA iA+ P A S M M SCN

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW	RAW+JPEG	RAW 画像とJPEG画像([ ] または [ ])を同時に記録します。
RAW		
RAW	RAW	RAW 画像を記録します。

RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。

- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像できます。
- パソコンでRAWファイルの現像・編集をする場合は、ソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。(P257)

- RAW画像は常に画像横縦比[4:3]（5184×3888）で記録されます。
- [RAW]、[RAW]の画像を本機で消去すると、RAW画像とJPEG画像が同時に消去されます。
- [RAW]の画像を再生しているときは、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4Kフォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[]に固定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定できません。
  - シーンガイドモードの[夜景を手持ちで撮る]/[パノラマで撮る]

[フォトスタイル]

使用できるモード： P A S M

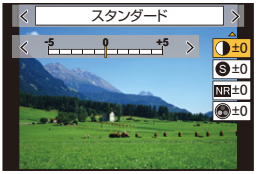
撮影したいイメージに合わせて効果を選択できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[フォトスタイル]

STD. スタンダード	標準的な設定
VIVD ヴィヴィッド	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT ナチュラル	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO モノクローム	色味を抜いた単色の効果
L.MONO L.モノクローム	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ効果
L.MONO D L.モノクローム D	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ効果
SCNY 風景	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT 人物	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST カスタム	あらかじめ登録している設定を使用
CNED シネライクD	ダイナミックレンジを優先したガンマカーブで映画感覚に仕上げる効果 ● 動画編集時の処理に適しています。
CNEV シネライクV	コントラストを重視したガンマカーブで映画感覚に仕上げる効果
V-LogL V-Log L	ポストプロダクション処理を前提としたガンマカーブの効果 ● ポストプロダクション処理により、階調の豊かな映像に仕上げることができます。

- インテリジェントオートプラスモードでは、
  - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
  - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。
  - 画質調整はできません。
- シーンガイドモード時は、画質調整だけを設定できます。

画質調整する



1　◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ

2　▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する

- [DISP.] ボタンを押すと、調整した内容を [カスタム] に登録できます。

コントラスト ※1	+	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感が僅かに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
彩度 ※1、2	+	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
色調 ※3	+	青っぽい色になります。
	−	黄色っぽい色になります。
フィルター効果※3	黄	青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	青空を色濃く撮影できます。
	赤	青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	−
粒状 ※3	弱 / 中 / 強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	−

※1　[V-Log L] 選択時は、調整できません。
※2　[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時は表示されません。
※3　[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクローム D] 選択時に表示されます。

- 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。

3　[MENU/SET] ボタンを押す

- [粒状] の効果は、撮影画面で確認できません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[粒状] が使用できません。
  - シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時

[フィルター設定]

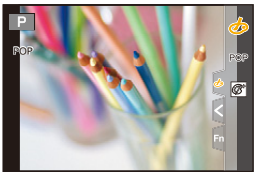
使用できるモード： P A S M

クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。（P75）

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[フィルター設定]→[フィルター効果]

設定：[ON]、[OFF]、[設定]

■ タッチ操作でフィルターを設定する



❶ [ ]をタッチする

❷ 設定する項目をタッチする

[ ]：画像効果の入/切

[POP]：画像効果（フィルター）

[ ]：画像効果の調整

- 以下の場合、[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン] が使用できません。
  - クリエイティブ動画モード
  - 動画撮影時
- ISO感度の上限は[ISO3200]になります。
- [ハイダイナミック]設定時は、ISO感度は [AUTO] に固定されます。
- [フィルター効果]使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。例えば、ホワイトバランスは [AWB] に、フラッシュは [ ]（発光禁止）に固定されます。
- シーンガイドモードを[パノラマで撮る]に設定した場合、以下の制限があります。
  - [トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]/[サンシャイン] は使用できません。
  - [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]の画像効果は、撮影中の画面に反映されません。
  - [ハイキー]設定時は、明るさが不十分な場面で効果が現れにくいことがあります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[フィルター設定]が使用できません。
  - シーンガイドモードを[パノラマで撮る]以外に設定した場合
  - [ハイスピード動画]設定時
  - 4Kライブクロップ設定時

■ フィルターなし同時記録

1回シャッターボタンを押すと、画像効果を加えた写真と加えない写真を同時に撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[フィルター設定]→[フィルターなし同時記録]

設定：[ON]、[OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- オートレビュー時は、画像効果を加えた画像が表示されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[フィルターなし同時記録]が使用できません。
  - シーンガイドモード
  - 動画撮影中の写真記録（[(動画優先)] 設定時）
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - 連写撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - ブラケット撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時

[色空間]

使用できるモード： iA iA+ P A S M SCN

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで出力する場合に、正しい色を再現するための方式を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[色空間]

sRGB	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の場合、[sRGB]に固定されます。
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定したとき

[測光モード]

使用できるモード： P A S M

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画] →[測光モード]

	明るさの測定位置	こんなときに
マルチ測光	画面全体	通常使用 （バランスがとれた写真になります）
中央重点測光	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット測光	[+]（スポット測光ターゲット）の中心 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき （舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定した場合は、周辺の明るさの影響を受けることがあります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[測光モード] が使用できません。
  - シーンガイドモードを [パノラマで撮る] 以外に設定した場合

[ハイライトシャドウ]

使用できるモード： P A S M

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画] →[ハイライトシャドウ]

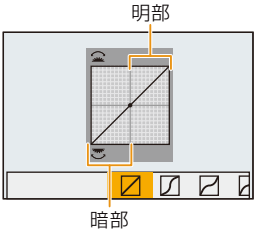
1 ◀/▶ ボタンでハイライトシャドウの種類を選ぶ

（スタンダード）	調整なしの状態になります。
（コントラストを上げる）	明部を明るく、暗部を暗くします。
（コントラストを下げる）	明部を暗く、暗部を明るくします。
（暗部を明るくする）	暗部を明るくします。
/ / （カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。

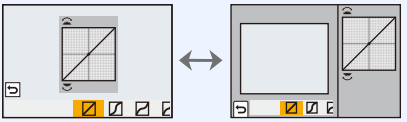
2　前後ダイヤルを回して、明部/暗部の明るさの調整をする

- グラフをドラッグ操作しても調整できます。
- お好みの設定を登録する場合は▲ボタンを押して、カスタム登録先（カスタム 1（ ）/ カスタム 2（ ）/ カスタム 3（ ））を選んでください。

3　[MENU/SET] ボタンを押す



- 明るさ調整の画面で [DISP.] ボタンを押すと、画面の表示を切り換えることができます。



- / / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。
- [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定した場合、 （スタンダード）に固定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ハイライトシャドウ] が設定できません。
  - [フィルター設定] 設定時

[iDレンジコントロール]

使用できるモード： P A S M

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[iD レンジコントロール]

設定：[AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

こんなときは使用できません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール] が働きません。
  - [HDR] を [ON] に設定したとき
- 以下の場合、[iDレンジコントロール] が使用できません。
  - シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
  - [フォトスタイル] を [V-Log L] に設定したとき
  - ライブビューコンポジット撮影時

[超解像]

使用できるモード： P A S M

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[超解像]

設定：[強]、[中]、[弱]、[OFF]

[デジタル赤目補正]

使用できるモード： P A S M

赤目軽減（[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。

MENU ボタン→ [撮影]→[デジタル赤目補正]

設定：[ON]、[OFF]

- [ON]に設定すると、アイコンが[ ]または[ ]に変わります。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

[ISO感度設定（写真）]

使用できるモード： P A S M

ISO感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの、ISO感度の下限と上限を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[ISO 感度設定（写真）]

ISOオート下限設定	[200]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12800]
ISOオート上限設定	[AUTO]/[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12800]/[25600]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ISO感度設定（写真）] が設定できません。
  - シーンガイドモードの[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景を手持ちで撮る]

[下限シャッター速度]

使用できるモード： P A S M

ISO感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの、シャッタースピードの下限を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[下限シャッター速度]
設定：[AUTO]、[1/16000]～[1/1]

- 適正な露出が得られない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

[長秒ノイズ除去]

使用できるモード： P A S M

夜景撮影など、遅いシャッタースピードで撮影する場合に発生するノイズを、カメラが自動的に取り除きます。

MENU ボタン→ [撮影]→[長秒ノイズ除去]
設定：[ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]は使用できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - 電子シャッター使用時

[シェーディング補正]

使用できるモード： P A S M

レンズの特性によって画面周辺が暗くなる場合、画面周辺の明るさを補正した画像を撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影]→[シェーディング補正]
設定：[ON]、[OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 高いISO感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合は補正できません。
  - 動画撮影時
  - 動画撮影時の写真記録（[（動画優先）] 設定時）
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [EXテレコン（写真）] 使用時
  - デジタルズーム使用時

[回折補正]

使用できるモード： P A S M

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [回折補正]

設定：[AUTO]、[OFF]

- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

[サイレントモード]

使用できるモード： P A S M

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [サイレントモード]

設定：[ON]、[OFF]

- スピーカーからの音声は消音になり、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。
  以下の設定が固定されます。
  - [フラッシュモード]：　[（発光禁止）]
  - [シャッター方式]：　[電子シャッター]
  - [AF 補助光]：　[OFF]
  - [電子音音量]：　[（OFF）]
  - [電子シャッター音音量]：　[（OFF）]

- [ON] に設定していても、以下のランプは点灯 / 点滅します。
  - WIRELESS接続ランプ
  - セルフタイマーランプ
- レンズの絞り音などの動作音は消音されません。
- **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

[シャッター方式]

使用できるモード： P A S M

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン→ [撮影]→[シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子先幕	電子先幕方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。

	メカシャッター方式	電子先幕方式	電子シャッター方式
仕組み	露光の開始と終了を メカシャッターで行う方式	電子的に露光を開始し、 メカシャッターで終了する方式	露光の開始と終了を 電子的に行う方式
フラッシュ	○	○	×
シャッタースピード	B(バルブ)※1、 60秒～ 1/4000秒	B(バルブ)※1、 60秒～ 1/2000秒	1秒※2 ～ 1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音	メカシャッター音	電子シャッター音※3

※1 マニュアル露出モード時に設定できます。
※2 [ISO3200]より高い場合、1秒より速くなります。
※3 セットアップメニューの[電子音]の[電子シャッター音音量]と[電子シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。

- 電子先幕方式は、メカシャッター方式に比べ、シャッターによる振動が少ないので、シャッターブレを抑えることができます。
- 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。

- 画面に[ ]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
- **[電子シャッター]設定時に動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。**
- **[電子シャッター]設定時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。**

[シャッターディレイ]

使用できるモード： P A S M

手ブレやシャッターブレを抑えるため、シャッターボタンを押したあと、設定時間経過後にシャッターが切れます。

MENU ボタン→ [撮影]→[シャッターディレイ]

設定：[8秒]、[4秒]、[2秒]、[1秒]、[OFF]

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[シャッターディレイ]が使用できません。
  - シーンガイドモードの[パノラマで撮る]
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - [HDR]を[ON]に設定したとき

[HDR]

使用できるモード： P A S M

露出の異なる写真を3枚撮影して、1枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影できます。
HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン→ [撮影]→[HDR]

設定：[ON]、[OFF]、[設定]

■ 設定を変更する

Dレンジ設定	[AUTO]：被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]：設定した露出の調整幅で撮影します。
自動位置調整	[ON]：　手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時にお勧めの設定です。 [OFF]：　画像のずれを調整しません。三脚使用時にお勧めの設定です。

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定した場合、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[ ](発光禁止)に固定されます。

こんなときは使用できません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]が使用できません。
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - 連写撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時（[自動撮影]設定時）

[多重露出]

使用できるモード： P A S M

1枚の画像に最大4回の露光をしたような効果を得ることができます。

MENU ボタン→ [撮影]→[多重露出]

1 ▲/▼ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 構図を決めて1枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと以下の操作が可能です。
  - [次の撮影]：次の撮影に進む
  - [撮り直し]：1枚目の撮影に戻る
  - [完了]：　1枚目の撮影画像を記録し、撮影を終了する

3 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する

- 撮影画像を記録し、撮影を終了するには、撮影時に[Fn2]ボタンを押してください。

4 ▼ボタンで[完了]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししても終了できます。

■ 設定を変更する

自動ゲイン補正	[OFF]に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。必要に応じて露出補正をしてください。
再生画像と多重	[ON]に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出ができます。 [開始]を選択したあとに、カード内の画像が表示されます。RAW画像を選んで[MENU/SET]ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 本機で撮影されたRAW画像は、[再生画像と多重]を設定できます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[多重露出]が使用できません。
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時
  - ライブビューコンポジット撮影時

動画メニュー

- 記録方式(P146)
- 画質設定(P146)
- スナップムービー(P150)
- AFS/AFF(P81)※
- AF連続動作(P147)
- AFカスタム設定(動画)(P148)
- フォトスタイル(P167)※
- フィルター設定(P169)※
- 輝度レベル設定(P179)
- 測光モード(P171)※
- ハイライトシャドウ(P171)※
- iDレンジコントロール(P172)※
- 超解像(P173)※
- ISO感度設定(動画)(P154)
- 回折補正(P175)※
- 手ブレ補正(P128)※
- フリッカー軽減(P179)
- EXテレコン(動画)(P132)
- デジタルズーム(P134)※
- 動画撮影中の写真撮影(P149)
- 録音レベル表示(P152)
- 録音レベル設定(P152)
- 録音レベルリミッター(P152)
- 風音キャンセラー(P180)/風音低減(P267)
- レンズ動作音低減(P180)
- 専用マイク設定(P266)
- 音声モニタリング(P180)

※ 撮影メニューと動画メニューで共通したメニュー項目です。設定を変更すると、両方の設定に反映されます。

[輝度レベル設定]

使用できるモード: P A S M

動画記録の用途に合わせて輝度の範囲を設定できます。

準備: [記録方式] を [MP4] に設定する。

MENU ボタン→ [動画]→[輝度レベル設定]

設定: [0–255]、[16–255]

- [記録方式]を[AVCHD]に設定した場合、[16–255]に固定されます。
- 以下の場合、[0–255]に固定されます。
  - 写真撮影時(動画撮影中の写真撮影を含む)
  - [フォトスタイル]を[V-Log L]に設定したとき

[フリッカー軽減]

使用できるモード: P A S M

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定できます。

MENU ボタン→ [動画]→[フリッカー軽減]

設定: [1/50]、[1/60]、[1/100]、[1/120]、[OFF]

[風音キャンセラー]

使用できるモード： P A S M

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン→ [動画]→[風音キャンセラー]

設定：[強]、[標準]、[OFF]

- [強]は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準]は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。
- 内蔵マイクだけに働きます。外部マイク接続時は [風音低減]が表示されます。

[レンズ動作音低減]

使用できるモード： P A S M

動画撮影時に記録される、パワーズーム時の動作音を低減できます。

- パワーズームに対応した交換レンズ装着時に使用できます。

MENU ボタン→ [動画]→[レンズ動作音低減]

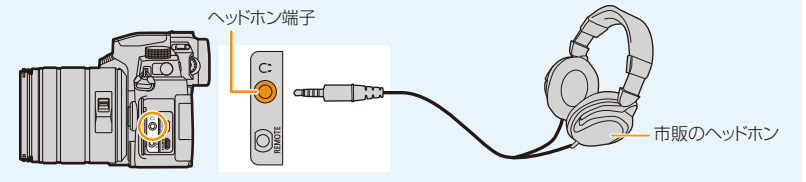
設定：[ON]、[OFF]

- 設定時は通常と音質が変わる場合があります。

[音声モニタリング]

使用できるモード： P A S M

本機に市販のヘッドホンを接続して、動画の音声をモニターしながら撮影できます。



- ヘッドホンケーブルは 3 m 未満のものをご使用ください。
- ヘッドホン接続中は、電子音や電子シャッター音は鳴りません。

■ 音声出力方法を切り換える

MENU ボタン→ [動画]→[音声モニタリング]

リアルタイム	遅延のない音声。動画に記録される音声とは異なる場合があります。
記録音	動画に記録される音声。実際の音より遅れて出力される場合があります。

- 以下の場合、[音声モニタリング] が [記録音] に固定されます。
  - 撮影時
  - HDMI 出力中
  - 外部マイク使用時

■ ヘッドホンの音量を調整する

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→[操作]→[ダイヤル設定]→[コントロールダイヤルの割当]→[ ]

2 ヘッドホン接続中、撮影画面や動画再生中にコントロールダイヤルを回す

( ): 音量を下げる　( ): 音量を上げる

- 再生時は [−]、[+] をタッチしても、音量を調整できます。

メニューで調整する場合

MENU ボタン→ [セットアップ]→[ヘッドホン音量]

カスタムメニュー

目次
MENU メニューガイド
さくいん

露出

- ISO感度ステップ(P183)
- 拡張ISO感度(P98)
- 露出補正リセット(P183)

フォーカス/レリーズ

- AF/AEロック切換(P95)
- AF/AEロック維持(P183)
- シャッター半押し AF(P183)
- シャッター半押しレリーズ(P183)
- クイックAF(P183)
- アイセンサーAF(P183)
- ピンポイントAF設定(P184)
- AF補助光(P184)
- ダイレクトフォーカス移動(P184)
- フォーカス/レリーズ優先(P185)
- 縦/横位置フォーカス切換(P185)
- フォーカス枠のループ移動(P185)
- AFエリア表示(P185)
- AF+MF(P186)
- MFアシスト(P186)
- MFアシスト表示(P186)

操作

- Fn ボタン設定(P53)
- WB/ISO/ 露出補正ボタン(P186)
- ISO感度画面の操作(P41)
- 露出補正画面の操作(P41)
- Q.MENU(P187)
- ダイヤル設定(P42)
- 操作ロック設定(P187)
- フォーカスリングロック(P187)
- 動画ボタン(P187)
- リモコンの動画ボタン(P266)
- タッチ設定(P187)

モニター/ 表示

- オートレビュー(P188)
- モノクロライブビュー(P188)
- 常時プレビュー(M モード)(P188)
- ライブビューブースト(P189)
- ピーキング(P189)
- ヒストグラム表示(P190)
- ガイドライン表示(P190)
- センターマーカー表示(P190)
- ハイライト表示(P191)
- ゼブラパターン表示(P191)
- 露出メーター(P192)
- MFガイド(P192)
- LVF/モニター表示設定(P43)
- モニター撮影情報画面(P192)
- 記録枠表示(P192)
- 残枚数/残時間切換(P192)
- メニューガイド(P192)

レンズ / その他

- レンズ位置メモリー(P193)
- パワーズームレンズ(P135)
- レンズ Fnボタン設定(P193)
- 絞りリング設定(P193)
- 個人認証(P194)
- プロフィール設定(P196)

MENU ボタン→ [カスタム]→ [露出]

[ISO感度ステップ]

ISO感度を設定する間隔を変更します。
設定：[1/3 EV]、[1 EV]

[露出補正リセット]

撮影モード変更時および電源OFF時に露出補正値をリセットします。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]

[AF/AEロック維持]

[ON] に設定すると、[AF/AE LOCK] ボタンを押したあとに離してもピントや露出が固定されます。ロックを解除するには、もう一度 [AF/AE LOCK] ボタンを押してください。

[シャッター半押しAF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせます。

[シャッター半押しレリーズ]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイックAF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消耗が早くなります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[クイックAF] が働きません。
  - プレビューモード時
  - 低照度時

[アイセンサーAF]

アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピントを合わせます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF] が働かない場合があります。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]

[ピンポイントAF設定]

AFモードが[⊞]の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。

ピンポイントAF時間	シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。 **設定：[LONG]/[MID]/[SHORT]**
ピンポイントAF表示	拡大画面の表示方法を設定します。 **設定：[全画面]（画面全体）/[PIP]（画面の一部）**

[AF補助光]

暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。

- 補助光の有効距離は、使用するレンズによって異なります。
  - 交換レンズ（H-FSA14140）装着、W端時：約1.0 m～約3.0 m
- レンズフードは外してください。
- 交換レンズ（H-FSA14140）装着時、AF補助光が少し遮られますが、性能には問題ありません。
- 径の大きなレンズをお使いの場合は、AF補助光が大きく遮られ、フォーカスが合いにくい場合があります。
- 以下の場合、[AF補助光]が[OFF]に固定されます。
  - シーンガイドモードの[風景をきれいに撮る]/[青空をさわやかに撮る]/[夕焼けを幻想的に撮る]/[夕焼けを印象的に撮る]/[水面をキラキラ撮る]/[夜景をきれいに撮る]/[夜空をクールに撮る]/[夜景を暖かく撮る]/[夜景をアーティスティックに撮る]/[夜景を手持ちで撮る]
  - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき

[ダイレクトフォーカス移動]

撮影時にカーソルボタンを使って、AFエリアやMFアシストを移動します。

- 以下の位置をカーソルボタンで移動できます。
  - [ ]、[ ]、[ ]、[ ] 選択時：AFエリア
  - [ ] 選択時：ロック開始位置
  - [⊞] 選択時：拡大位置
- AFモードの選択などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー（P51）やFnボタン（P53）を使って設定してください。
- 以下の場合、[ダイレクトフォーカス移動]が[OFF]に固定されます。
  - シーンガイドモードの[水面をキラキラ撮る]
  - クリエイティブコントロールモード時
  - 4Kライブクロップ設定時

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]

[フォーカス/レリーズ優先]

AF時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。

● フォーカスモード([AFS/AFF]、[AFC])ごとに設定できます。

フォーカス	ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス	ピント合わせとレリーズタイミングのバランスをとり撮影します。
レリーズ	ピントが合っていなくても撮影できます。

[縦/横位置フォーカス切換]

カメラの縦横の位置によって、フォーカス位置を別々に記憶します。

ON	縦位置(左右2種)と横位置で別々に記憶します。 ● 最後に設定した以下の位置を記憶します。 – AFエリア([ ]、[■]、[+] 設定時)の位置 – MFアシストで表示する位置
OFF	縦位置と横位置を同じ設定にします。

[フォーカス枠のループ移動]

AFエリアやMFアシストの位置を設定するときに、画面の端から逆の端にループ移動ができます。

[AFエリア表示]

AFモードを[ ](49点)、または [ ] など(カスタムマルチ)に設定したときの、AFエリア表示の設定をします。

ON	撮影画面に AF エリアを表示します。 ● [ ] (49点)やカスタムマルチの [C1]、[C2]、[C3] で AF エリアが初期設定の場合は表示しません。
OFF	AFエリア設定後に数秒間表示します。

● 以下の場合、[ON] に設定していても、[OFF] と同じ動作になります。
– 動画撮影時
– クリエイティブ動画モード
– 4Kフォト撮影時

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]

[AF+MF]

AFロック中(以下の条件の場合)に手動でピントを微調整できます。
– フォーカスモードを [AFS] に設定し、シャッターボタンを半押ししたとき
– [AF/AE LOCK] ボタンを押したとき

[MFアシスト]

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。
● 設定項目は、使用するレンズによって異なります。

フォーカスリングのある交換レンズ(H-FSA14140)をお使いの場合

	レンズでピント合わせをする、または[ ]ボタン(◀)を押すと、拡大表示されます。
FOCUS	レンズでピント合わせをすると拡大表示されます。
	[ ]ボタン(◀)を押すと拡大表示されます。
OFF	拡大表示されません。

フォーカスリングのない交換レンズをお使いの場合
設定:[ON]、[OFF]

こんなときは使用できません
● 以下の場合、MFアシストは表示されません。
– 動画撮影中
– [4Kプリ連写]で撮影時
– デジタルズーム使用時

[MFアシスト表示]

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。
設定:[全画面](画面全体)/[PIP](画面の一部)

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]

[WB/ISO/露出補正ボタン]

[WB](ホワイトバランス)ボタン、[ISO](ISO感度)ボタン、および[ ](露出補正)ボタンを押したときの動作を設定します。

押している間	ボタンを押している間、設定の変更ができます。ボタンを離すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。
押した後	ボタンを押すと、設定の変更ができるようになります。再度ボタンを押すと、設定値を決定して撮影画面に戻ります。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]

[Q.MENU]

[カスタム]に設定すると、クイックメニューをお好みの項目に変更できます。(P52)

[操作ロック設定]

カスタムメニュー(操作)の [Fnボタン設定](P53)で[操作ロック]を設定した場合に、操作を無効にする対象を設定します。

カーソル	カーソルボタンおよび[MENU/SET]ボタンの操作を無効にします。
タッチパネル	タッチパネルのタッチ操作を無効にします。
ダイヤル	コントロールダイヤルの操作を無効にします。

[フォーカスリングロック]

MF中のフォーカスリング操作を無効にし、ピントを固定します。

- フォーカスリングのロック中は、撮影画面に[MFL]が表示されます。

[動画ボタン]

動画ボタンの有効、無効を設定します。

[タッチ設定]

タッチ操作の有効、無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される[ ]などのタブ操作。
タッチAF	**[AF]**:　タッチした被写体にピントを合わせる操作。(P87) **[AF+AE]**:ピントと明るさを合わせる操作。(P91)
タッチパッドAF	ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動する操作。(P90)

MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[オートレビュー]

写真撮影後に撮影画像を表示します。

時間(写真)	写真撮影後の撮影画像の表示時間を設定します。
時間(4Kフォト)	4Kフォト撮影後に、撮影画像の表示/非表示を設定します。
時間(フォーカスセレクト)	フォーカスセレクト後に、撮影画像の表示/非表示を設定します。
再生操作優先	オートレビュー中に、再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。
- [フォトスタイル]で[粒状]を設定した場合、[インターバル撮影]または[コマ撮りアニメ]撮影時に、オートレビューが表示されません。

[モノクロライブビュー]

撮影画面を白黒で表示できます。
MFでピントを合わせるときに便利です。

- 撮影時にHDMI出力する映像は、白黒表示になりません。
- 撮影画像に影響はありません。

[常時プレビュー(Mモード)]

マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認できます。[設定]で、[MFアシスト中のプレビュー]を[ON] に設定すると、MFアシスト画面でもプレビューが働きます。

- フラッシュ使用時は働きません。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[ライブビューブースト]

暗い環境でも被写体や構図を確認しやすいように、画面を明るく表示します。

MODE1	明るさ弱めで、滑らかに表示することを優先する設定です。
MODE2	明るさ強めで、画像が見えることを優先する設定です。

- [ライブビューブースト]が働く撮影モードは、[設定]で変更できます。

- 記録される画像に影響はありません。
- 記録される画像よりノイズが目立つ場合があります。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[ライブビューブースト]が働きません。
  - 露出を合わせるとき（シャッターボタンを半押ししたときなど）
  - 動画、4Kフォト撮影中
  - [フィルター設定]設定時
  - [常時プレビュー（Mモード）]使用中

[ピーキング]

手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分（画面上で輪郭がはっきりした部分）に色を付けて表示します。

- [設定]で[検出レベル]を[高]に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル]の設定を変更すると、[表示色]の設定も以下のように切り換わります。

[検出レベル]	[高] ⇔ [低]	
[表示色]	[ ]（水色）	[ ]（青）
	[ ]（黄色）	[ ]（オレンジ）
	[ ]（黄緑）	[ ]（緑）
	[ ]（ピンク）	[ ]（赤）
	[ ]（白）	[ ]（灰色）

- [ ]の[PEAK]をタッチするごとに[PEAK L]（検出レベル：低）→[PEAK H]（検出レベル：高）→[OFF]の順に切り換わります。

こんなときは使用できません

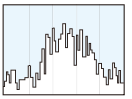
- クリエイティブコントロールモードの[ラフモノクローム]では、ピーキングが使用できません。
- [ライブビューブースト]使用中は、ピーキングが働きません。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[ヒストグラム表示]

ヒストグラムを表示します。
▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定できます。

- 撮影画面でも直接タッチ操作できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状（グラフの分布）を見ることによって、その画像の露出状況を判断できます。



暗い ← → 明るい

- **以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - 露出補正時
  - フラッシュが発光するとき
  - 低照度時など適正な露出が得られないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

[ガイドライン表示]

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
[ ]にすると、▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定できます。
- 撮影画面でも、ガイドライン上の [ ]を直接タッチして操作できます。

こんなときは使用できません
- シーンガイドモードの [パノラマで撮る] に設定した場合、ガイドラインが表示されません。

[センターマーカー表示]

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[ハイライト表示]

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影することをお勧めします。
- 記録される画像に影響はありません。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、ハイライト表示が働きません。
  - 4Kフォト再生時
  - フォーカスセレクト撮影した画像を再生時
  - サムネイル表示時
  - カレンダー表示時
  - 拡大表示時

[ゼブラパターン表示]

白飛びのおそれがある部分をしま模様で表示します。

ゼブラ1		ゼブラ2	

[設定]から、しま模様で表示する明るさを設定できます。

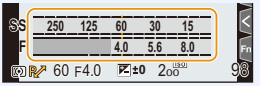
- 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。[ゼブラ2]では、[OFF]に設定できます。[100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけがしま模様で表示されます。数値を小さくすると、しま模様で表示する明るさの範囲が広くなります。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して撮影することをお勧めします。
- 表示されるしま模様は記録されません。
- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定]に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したFnボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。[ゼブラ2]を[OFF]に設定した場合、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わります。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[露出メーター]

露出メーターを表示します。



- [ON] に設定すると、プログラムシフト使用時、絞り設定時、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。

[MFガイド]

手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。

∞（無限）を示す目安

[モニター撮影情報画面]

モニターの撮影情報画面（P44、271）を表示します。

[記録枠表示]

写真撮影時または動画撮影時の画角表示に切り換えます。

	写真撮影時の画角で表示します。
	動画撮影時の画角で表示します。

- 記録枠表示は目安です。
- 4Kフォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時は、[記録枠表示] が [ ] に固定されます。

[残枚数/残時間切換]

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

	写真の記録可能枚数を表示します。
	動画の記録可能時間を表示します。

[メニューガイド]

モードダイヤルを SCN 、 に切り換えたときに選択画面を表示します。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ / その他]

[レンズ位置メモリー]

電源を切ったときのピントの位置を記憶します。パワーズームに対応した交換レンズを装着した場合、ズーム位置も記憶します。

[レンズFnボタン設定]

フォーカスセットスイッチ、フォーカスボタンのある交換レンズをお使いの場合に、レンズのフォーカスボタンに割り当てる機能を設定します。

- レンズのフォーカスセットスイッチを[Fn]に設定し、レンズのフォーカスボタンを押すと、設定した機能を呼び出すことができます。

設定： **[フォーカスストップ]、[AF/AE LOCK]、[AF-ON]、[手ブレ補正]、[フォーカスエリア選択]、[AFモード/MF]、[プレビュー]、[フォーカスリングロック]、[OFF]、[デフォルトに戻す]**

- [フォーカスストップ]設定時、フォーカスボタンを押している間、ピントを固定します。

[絞りリング設定]

絞りリング操作による絞り値設定の刻みを変更できます。

- クリックレスの絞りリングに対応した交換レンズ（別売：H-X1025 ／ H-X2550）を装着したときに使用できます。（2022 年 4 月現在）
- 写真撮影時に、絞りリングの位置を [A] 以外に合わせた場合に働きます。

SMOOTH	絞り値を細かく設定できます。
1/3EV	絞り値を 1/3 EV 刻みで設定できます。

- 絞りリングの位置を [A] に合わせた場合は、カメラ側の絞り値が有効になり、[1/3EV] と同じ設定になります。
- 動画撮影時は[SMOOTH]と同じ細かな設定になります。
- [SMOOTH]で設定するときは、絞り値の端数は画面に表示されません。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ / その他]

[個人認証]

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影できます。

ON	個人認証機能を有効にします。
OFF	個人認証機能を無効にします。
登録	顔画像の登録や登録した情報の変更、解除をします。

顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

❶ ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ ガイドに顔を合わせて撮影する
- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- 顔登録撮影の説明を表示するには、▶ ボタンを押す、または[ⓘ]をタッチしてください。

❸ 項目を設定する
- 顔画像は3枚まで登録できます。

名前		名前を設定します。 ● 文字の入力方法：(P56)
月齢/年齢		誕生日を設定します。
追加登録	追加登録	顔画像を追加登録します。 ● 未登録の顔画像枠を選び、登録してください。
	解除	顔画像を 1 枚消去します。 ● 解除したい顔画像を選んでください。

登録した人物の情報を変更または解除する

❶ ▲/▼/◀/▶ ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ 項目を設定する

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 ●「顔画像を登録する」の手順 ❸ の操作をしてください。
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ● 登録順を選び、設定してください。
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ / その他]

顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

登録時の良い例

撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録をし直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

撮影時
– カメラが登録した顔を認識時、名前を表示 ※

再生時
– 名前や月齢/年齢の表示

※ 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

- **[個人認証] は、AF モードが [ ] の場合に有効です。**
- 連写撮影時は、1 枚目だけに個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1 枚目の画像の名前が表示されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[個人認証] が働きません。
  – 動画撮影時
- 以下の場合、[個人認証] を設定できません。
  – シーンガイドモードの [パノラマで撮る]
  – クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ]
  – 4K フォト撮影時
  – フォーカスセレクト撮影時
  – インターバル撮影時

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ / その他]

[プロフィール設定]

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録できます。これらは再生時に表示したり、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込んだりすることができます。

設定：[(赤ちゃん1)]、[(赤ちゃん2)]、[(ペット)]、[OFF]、[設定]

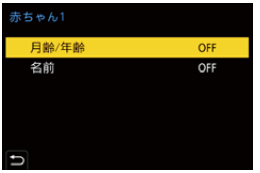
■ 名前、月齢/年齢を設定する

1 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで[赤ちゃん1]、[赤ちゃん2]または[ペット]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで[月齢/年齢]または[名前]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す
[月齢/年齢](誕生日)を入力する
[名前]を入力する
- 文字の入力方法：(P56)



■ 月齢/年齢や名前の表示を解除する

[プロフィール設定]で[OFF]を選ぶ

- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って月齢/年齢や名前をプリントできます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[プロフィール設定]が使用できません。
  - クリエイティブ動画モード時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
- 以下の場合、月齢/年齢や名前は記録されません。
  - 動画撮影時
  - 動画撮影中に記録した写真([](動画優先))

セットアップメニュー

- CLUB Panasonic登録(P197)
- カスタムセット登録(P69)
- 時計設定(P35)
- ワールドタイム(P197)
- トラベル日付(P198)
- Wi-Fi(P198)
- Bluetooth(P199)
- WIRELESS 接続ランプ(P199)
- 電子音(P199)
- ヘッドホン音量(P181)
- エコモード(P200)
- モニター表示速度(P201)
- モニター調整/LVF調整(P201)
- モニター輝度(P201)
- アイセンサー(P201)
- バッテリー使用順序(P265)
- USBモード(P202)
- USB給電(P202)
- テレビ接続設定(P202)
- 言語設定(P202)
- バージョン表示(P203)
- フォルダー/ファイル設定(P203)
- 番号リセット(P204)
- 設定リセット(P204)
- ネットワーク設定リセット(P204)
- ピクセルリフレッシュ(P205)
- センサークリーニング(P205)
- 水準器調整(P205)
- デモモード(P205)
- 認証情報(P205)
- フォーマット(P29)

MENU ボタン→ [セットアップ]

[CLUB Panasonic登録]

CLUB Panasonic に登録するための URL または QR コードを表示します。

設定:[URL 表示]/[QR コード表示]

[ワールドタイム]

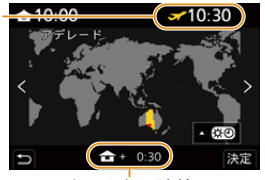
お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。

- [ホーム]設定後に[旅行先]を設定できます。

[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。

[旅行先]:旅行先の地域

現地時刻



ホームとの時差

[ホーム]:お住まいの地域

現在時刻

GMT(グリニッジ標準時)との時差

MENU ボタン→ [セットアップ]

- サマータイム[▲☀]（夏時間）を採用している場合は、▲ボタンを押してください。（時計が1時間進みます）元に戻すには、もう一度▲ボタンを押してください。
- 旅行先から戻ってきた場合、[ホーム] に設定してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

[トラベル日付]

トラベル日付設定	旅行の日程を設定して撮影すると、旅行の経過日数（何日目か）が記録されます。
旅行先	[トラベル日付設定] を設定しているときに、旅行先を設定できます。 ● 文字の入力方法：(P56)

- 経過日数や旅行先は、再生時に表示したり、[文字焼き込み] で撮影画像に焼き込んだりすることができます。
- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って経過日数や旅行先をプリントできます。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- [トラベル日付設定]を[OFF]に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に[トラベル日付設定] を [設定] にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定] は自動的に解除されます。
- AVCHD 動画は[トラベル日付]を記録できません。
- 以下の場合、[旅行先]が記録できません。
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時

[Wi-Fi]

■ **[Wi-Fi 機能]** (P221)

■ **[Wi-Fi 設定]** (P250)

MENU ボタン→ [セットアップ]

[Bluetooth]

■ [Bluetooth](P225)
■ [リモート起動](P231)
■ [スリープモードからの復帰動作](P234)
■ [自動画像転送](P235)
■ [位置情報記録](P236)
■ [自動時刻合わせ](P236)
■ [Wi-Fi ネットワーク設定]

Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。(P246)
Wi-Fi接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。

- 登録できる無線アクセスポイントは 17 件までです。17 件を超えて登録すると、古くに登録した無線アクセスポイントから消去されます。
- [ネットワーク設定リセット]を実行すると、登録済みの無線アクセスポイントが消去されます。

[WIRELESS接続ランプ]

WIRELESS 接続ランプの有効/無効を設定します。[OFF]に設定すると、点灯/点滅しません。

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。
設定：[電子音音量]、[電子シャッター音音量]、[電子シャッター音音色]

こんなときは使用できません

- [サイレントモード]を[ON]に設定した場合は、[電子音]を設定できません。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[エコモード]

一定時間何も操作をしないと、カメラをスリープ(省電力)状態にしたり、ファインダー/モニターを消灯したりする機能です。バッテリーの消費を抑えます。

スリープモード	スリープするまでの時間を設定します。	
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi 切断後、15分でスリープするように設定します。	
LVF/モニター自動OFF	ファインダー/ モニターを消灯する時間を設定します。(電源は切りません)	
省電力ファインダー撮影	ファインダー/モニター自動切り換えで、撮影画面をモニターに表示しているときにスリープします。 ● [時間]を[OFF]に設定すると、[省電力ファインダー撮影]は働きません。	
	時間	スリープするまでの時間を設定します。
	画面	スリープが働く画面を設定します。 **[モニター撮影情報画面のみ]:** モニター撮影情報画面(P44)を表示しているときだけスリープします。 **[ライブビュー画面すべて]:** 撮影待機中は、どの画面のときでもスリープします。

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影]から復帰する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
  - シャッターボタンを半押しする
  - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- [LVF/モニター自動OFF]から復帰するには、いずれかのボタンを押してください。
- AC アダプター(別売:DMW-AC10)と DC カプラー(別売:DMW-DCC8)を使用するときは:
  - [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]、[省電力ファインダー撮影] は働きません。
  - [LVF/モニター自動OFF] は [5 分] に固定されます。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、[エコモード]が働きません。
  - パソコンまたはプリンター接続時
  - 動画撮影/動画再生時
  - スライドショー時
  - [4K プリ連写] で撮影時
  - [多重露出]撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
  - ライブビューコンポジット撮影時
  - 撮影時のHDMI出力中

MENU ボタン→ [セットアップ]

[モニター表示速度]

モニターの表示速度を設定します。

30fps	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。

- [モニター表示速度] の設定は、記録される画像に影響はありません。
- ファインダーは [60fps] に固定されます。

[モニター調整/LVF調整]

モニター/ファインダーの明るさや色合い、または赤みや青みなどの色味を調整します。

1 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する
2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。

[モニター輝度]

A✱(AUTO)	撮影時は、周囲の明るさに応じて自動的に明るさを調整します。 再生時は、最後に撮影したときの明るさに合わせます。(電源を入れたあと一度も撮影していない場合は、標準的な明るさになります)
1✱(MODE1)	モニターを明るくします。
2✱(MODE2)	モニターを暗くします。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- [A✱]または[1✱]設定時は、使用時間が減少します。

[アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。
LVF/モニター切換	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 **[LVF/MON AUTO](ファインダー/ モニター自動切り換え)** **[LVF](ファインダー表示)** **[MON](モニター表示)** ● [LVF]ボタンで表示を切り換えると、[LVF/モニター切換]の設定も切り換わります。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[USBモード]

USB接続ケーブル（付属）接続時の通信方式を設定します。

接続時に選択	機器と接続したときにUSB通信方式を選ぶ場合に設定します。
PC(Storage)	パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。
PictBridge(PTP)	PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。

[USB 給電]

USB接続ケーブルを使って、本機とパソコンを接続時に給電します。

- ACアダプター（付属）に接続したときは、[OFF] に設定していても給電されます。

[テレビ接続設定]

[HDMI出力解像度（再生時）]：
本機とテレビやモニターをHDMIマイクロケーブルで接続したときに、再生モードで出力する映像方式を設定します。

AUTO	接続したテレビに合わせた出力解像度で出力します。
4K/30p、1080p、1080i、720p、480p	設定した出力解像度で出力します。

- [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、お使いのテレビが表示できる「AUTO」以外の設定に切り換えてください。（テレビの取扱説明書もお読みください）

[HDMI情報表示（撮影時）]：
HDMI接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する/しないを選びます。(P254)

[ビエラリンク]：
[ON] に設定すると、本機とHDMIマイクロケーブルで接続したビエラリンク対応機器が自動的に連動します。ビエラリンク対応機器のリモコンを使って操作できるようになります。

[言語設定]

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの [] を選び言語を設定してください。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[バージョン表示]

本体とレンズのファームウェアバージョンを確認できます。

- 本機のソフトウェアに関する情報を表示するには、バージョン表示画面で[MENU/SET]ボタンを押してください。

[フォルダー/ファイル設定]

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名		ファイル名	
100ABCDE ❶ ❷		PABC0001.JPG ❶ ❷ ❸ ❹	
❶	フォルダー番号（3桁、100～999）	❶	色空間（[P]：sRGB、[_]：AdobeRGB）
❷	任意の5桁	❷	任意の3桁
		❸	ファイル番号（4桁、0001～9999）
		❹	拡張子

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。 ● フォルダー名には記録可能なファイル数が表示されます。	
新規フォルダー作成	**OK**	フォルダー名の任意の5桁を現在と同じ設定のまま、新規フォルダーを作成します。
	フォルダー名変更	フォルダー名の任意の5桁を入力し、変更して新規フォルダーを作成します。 ● 設定可能な文字：英字（大文字）、数字、[_] ● 文字の入力方法：(P56)
	● フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。 ● カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。	
ファイル名設定	**フォルダー番号連動**	ファイル名の任意の3桁をフォルダー番号に合わせます。
	ユーザー設定	ファイル名の任意の3桁を入力し、設定します。 ● 設定可能な文字：英字（大文字）、数字、[_] ● 文字の入力方法：(P56)

MENU ボタン→ [セットアップ]

- 1 つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーが自動で作成されます。
  - フォルダー内に1000ファイルあるとき
  - ファイル番号が「9999」のファイルがフォルダー内にあるとき
- フォルダー番号が100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。

[番号リセット]

次に撮影される画像のファイル番号を0001にします。

- リセット後に撮影すると、フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。
- フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなります。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。
- フォルダー番号を100にリセットするには

❶ [フォーマット]を実行し、カードを初期化する
❷ [番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
❸ フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

[設定リセット]

以下のそれぞれの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 撮影設定
- セットアップ設定（[Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]の設定内容）
- カスタム設定（[個人認証]、[プロフィール設定]の設定内容）
- セットアップ/カスタム設定（[Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定]以外）

- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
  - [ワールドタイム] の設定内容
  - [トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）
  - 再生メニューの[縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダー番号、時計はリセットされません。
- 修理依頼または譲渡/廃棄される際は、289 ページの「個人情報について」をお読みください。

[ネットワーク設定リセット]

以下のネットワークに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- [Wi-Fi設定]
- [Bluetooth]の登録済み機器情報、[Wi-Fiネットワーク設定]

- 修理依頼または譲渡/廃棄される際は、289 ページの「個人情報について」をお読みください。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[ピクセルリフレッシュ]

撮像素子と画像処理の最適化を行います。

- 撮像素子と画像処理の最適化については、お買い上げ時は最適な状態に設定されています。被写体にない明るい点が記録される場合は、本機能をお使いください。
- 終了後は、電源を入れ直してください。

[センサークリーニング]

撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクションを行います。

- ダストリダクション機能は電源スイッチを[ON]にすると自動的に働きます。特にごみが気になるときに、本機能をお使いください。

[水準器調整]

調整	カメラを水平な状態にし、[MENU/SET]ボタンを押してください。水準器が調整されます。
調整値リセット	水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。

[デモモード]

フォーカスセレクトのピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しいただけます。

[認証情報]

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

マイメニュー

[マイメニュー設定]

よく使うメニューを登録し、[マイメニュー]に表示します。23項目まで登録できます。

MENU ボタン→ [マイメニュー]→[マイメニュー設定]

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューに表示するときの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	登録したメニューを消去します。 **[項目消去]**：メニューを選び、消去します。 **[全消去]**：　メニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、最初に表示するメニューを設定します。 [ON]：　マイメニューを表示します。 [OFF]：最後に使ったメニューを表示します。

▶ 再生メニュー

- スライドショー(P208)
- 再生モード(P209)
- プロテクト(P209)
- レーティング(P209)
- タイトル入力(P210)
- 認証情報編集(P210)
- RAW 現像(P211)
- 4K フォト一括保存(P110)
- 比較明合成(P213)
- 軌跡合成(P214)
- クリアレタッチ(P215)
- 文字焼き込み(P216)
- リサイズ(縮小)(P217)
- トリミング(切抜き)(P218)
- 画像回転(P219)
- 動画分割(P219)
- インターバル動画作成(P219)
- コマ撮りアニメ作成(P220)
- 縦位置自動回転(P220)
- 画像表示順(P220)
- 消去確認画面(P220)

- 他の機器で撮影した画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

■ [1 枚設定]、[複数設定]での画像の選び方

- [1 枚設定]または[複数設定]が選択できない場合は、[1 枚設定]の選び方と同じです。

[1 枚設定]選択時

1 **◀/▶ ボタンで画像を選ぶ**

2 **[MENU/SET] ボタンを押す**

- 画面右下に[設定/解除]と表示される場合、もう一度[MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。

[複数設定]選択時

右のような画面の場合

1 **▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**(繰り返す)

- 設定を解除するには、もう一度[MENU/SET]ボタンを押してください。

2 **[DISP.] ボタンを押して実行する**

右のような画面の場合

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 選択を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

[スライドショー]

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生できます。また、写真や動画だけをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

MENU ボタン→▶[再生]→[スライドショー]

1 ▲/▼ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [写真のみ]設定時、4K連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像だけ再生されます。

2 ▲/▼ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

■ スライドショー中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/II	再生 / 一時停止
◀	⏮	前の画像へ
(◎)	−	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	スライドショーを終了する
▶	⏭	次の画像へ
(◎)	+	音量を上げる

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更できます。

効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。	
設定	**再生間隔**	●[再生間隔]は、[効果]を[OFF]の場合に設定できます。
	リピート	[ON]、[OFF]
	音設定	[AUTO]:写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]:　音楽を再生します。 [音声]:　動画の音声を再生します。 [OFF]:　音を出しません。

こんなときは使用できません

- 以下をスライドショー再生しているときは、[効果]の設定が働きません。
  - 4K連写ファイル
  - グループ画像
  - フォーカスセレクト撮影した画像
- 以下をスライドショー時、[再生間隔]の設定が働きません。
  - 動画
  - パノラマ写真
  - 4K連写ファイル
  - グループ画像
  - フォーカスセレクト撮影した画像

[再生モード]

[通常再生]、[写真のみ]、または[動画のみ]を選び、再生できます。

MENU ボタン→▶[再生]→[再生モード]

▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ]設定時、4K連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

[プロテクト]

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定できます。

MENU ボタン→▶[再生]→[プロテクト]

画像を選ぶ(P207)

- グループ画像に対して[プロテクト]を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が1000枚以上の場合は、[999+]と表示されます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

▲/▼ ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

カードの書き込み禁止スイッチを[LOCK] にすると、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- [プロテクト]設定は、他の機器では働かない場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。

[レーティング]

画像に 5 種類のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- Windows 10、Windows 8.1、Windows 8 などのファイルの詳細表示で、JPEG 画像のレーティングのレベルを確認する。

MENU ボタン→▶[再生]→[レーティング]

1　画像を選ぶ(P207)

2　◀/▶ ボタンでレーティングのレベル(1～5)を設定し、[MENU/SET] ボタンで決定する

- [複数設定]選択時は、手順**1**、**2**を繰り返してください。(一括で設定できません)
- グループ画像に対して[レーティング]を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が1000枚以上の場合は、[999+]と表示されます。

■ [レーティング]設定を全解除する

▲/▼ ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生モード]を[写真のみ]または[動画のみ]に設定した場合、[全解除]を選択できません。

- AVCHD 動画は[★5]だけに設定できます。

[タイトル入力]

撮影画像に文字(コメント)を入力できます。入力後、[文字焼き込み] で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[タイトル入力]

1 画像を選ぶ(P207)

- すでにタイトルが入力されている画像には[ ]が表示されます。

2 文字を入力する(P56)

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字(コメント)をプリントできます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

こんなときは使用できません

- 以下の場合、タイトル入力できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影した画像

[認証情報編集]

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[認証情報編集]

1 ▲/▼ ボタンで[入換え]または[解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ([入換え]選択時)▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- グループ画像はグループ単位で編集してください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は1枚目の画像を編集できます。

[RAW現像]

RAW形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG形式で保存します。

MENU ボタン→▶[再生]→[RAW 現像]

1 ◀/▶ ボタンで RAW画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。

ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整できます。[📷]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
明るさ補正	−2 EV〜+2 EVの範囲で明るさの補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果を選択できます。 ● [V-Log L] 以外で撮影した写真は、[V-Log L] に設定できません。 ● [V-Log L] で撮影した写真は、[V-Log L] に固定されます。
iD レンジコントロール	iDレンジコントロールの設定を選択できます。
コントラスト	コントラストを調整できます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD] を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選択できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[L.モノクローム]、[L.モノクロームD] を選択している場合)
粒状	粒状感の強弱を設定できます。([フォトスタイル] で [モノクローム]、[L. モノクローム]、[L. モノクローム D] を選択している場合)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選択できます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の操作ができます。 **[調整前に戻す]**：撮影時の設定に戻すことができます。 **[色空間]**：色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選択できます。 **[記録画素数]**：保存時のJPEG画像のサイズを選択できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 212 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

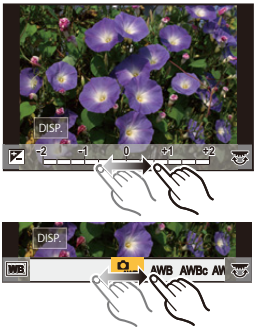
4 [MENU/SET] ボタンを押す

- 手順**2**の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順**2**から**4**を繰り返してください。

5 ▲/▼ ボタンで [RAW現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 各項目の設定方法

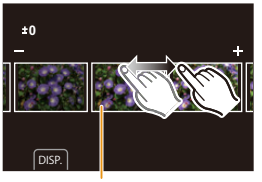
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス]の[ ]、[ ]、[ ]、[ ]選択時)
▼	[調整]	ホワイトバランスの調整画面を表示 ([ホワイトバランス]選択時)
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス]選択時、比較画面の表示はできません。
- 画面を２回タッチするごとに、拡大表示/通常表示が切り換わります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。
  [ ]をタッチすると元の表示に戻ります。

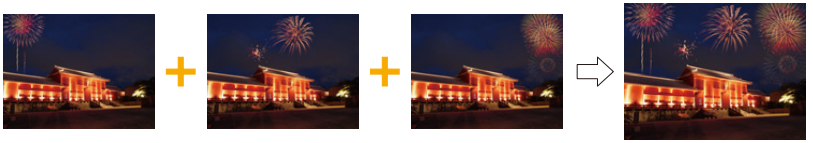
- 本機とソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で設定するRAW現像の結果は、完全には一致しません。
- 本機で撮影したRAW画像は常に[4:3](5184×3888)で記録されます。
  再生メニューの[RAW現像]では撮影時の画像横縦比や[EXテレコン(写真)]の画角で現像されます。
- ([詳細設定]の[記録画素数]を設定する場合)
  [EXテレコン(写真)]で拡大した画像を現像するときは、撮影時より大きい記録画素数に設定できません。
- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- グループ画像は１枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

- HDMI マイクロケーブル接続時、[RAW現像]が使用できません。
- 他の機器で撮影した RAW 画像は、RAW 現像できません。

[比較明合成]

4K連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真を合成します。



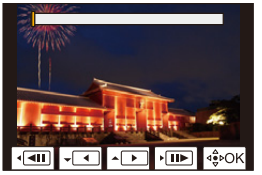
MENU ボタン→ ▶ [再生]→[比較明合成]

1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[選択合成] 選択時

合成したいコマを選んで、明るい部分を重ね合わせます。



❶ スライドバーをドラッグ、または ▲/▼/◀/▶ ボタンで合成したいコマを選ぶ

❷ [MENU/SET]ボタンを押す
- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の操作ができます。
  - [次の画像]：さらに合成したいコマを選択できます。
  - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。

❸ 手順 ❶ ～ ❷ を繰り返し、合成したいコマを選ぶ
- 最大40コマまで選択できます。

❹ ▲/▼ ボタンで[保存]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[範囲合成] 選択時

先頭と終了のコマを決めて、その範囲内で明るい部分を重ね合わせます。

❶ 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET]ボタンを押す
- 選択方法は、[選択合成]の手順 ❶ と同じです。

❷ 終了画像のコマを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真はJPEG形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

[軌跡合成]

4K連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を1枚の写真に合成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[軌跡合成]

1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 コマを選び、合成する

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。
（被写体が重なると正しく合成されない場合があります）

❶ スライドバーをドラッグ、または ▲/▼/◀/▶ ボタンで合成したいコマを選ぶ

❷ [MENU/SET]ボタンを押す
- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の操作ができます。
  - [次の画像]：さらに合成したいコマを選択できます。
  - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。

❸ 手順 ❶ ～ ❷を繰り返し、合成したいコマを選ぶ
- 3コマ～40コマまで選択できます。

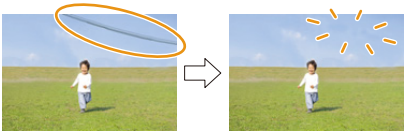
❹ ▲/▼ ボタンで[保存]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 写真はJPEG形式で保存され、1コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

軌跡合成のコツ
軌跡合成に使用する画像を撮影するときは、三脚の使用をお勧めします。

[クリアレタッチ]（不要な部分を消去する）

● タッチ操作で設定するため、[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン→▶[再生]→[クリアレタッチ]

1 ◀/▶ ボタンで写真を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 消去したい部分をなぞる

● 消去される部分に色が付きます。
● 色が付いた部分を1つ前の状態に戻すには、[1つ戻す]をタッチしてください。

細かい部分を消去するには（拡大表示）

❶ [移動]をタッチする
● 画面をピンチアウト/ピンチインすると、拡大/縮小表示できます。
● 画面をドラッグすると、拡大部分を移動できます。

❷ [消去]をタッチする
● 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。

3 [決定]をタッチする

4 [保存]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押す

● 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
● グループ画像は1枚ずつクリアレタッチしてください。（グループ単位の編集はできません）
● グループ画像にクリアレタッチすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

● 以下の場合、[クリアレタッチ]が使用できません。
- ファインダー表示時
- HDMIマイクロケーブル接続時

● 以下の画像はクリアレタッチできません。
- 動画
- 4K連写ファイル
- フォーカスセレクト撮影した画像
- パノラマ写真
- [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[文字焼き込み]

撮影した画像に、記録された情報を焼き込むことができます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[文字焼き込み]

1 画像を選ぶ(P207)

- すでに文字焼き込みした画像には、画面に[ ]が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

撮影日時	撮影日時を焼き込みます。
名前	[ ](個人認証)：　[個人認証]で登録した名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット)：[プロフィール設定]で登録した名前を焼き込みます。
旅行先	[旅行先]で設定した旅行先名を焼き込みます。
トラベル日付	[トラベル日付]で設定したトラベル日付を焼き込みます。
タイトル	[タイトル入力]で入力したタイトルを焼き込みます。

3 [ ]ボタンを押して前の画面に戻る

4 ▲ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 文字焼き込みした画像は、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みすると、画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使用できません

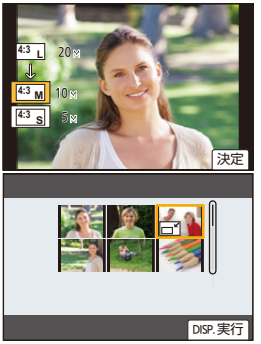
- 以下の場合、文字や日付情報を焼き込むことができません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - パノラマ写真
  - 時計とタイトルを設定せずに撮影した画像
  - 文字焼き込みした画像
  - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[リサイズ(縮小)](画像サイズ(画素数)を小さくする)

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

MENU ボタン→▶[再生]→[リサイズ(縮小)]

画像、サイズを選ぶ



[1 枚設定]選択時

❶ ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[複数設定]選択時

❶ ▲/▼ ボタンでサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 選択を解除するには、もう一度[MENU/SET] ボタンを押してください。

❸ [DISP.] ボタンを押して実行する

- [複数設定]で一度に設定できるのは 100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。

こんなときは使用できません

- 以下の画像はリサイズ(縮小)できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - パノラマ写真
  - グループ画像
  - 文字焼き込みした画像
  - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[トリミング(切抜き)](画像を切り抜く)

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

MENU ボタン→▶[再生]→[トリミング(切抜き)]

1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 後ダイヤルと▲/▼/◀/▶ ボタンで切り抜く部分を選ぶ

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		画像を拡大
		画像を縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- トリミング(切抜き)すると画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)すると、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使用できません

- 以下の画像はトリミング(切抜き)できません。
  - 動画
  - 4K連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - パノラマ写真
  - 文字焼き込みした画像
  - [クオリティ]を[RAW]にして撮影した画像

[画像回転]（画像を手動で回転する）

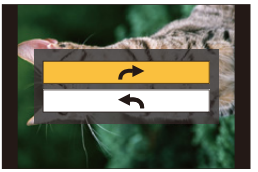
画像を手動で90°ずつ回転させます。

- [縦位置自動回転]を[OFF]に設定すると、[画像回転]は選択できません。

MENU ボタン→▶[再生]→[画像回転]

1 ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 回転する方向を選ぶ



[↱]：時計回りに90°回転します。

[↰]：反時計回りに90°回転します。

[動画分割]

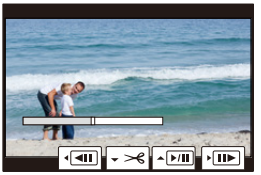
撮影した動画や4K連写ファイルを2つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。**分割すると、元に戻すことができません。**

MENU ボタン→▶[再生]→[動画分割]

1 ◀/▶ボタンで分割編集したい画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 分割したい位置で▲ボタンを押す

- 分割位置の細かい調整をするには、一時停止中に◀/▶ボタンを押してください。



3 ▼ボタンを押す

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、画像が消失するおそれがあります。

こんなときは使用できません

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。

[インターバル動画作成]

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[インターバル動画作成]

1 ◀/▶ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは122ページをお読みください。

[コマ撮りアニメ作成]

[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[コマ撮りアニメ作成]

1 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは 122 ページをお読みください。

[縦位置自動回転]（画像を自動で回転して表示する）

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

MENU ボタン→▶[再生]→[縦位置自動回転]→[ON]

こんなときは使用できません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。（Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです）

[画像表示順]

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン→▶[再生]→[画像表示順]

ファイル名	フォルダー名/ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 別のカードを入れたときなど、[撮影日時]の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時]の順で表示されます。

[消去確認画面]

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]/[いいえ] のどちらが最初に選ばれるかを設定します。
お買い上げ時は[「いいえ」がはじめ]に設定されています。

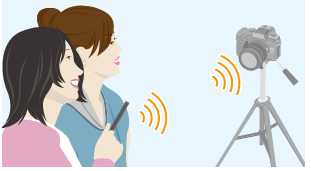
MENU ボタン→▶[再生]→[消去確認画面]

「はい」がはじめ	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作ができます。
「いいえ」がはじめ	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。

Wi-Fi®/Bluetooth®機能でできること

スマートフォンとつないで使う

- リモート操作(P232)
- 撮影画像の再生 / 保存(P234)
- スナップムービーで撮影した動画の編集(P237)



Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続して、さらに広がる楽しみ方

- ペアリング(接続設定)(P225)
- カメラの電源操作(P231)
- シャッターリモコン(バルブ撮影)(P233)
- 撮影画像の自動転送(P235)
- 位置情報の記録(P236)
- 自動時刻合わせ(P236)

テレビに写真を映す(P238)

ワイヤレスでプリントする(P242)

AV機器に画像を送る(P243)

パソコンに画像を送る(P244)

- 特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と表記します。

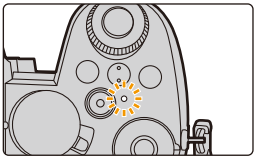
Wi-Fi/Bluetooth機能について

ご使用の前に

- **時計を設定してください。**(P35)
- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

WIRELESS接続ランプの表示について

青色点灯	Wi-Fi/Bluetooth機能ON時、または接続中
青色点滅	カメラ操作で画像データ送信時



- セットアップメニューの[WIRELESS接続ランプ]で、点灯/点滅しないように設定できます。(P199)

[Wi-Fi] ボタンについて

本書では[Wi-Fi]を設定したFnボタンを[Wi-Fi]ボタンと記載して説明しています。
(お買い上げ時は、撮影時は [Fn4]に、再生時は[Fn1]に[Wi-Fi]が設定されています)

- Fnボタンについては:(P53)

[Wi-Fi] ボタンを押す操作(撮影時)

1 [Fn]をタッチする

2 [Fn4]をタッチする

[Wi-Fi] ボタンを押してできる操作

Wi-Fi接続していないときに[Wi-Fi]ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続できます。(P227)

- その際に[DISP.]ボタンを押すと、以前に接続した履歴から素早く接続することができ便利です。(P249)

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

Wi-Fi接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi接続を終了し、別の Wi-Fi接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	(P240)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録して、次回簡単に同じ接続設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	(P251)

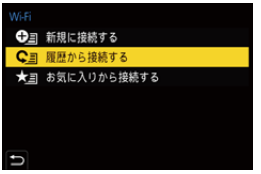
- お使いのWi-Fi機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

■ 操作の記載方法について

手順で「[履歴から接続する] を選ぶ」などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作： カーソルボタンで [履歴から接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作： [履歴から接続する] をタッチする



- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 本機は公衆無線LAN環境を経由した無線LAN接続はできません。
- 情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」(以降では「Image App」と表記)をインストールする必要があります。

「Image App」のインストール

「Image App」はパナソニックが提供するスマートフォン用アプリケーションです。

- **対応 OS**
  Android™: Android 4.4以上
  (Bluetooth機能を使うにはAndroid 5.0以上が必要です)
  iOS: iOS 9.3以上
  (iPad 2では Bluetooth機能を使用できません)

1 スマートフォンをネットワークに接続する

2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ

3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する

4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2022 年 4 月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
  「Image App」の情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
  https://panasonic.jp/support/dsc/
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンをWi-Fi接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機とのWi-Fi接続を終了して、3GやLTE等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応OSや「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容がお使いの機器と一部異なる場合があります。

スマートフォンとの接続（Bluetooth接続）

簡単な接続設定（ペアリング）で、Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンと接続します。ペアリング設定を行うと、スマートフォンとのWi-Fi接続も自動で行います。

- **対応スマートフォン**

  Android：　Android 5.0以上で、Bluetooth 4.0以上を搭載
  （Bluetooth Low Energy 非対応の一部の端末を除く）

  iOS：　iOS 9.3以上（iPad 2を除く）

■ 初めて接続する

初回だけペアリング設定（接続設定）が必要です。ペアリング設定すると、自動で Wi-Fi接続します。

カメラ側

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]

- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名が表示されます。

スマートフォン側

1 「Image App」を起動する
- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

2 [Bluetooth] を選ぶ

3 BluetoothをONにする

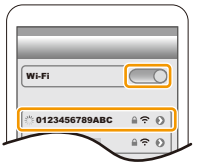
4 [登録可能な機器] の項目から、カメラの画面に表示されている デバイス名を選ぶ
- カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。
  （Android機器）[接続] を選ぶと、Wi-Fi接続されます。

Android機器は以上で操作が完了します。
iOS機器（iPhone、iPod touch、iPad）は、以下の手順に進んでください。

- カメラの [Wi-Fiパスワード]（P250）が [OFF] の場合、[Wi-Fi設定] を選んでください。
  （お買い上げ時は [Wi-Fiパスワード] が [OFF] に設定されています）
- カメラの [Wi-Fiパスワード] が [ON] の場合、プロファイルのインストールが必要です。
  ❶ プロファイルをインストールする
  [インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
  - スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。
  ❷ ホームボタンを押してブラウザを終了する

5 設定メニューでWi-Fi機能をONにする

6 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ（手順 4 で選んだデバイス名）
- SSIDが表示されない場合、Wi-Fi機能をOFFにしてから再度ONにすると表示される場合があります。
- 接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。



7 「Image App」を起動する
- Wi-Fi接続の完了後、ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。

■ ペアリング済みスマートフォンとの接続

カメラ側

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [ON]

スマートフォン側

1 「Image App」を起動して、[Bluetooth] を選ぶ
- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

2 BluetoothをONにする

3 [登録済みの機器] の項目から、接続したいカメラ（デバイス名）を選ぶ
- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは1つです。

■ Bluetooth接続の終了

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [OFF]

- 接続が解除され、カメラのBluetooth機能が停止します。
- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

■ ペアリングの解除

カメラ側

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [解除]

2 解除したいスマートフォンを選ぶ

スマートフォン側

[登録済みの機器] の項目から、ペアリングを解除したいカメラ（デバイス名）を選ぶ

- Bluetooth接続中は、撮影画面に[ ]が表示されます。Bluetooth機能が有効なときに、接続していない場合は、[ ]が半透明で表示されます。
- スマートフォンとカメラのペアリングに時間がかかるときは、一度両方のペアリング設定を解除してから再設定すると正しく認識される場合があります。
- 登録できるスマートフォンは16件までです。16件を超えて登録すると、古くに登録したスマートフォンから消去されます。
- [ネットワーク設定リセット] をすると、登録済み機器情報は消去されます。

スマートフォンとの接続（Wi-Fi接続）

カメラとBluetooth Low Energyに対応していないスマートフォンをWi-Fiで接続します。
- Bluetooth Low Energyに対応したスマートフォンでも、同じ操作でWi-Fi接続できます。

パスワードを入力せずに接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、カメラとWi-Fi接続できます。

カメラ側

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンをカメラに直接接続するために必要な情報（SSID）が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

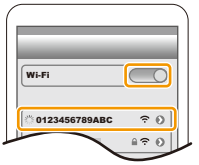
スマートフォン側

1 設定メニューでWi-Fi機能をONにする

2 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ

3 「Image App」を起動する

- カメラに接続確認画面が表示されたら、[はい]を選んで接続してください。（初回接続時のみ）



お買い上げ時は[Wi-Fiパスワード]が[OFF]に設定されています。

Wi-Fi接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器か必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。お近くに別のWi-Fi接続機器がある場合などは、[Wi-Fiパスワード](P250)を[ON]に設定することをお勧めします。

パスワード認証を使って接続する

[Wi-Fiパスワード]を[ON]に設定すると、手動入力またはQRコードによるパスワード認証をすることで、セキュリティーを強化できます。

準備：(カメラ側) [Wi-Fiパスワード]を[ON]にする。(P250)

■ QRコードを読み取って接続する

カメラ側

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

SSID、パスワード　QRコード

- スマートフォンをカメラに直接接続するために必要な情報（QRコード、SSIDとパスワード）が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

スマートフォン側

1 「Image App」を起動する

2 [QRコード]を選ぶ

- スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、[QRコード]が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- (iOS機器)確認画面が表示されます。[OK] を選んで進んでください。

3 カメラの画面に表示されているQRコードを「Image App」で読み取る

- QRコードを拡大表示するには、カメラの [MENU/SET] ボタンを押してください。

Android機器は以上で操作が完了します。
iOS機器(iPhone、iPod touch、iPad)は、以下の手順に進んでください。

4 プロファイルをインストールする

[インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。

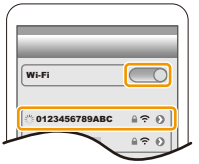
- スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

5 ホームボタンを押してブラウザを終了する

6 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi機能をONにする

7 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示された SSIDを選ぶ

8 「Image App」を起動する



- (iOS機器)手順**1**～**5**は2回目以降は不要です。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

■ パスワードを手動入力して接続する

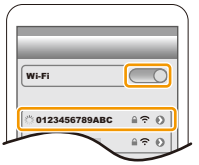
カメラ側

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

SSID、パスワード　QRコード

- スマートフォンをカメラに直接接続するために必要な情報（QRコード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

スマートフォン側



1 設定メニューでWi-Fi機能をONにする

2 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ

3 カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する（初回接続時のみ）

4 「Image App」を起動する

初期設定以外の接続方法

接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン

または

Wi-Fi ボタン → [DISP.] ボタン → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン

■ ネットワーク経由で接続する

カメラ側

1 ［ネットワーク経由］を選ぶ

- 246 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

スマートフォン側

2 設定メニューでWi-Fi機能をONにする

3 カメラを接続した無線アクセスポイントに接続する

4 「Image App」を起動する

■ 直接接続で接続する

カメラ側

1 ［直接接続］を選ぶ

- ［WPS 接続］を選び、248 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォンに接続してください。

スマートフォン側

2 「Image App」を起動する

Wi-Fi接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタンを半押しして、撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューでWi-Fi接続を終了する

MENU ボタン → ［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi機能］→［はい］

- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押しても終了できます。

3 スマートフォンで「Image App」を終了する

- スマートフォンで4Kプリ連写を撮影するときは、カメラの［⮌］ボタンを押して4K連写に切り換えてから、接続を終了してください。

スマートフォンでカメラを操作する

■ 必要な無線接続の種類

スマートフォンとつないで使う機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth Low Energy の対応
Bluetooth	Bluetooth Low Energyに対応のスマートフォンで使うことができます。
Wi-Fi	Bluetooth Low Energyに対応していないスマートフォンでも使うことができます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth Low Energyに対応のスマートフォンで使うことができます。 ● BluetoothとWi-Fiの両方でスマートフォンと接続する必要があります。

カメラの電源操作

必要な無線接続： Bluetooth Wi-Fi

カメラの電源を切っていても、スマートフォンからリモートで起動して操作できます。
離れた場所からカメラの電源を入れて撮影したり、かばんの中にカメラを入れたまま電源を入れて画像を確認したりできます。

1 **スマートフォンとBluetooth接続する**(P225)

2 **カメラのメニューを設定する**

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]

3 **カメラの電源スイッチを [OFF] にする**

4 **スマートフォンで「Image App」を起動し、Bluetooth接続可能な状態(スタンバイ)にする**

5 **スマートフォンを操作する**

❶ [⌂] を選ぶ
❷ [リモート操作] を選ぶ

● カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続をします。
– (iOS機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

■ カメラの電源を切る

スマートフォンを操作する

❶ [⌂] を選ぶ
❷ [⏻ OFF] を選ぶ

● [リモート起動] を [ON] に設定した場合、カメラの電源を切ってもBluetooth機能が働くため、バッテリーが消耗します。

リモート撮影

必要な無線接続： Wi-Fi

離れた場所のカメラのライブビュー映像を確認しながら、スマートフォンで撮影できます。

1　スマートフォンと接続する(P227)

2　スマートフォンを操作する

すでにBluetooth接続している場合は、[⌂] → [リモート操作] を選んでください。

（iOS機器）スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

❶ [ ]を選ぶ

❷ 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

■ リモート撮影中の操作方法

リモート撮影中にカメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [リモート優先操作設定]

カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 ● ダイヤルなどの設定は、スマートフォンで変更できません。
スマートフォン	スマートフォンだけで操作できます。 ● ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 ● リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

● 接続中は設定を変更できません。

こんなときは使用できません

● 以下の場合、リモート撮影ができません。
- シーンガイドモードの [パノラマで撮る]※
- インターバル撮影時

※ [リモート優先操作設定] を [ ] (スマートフォン) に設定した場合は、一時的にプログラムAEモードに切り換えてリモート撮影できます。リモート操作の終了後は元に戻ります。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

シャッターリモコン

必要な無線接続： Bluetooth

スマートフォンをシャッターリモコンとして使うことができます。

1　スマートフォンとBluetooth接続する(P225)

2　スマートフォンを操作する

❶ [⌂]を選ぶ

❷ [シャッターリモコン]を選ぶ

❸ 撮影する

B(バルブ)について

マニュアル露出モードでシャッタースピードを[B](バルブ)に設定すると、B(バルブ)撮影ができます。(最大30分間)
撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるので、星空や夜景の撮影に便利です。

スマートフォンを操作する

❶ [📷]を押して、撮影を開始する(押したまま、指を離さない)

❷ [📷]から指を離して、撮影を終了する

- [📷]をLOCK方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。([📷]を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します)
- B(バルブ)撮影中にBluetooth接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。

- 「Image App」の[シャッターリモコン]の操作について詳しくは、「Image App」の「ヘルプ」をお読みください。
- [シャッターリモコン]は、カメラの電源スイッチが[ON]のときに使うことができます。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。
- 撮影中に[スリープモード]が働いてカメラの電源が切れたときは、スマートフォンで再度[シャッターリモコン]を選択すると、電源を入れ直すことができます。(ただし、以下の設定をする必要があります)
  - [リモート起動]:[ON]
  - [自動画像転送]:[OFF]
- [シャッターリモコン]を使ってカメラの電源を入れることはできません。

■ [スリープモード]からの復帰時間を短くする

スマートフォンを使って[スリープモード]から復帰するときに、優先して使うスマートフォンの機能を選びます。

準備： [Bluetooth]と[リモート起動]を[ON]に設定する。(P231)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [スリープモードからの復帰動作]

リモート操作/画像転送優先	[リモート操作]や[画像転送]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

撮影画像の再生/保存

必要な無線接続： Wi-Fi

1 スマートフォンと接続する(P227)

2 スマートフォンを操作する

すでにBluetooth接続している場合は、[ ]→[リモート操作]を選んでください。

(iOS機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

❶ [ ]を選ぶ

- 画面左上のアイコン(Ⓐ)で、表示する画像を切り換えることができます。カメラの画像を表示するには[LUMIX]を選んでください。

(再生する)

❷ 画像をタッチして拡大する

- 動画再生時は、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンの性能や周囲の環境によって、動画や写真を再生するときに画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

(保存する)

❸ 画像を長めにタッチして、ドラッグする

- RAW形式の写真を保存するには、Android 7.0以上、iOS 10.0以上のOSが必要です。
- スマートフォンまたはOSのバージョンによっては、RAW形式の写真が正しく表示されない場合があります。
- 以下の画像は保存できません。
  - AVCHD動画、4K動画
  - 4K連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像

目次
MENU メニューガイド
さくいん

撮影画像の自動転送

必要な無線接続： Bluetooth Wi-Fi

Bluetoothで接続したスマートフォンに、撮影した画像をWi-Fiで自動転送します。

1 スマートフォンとBluetooth接続する(P225)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラにWi-Fi接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

3 スマートフォンで [はい]（Android機器）または [Wi-Fi設定]（iOS機器）を選ぶ

- 自動でWi-Fi接続します。
  - （iOS機器）スマートフォンに表示されるメッセージに従ってWi-Fi設定画面で接続先を変更してください。

4 カメラで送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには、[DISP.] ボタンを押してください。(P240)
- 自動画像転送できる状態になり、撮影画面に [ ] が表示されます。（表示されないときは自動画像転送できません。スマートフォンとのWi-Fi接続状況をご確認ください）

5 カメラで写真を撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイルを送信中は [ ] が表示されます。

カメラの [Bluetooth] と [自動画像転送] を [ON] に設定しているときにカメラの電源を入れると、スマートフォンとWi-Fi/Bluetoothの接続を自動で行います。
スマートフォンで「Image App」を起動して、カメラと接続してください。

■ 自動画像転送を終了する

手順2で [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。

- **[自動画像転送] が [ON] の場合、セットアップメニューの [Wi-Fi] の [Wi-Fi機能] が使用できません。**
- 画像を転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
  - 電源を入れ直す前にカードを入れ換えた場合など、送信していないファイルの保存状況が変化すると再送信できないことがあります。
  - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを再送信できないことがあります。
- RAW形式の写真を保存するには、Android 7.0 以上、iOS 10.0 以上の OS が必要です。
- スマートフォンまたはOSのバージョンによっては、RAW形式の写真が正しく表示されない場合があります。
- 以下の画像は自動画像転送ができません。
  - 動画
  - 4K連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

位置情報の記録

必要な無線接続： Bluetooth

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信することで、位置情報を書き込みながら撮影します。

❶ 位置情報を取得　❷ 位置情報を送信　❸ 位置情報を書き込みながら撮影

準備： スマートフォンのGPS機能を有効にする。

1 スマートフォンとBluetooth接続する(P225)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報が記録できる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS] が半透明で表示されるときは

位置情報が取得できていないので書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンのGPSが測位できない場合があります。

- 空を広く見渡せる場所などの測位しやすい場所に移動してお試しください。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。
- **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

こんなときは使用できません

- AVCHD動画には、位置情報が書き込まれません。

自動時刻合わせ

必要な無線接続： Bluetooth

カメラのセットアップメニューの[時計設定]と、[ワールドタイム]の[ホーム]または[旅行先]を、スマートフォンの設定に合わせます。

1 スマートフォンとBluetooth接続する(P225)

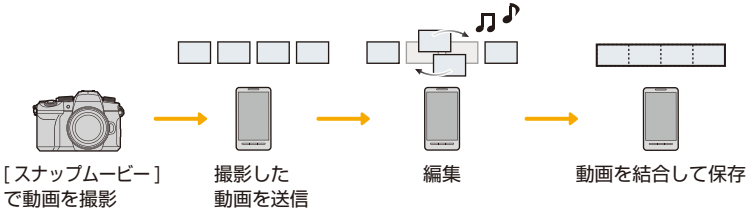
2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]

スナップムービーで撮影した動画の編集

必要な無線接続： Wi-Fi

スマートフォンを使って、カメラの[スナップムービー]で撮影した動画(P150)をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。



■ スマートフォンを操作して動画を結合する

1 スマートフォンと接続する(P227)

2 スマートフォンを操作する

すでにBluetooth接続している場合は、[⌂] → [リモート操作] を選んでください。

（iOS機器）スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

❶ [⌂]を選ぶ

❷ [SNAP ▶■] を選ぶ

- スマートフォンに表示されるメッセージに従って、[スナップムービー]で撮影した動画をスマートフォンに送信してください。

❸ スマートフォンを操作して動画を編集する

- 「Image App」の[スナップムービー]の操作について詳しくは、「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

テレビに写真を映す

お部屋ジャンプリンクや DLNA(DMR)に対応したテレビに写真を表示できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→ [Wi-Fi機能]→
[新規に接続する]→[TVで見る]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続] を選び、接続する(P246、248)

3 接続したい機器を選ぶ

- 接続が完了すると画面が表示されます。

4 本機で撮影する、または写真を再生する

- メニューを設定して、接続を終了してください。
  MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[はい]
  ([Wi-Fi]ボタンを押しても、接続を終了できます)

- Wi-Fi 機能を使って表示する場合は、4Kの出力解像度で出力できません。4Kの出力解像度で出力するには、HDMIマイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P252)
- 本機との接続中に、一時的に接続前の状態に戻ることがあります。撮影または再生すると再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、[効果]と[音設定]を設定していても、テレビには反映されません。

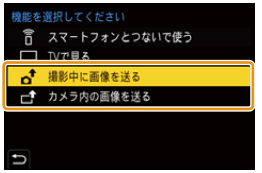
こんなときは使用できません

- 動画、4K連写ファイルは再生できません。
- サムネイル表示画面などの一部の画面では、本機に表示されている画像はテレビに表示されません。
- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定した場合、[Wi-Fi 機能]が使用できません。

カメラから画像を送る

[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。

MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る]



■ 送信できる画像

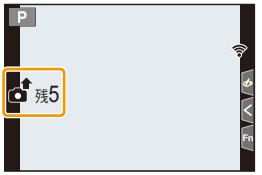
送信先	JPEG	RAW	MP4※1	AVCHD※1、2	4K連写ファイル※1 フォーカスセレクト撮影した画像※1
スマートフォン	○	○※3	○※4	×	×
PC	○	○	○	○	○
AV機器	○	×	×	×	×
プリンター※1	○	×	×	×	×

※1 [撮影中に画像を送る]選択時は送信できません。
※2 ファイルサイズが4 GBを超える場合は、送信できません。
※3 Android 7.0以上、iOS 10.0以上のOSが必要です。
※4 4K動画を除く
- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生について詳しくは、送信先機器の取扱説明書をご参照ください。

■ 撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイルの送信中は、[ ] が表示されます。
- メニューを設定して、接続を終了してください。

  MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[はい]
- 写真の送信中は、送信設定を変更できません。



- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信されなかったファイルは再送信されません。
- 送信中は、ファイルの消去や再生メニューが使用できない場合があります。

こんなときは使用できません
- インターバル撮影時は、Wi-Fi接続を終了するため使用できません。

■ カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送ることができます。

[1枚選択]選択時

1　画像を選ぶ

2　[決定]を選ぶ

[複数選択]選択時

1　画像を選ぶ（繰り返す）

- もう一度選ぶと設定が解除されます。

2　[実行]を選ぶ

- 接続を終了する場合は、[終了]を選んでください。

こんなときは使用できません

- 他の機器で撮影した画像やパソコンで編集･加工した画像は、送信できない場合があります。

■ 画像の送信設定

接続が完了したあとに[DISP.]ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更できます。

送信サイズ	送信する画像サイズを変更します。 **[元画像]、[変更]（[M]、[S]または[VGA]）**
送信ファイル形式 （送信先:[スマートフォン]、[PC]）	**[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]**

スマートフォンに画像を送る

準備：「Image App」をインストールする。(P224)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [スマートフォン]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P246、248)

（スマートフォン側）

[ネットワーク経由] で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選ぶ
❸ 「Image App」を起動する

[直接接続] の [WPS 接続] で接続する場合

❶ 「Image App」を起動する
- お使いのスマートフォンがWPSに対応しているかについては、スマートフォンの取扱説明書をお読みください。

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ カメラの画面に表示されているSSIDと同じものを選ぶ
❸ 「Image App」を起動する

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合 [DISP.] ボタンを押してください。(P240)

5

[撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る(P239)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ(P240)

こんなときは使用できません

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定した場合、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

ワイヤレスでプリントする

写真を PictBridge(ワイヤレス LAN)※ に対応したプリンターで印刷できます。
※ DPS over IP 規格準拠
- PictBridge(ワイヤレスLAN)対応のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P246、248)

3 接続したいプリンターを選ぶ

4 画像を選んでプリントする

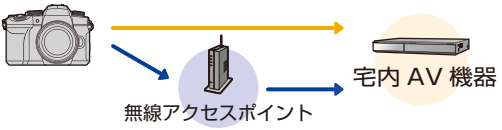
- 画像の選び方はUSB接続ケーブルで接続した場合と同じです。(P261)
- 接続を終了するには、[↩]ボタンを押してください。
  ([Wi-Fi]ボタンを押しても、接続を終了できます)

こんなときは使用できません

- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定した場合、[Wi-Fi 機能]が使用できません。

AV機器に画像を送る

お部屋ジャンプリンクやDLNAに対応したレコーダーなど、家の中にあるAV機器(宅内AV機器)に写真や動画を送ることができます。



1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[新規に接続する]→[撮影中に画像を送る]または[カメラ内の画像を送る]→[AV機器]

2 [ネットワーク経由]または[直接接続] を選び、接続する(P246、248)

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定]を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.]ボタンを押してください。(P240)

5

[撮影中に画像を送る]選択時

写真を撮る(P239)

[カメラ内の画像を送る]選択時

画像を選ぶ(P240)

- AV機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。

こんなときは使用できません

- [Bluetooth]の[自動画像転送]を[ON]に設定した場合、[Wi-Fi 機能]が使用できません。

パソコンに画像を送る

準備:

- パソコンの電源を入れる。
- パソコンで受信するフォルダーを設定する。(下記)
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC接続設定]で本機の設定も変更する。(P250)

■ 画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのアカウント名(254文字以内)とパスワード(32文字以内)は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、受信するフォルダーを作成できない場合があります。

PHOTOfunSTUDIOを使用する場合

1 **PHOTOfunSTUDIOをインストールする**(P256)

2 **PHOTOfunSTUDIOで受信するフォルダーを作成する**

- 詳しくは、PHOTOfunSTUDIOの取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

PHOTOfunSTUDIOを使用しない場合

(Windows をお使いの場合)
対応 OS:Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7
例)Windows 7

1 **受信するフォルダーを選択し、右クリックする**

2 **「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする**

- 詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)
対応 OS:OS X v10.5 ～ v10.11、macOS 10.12 ～ 10.14
例)OS X v10.8

1 **受信するフォルダーを選択し、以下の順にクリックする**
「ファイル」→「情報を見る」

2 **フォルダーに共有の設定をする**

- 設定方法について詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書やOSのヘルプをご参照ください。

■ パソコンに画像を送る

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [PC]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P246、248)

3 接続したいパソコンのコンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)を入力する

4 送信するフォルダーを選ぶ

5 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。(P240)

6 [撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る(P239)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ(P240)

- 受信するフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを入力する画面が表示された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名(Macの場合はNetBIOS名)にスペース(空白文字)などが入っていると、認識できないことがあります。その場合は、15文字以内の英数字に変更することをお勧めします。
- OSおよびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

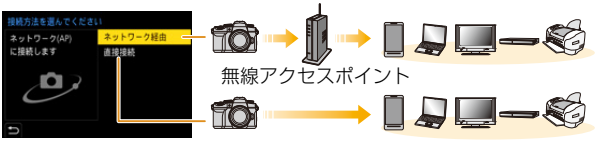
こんなときは使用できません

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定した場合、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

Wi-Fi接続

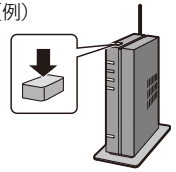
接続には以下の種類があります。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

新規に接続する	Wi-Fi機能や送信先を選択して接続します。以下のような画面が表示されたら、接続方法を選んでください。  ● [ネットワーク経由](下記): 無線アクセスポイントを経由して接続します。 ● [直接接続](P248): お使いの機器と本機を直接接続します。
履歴から接続する / お気に入りから接続する	以前と同じ設定で接続します。(P249)

ネットワーク経由

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

WPS (プッシュボタン)	WPSマークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す** (例) 
WPS (PINコード)	WPSマークがあり、PINコード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **1 カメラで無線アクセスポイントを選ぶ** **2 カメラの画面に表示されているPINコードを、無線アクセスポイントに入力する** **3 カメラの [MENU/SET] ボタンを押す**
一覧から選ぶ	WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。(P247)

- 初回接続時以外は、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続先を変更する場合は、[DISP.] ボタンを押してください。
- WPS とは、無線LAN機器の接続やセキュリティーの設定を簡単にできる機能です。
  操作方法やWPSに対応しているかどうかについて詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

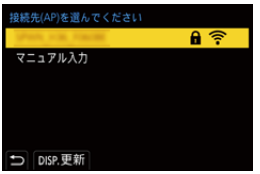
一覧から選ぶ

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 無線アクセスポイントのネットワーク認証が暗号化されている場合は、無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

1　無線アクセスポイントを選ぶ

- 無線アクセスポイントを再検索するには、[DISP.]ボタンを押してください。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は下記の「マニュアル入力で接続する」をお読みください。



2　（ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法：(P56)

■ マニュアル入力で接続する

- 接続する無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

❶ 上記の手順**1**の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ

❷ 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
- 文字の入力方法：(P56)

❸ ネットワークの認証方式を選ぶ

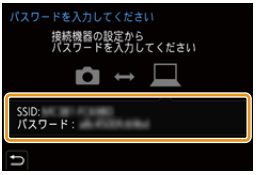
WPA2-PSK	対応する暗号化方式：TKIP、AES
WPA2/WPA-PSK	
暗号化なし	–

❹ （[暗号化なし]以外選択時）
暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P274)、「Q&A 故障かな？と思ったら」(P276)をお読みください。
- お使いの環境によっては、無線アクセスポイントとの通信速度が低下することや、無線アクセスポイントが利用できないことがあります。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

直接接続

WPS 接続	[WPS（プッシュボタン）] **1** カメラの画面で [WPS（プッシュ ボタン）] を選ぶ **2** 機器を WPS モードにする ● 接続待ちの状態を延長するには、本機の [DISP.] ボタンを押してください。
	[WPS（PINコード）] **1** カメラの画面で [WPS（PINコード）] を選ぶ **2** 機器の PINコードをカメラに入力する
手動接続	カメラに表示されているSSIDとパスワードを機器に入力する ● [Wi-Fiパスワード] を [OFF] に設定し、接続先を [スマートフォン] にした場合、パスワードが表示されません。SSIDを選んで接続してください。(P227) 

● 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定でWi-Fi接続する

Wi-Fi機能を使うとWi-Fi接続の履歴が保存されます。履歴から接続すると、以前と同じWi-Fi接続設定で簡単に接続できます。

- 接続する機器の設定を変更した場合、接続できないことがあります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

履歴から接続する	以前に使用した設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

- 接続の詳細を表示するには、[DISP.] ボタンを押してください。

お気に入り登録

❶ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

❷ 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す

❸ 登録名を入力する

- 文字の入力方法: (P56)
- 入力できる文字数は最大30文字です。2バイト文字は2文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目の編集

❶ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [お気に入りから接続する]

❷ 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選びます。
登録名を変える	● 文字の入力方法: (P56)

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- [ネットワーク設定リセット] をすると履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続] を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する] で接続し直してください。(P224)
- 多くの機器が使用しているネットワークには接続しにくい場合があります。その場合は、[新規に接続する] で接続してください。

Wi-Fi設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定をします。
Wi-Fi接続中は 設定を変更できません。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

[リモート優先操作設定]

リモート撮影時に、カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(P232)

[Wi-Fiパスワード]

スマートフォンと直接接続する際にパスワードの入力が必要になり、セキュリティーを強化できます。

ON	SSIDとパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P228)
OFF	SSIDを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P227)

- [ON]に設定した場合はQRコードを読み取って接続することもできます。

[PC接続設定]

ワークグループを設定できます。パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。
(お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています)

❶ [MENU/SET]ボタンを押す
❷ 接続するパソコンのワークグループ名を入力する
- 文字の入力方法:(P56)

- お買い上げ時の設定に戻すには、[DISP.]ボタンを押してください。

[機器名称]

本機の名前(SSID)を変更できます。

❶ [DISP.]ボタンを押す
❷ 任意の機器名称を入力する
- 文字の入力方法:(P56)
- 入力できる文字数は最大32文字です。

[Wi-Fi機能ロック]

誤操作、第三者によるWi-Fi機能の使用の防止および設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。

設定	数字4桁で任意のパスワードを設定します。 ● 文字の入力方法：(P56)
解除	パスワードを解除します。

- パスワードを設定すると、Wi-Fi機能を使用する際に、パスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れてしまった場合、セットアップメニューの[ネットワーク設定リセット]をするとパスワードをリセットできます。

[ネットワークアドレス表示]

本機のMACアドレスとIPアドレスを表示します。

- 「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。
- 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）

4K動画を他機器で見る/残す

4K動画を見る

■ テレビで見る

本機と4K動画対応テレビを接続し、本機で撮影した4K動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。

準備:

- [HDMI 出力解像度 (再生時)](P202)を[AUTO]または[4K/30p]の解像度に設定する。
- 4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定する。

HDMIマイクロケーブルで本機と4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P253)

- [ビエラリンク]を[ON]に設定し、ビエラリンク対応テレビに接続すると、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、255 ページをお読みください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

■ パソコンで見る

4K動画をパソコンで再生する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

- 4K動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

4K動画を残す

■ パソコンに残す

4K 動画をパソコンに取り込むには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

- 詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。

■ 当社製ブルーレイディスクレコーダーに残す

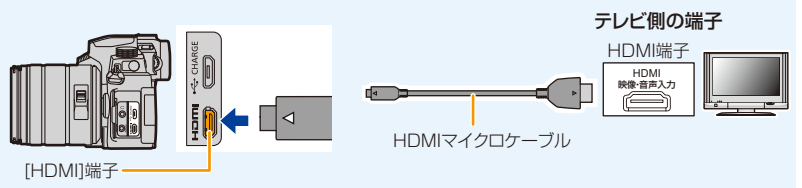
4K動画は、4K動画取り込みに対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクにダビングできます。(P260)

テレビで見る

準備： カメラとテレビの電源を切る。

1 HDMIマイクロケーブルで本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル（2 mまで）をお使いください。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

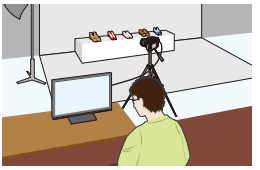
3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- [画像横縦比] によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- [HDMI出力解像度（再生時）] (P202) を確認してください。
- 24p動画を再生時は [HDMI出力解像度（再生時）] を [AUTO] に設定してください。[AUTO] 以外に設定していると、24コマ/秒では出力できません。
- 本機のモニター/ファインダーに画像は表示されません。また、本機のスピーカーから音声は出ません。
- USB接続ケーブル（付属）と同時に接続すると、[HDMI] 端子は働きません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

カメラの映像をモニターしながら撮る

HDMI出力時は、外部モニターやテレビなどでモニターしながら写真や動画を撮影できます。



■ HDMI 出力時の情報表示を設定する

HDMI 接続した外部機器に、カメラの情報表示を出力する / しないを選びます。

MENU ボタン → [セットアップ] → [テレビ接続設定] → [HDMI 情報表示(撮影時)]
設定:[ON]/[OFF]

- 撮影時に HDMI 出力する場合、接続する機器に合わせて自動で出力する画質を切り換えます。ただし、以下の場合は動画メニューの[画質設定]に合わせて出力します。(接続する機器が対応していない設定の場合、機器に合わせて自動で出力する画質を切り換えます)
  - 動画撮影時
  - クリエイティブ動画モード時
  - [記録枠表示]を[ ]に設定したとき
- 撮影メニューの[画像横縦比]は、[16:9]に固定されます。
- 4K動画に対応した外部モニターやテレビに接続した場合、以下の設定をすると通常よりもさらに画角が狭くなります。
  - [画質設定]の[4K/100M/30p]/[4K/100M/24p]
  - 4Kライブクロップ
- AFモードの [[+]] 選択時、および MFアシスト中は、拡大表示が出力されません。
- EXテレコン(動画)は働きません。(クリエイティブ動画モードを除く)
- 電子音や電子シャッター音は鳴りません。
- 本機をテレビに接続して映像や音声を確認するとき、テレビのスピーカーから出る音を本機のマイクが拾い、異常音(ハウリング)が発生することがあります。
  その場合は本機をテレビから離すか、テレビの音量を下げてお使いください。
- HDMI出力中に Wi-Fi接続した場合、カメラのモニターに映像は表示されません。
- 一部の設定画面は、HDMI出力されません。
- 以下の場合、HDMI出力されません。
  - パノラマ撮影中
  - 4Kフォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時

目次
MENU メニューガイド
さくいん

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

- 本機とHDMIマイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）はHDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準のHDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製HDMI CEC対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI） Ver.5に対応しています。ビエラリンク（HDMI） Ver.5とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備：

MENU ボタン→ [セットアップ]→[テレビ接続設定] →[ビエラリンク] →[ON]

1 HDMIマイクロケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ(P253)

2 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

3 テレビのリモコンで操作する

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合）

- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定]を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMI マイクロケーブル（2 mまで）をお使いください。
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、283 ページをご確認ください。

パソコンに画像を取り込む

本機をパソコンと接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくは、パソコンの取扱説明書をお読みください。

■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス(大容量記憶装置)を認識できるパソコンに接続できます。

- Windows の場合: Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7
- Mac の場合: OS X v10.5～v10.11、macOS 10.12～10.14

AVCHD動画は、ファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windowsの場合、AVCHD動画は必ず「PHOTOfunSTUDIO」を使って取り込んでください。
- Macの場合、AVCHD動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできない場合があります。(iMovieの詳細は、Appleにお問い合わせください)

ソフトウェアのダウンロード

- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応OSは2022年4月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。

PHOTOfunSTUDIO 10.0 AE

写真や動画をパソコンに取り込む、または撮影日や機種名などで分類して整理するなど、画像を管理できるソフトウェアです。さらに、DVD への画像の書き込みや、画像補正、動画の編集などもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。
有効期間中にダウンロードしてください。

- ダウンロード有効期限：2025年7月末

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs10ae.html

目次
MENU メニューガイド
さくいん

● **動作環境**

対応OS	Windows® 10(32 bit/64 bit) Windows® 8.1(32 bit/64 bit) ● 4K動画や4Kフォトをご利用の場合、Windows 10 / 8.1 の64 bit 版OSが必要です。
CPU	Pentium® 4　2.8 GHz以上
ディスプレイ	1024×768以上(1920×1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB以上(32 bit)、2 GB以上(64 bit)
ハードディスク	インストールに450 MB以上の空き容量

- 4K動画の再生・編集機能および4Kフォトの写真切り出し機能をご利用の場合、動作環境について詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDFファイル)をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」はMacでは使用できません。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAWファイルの現像や編集をするソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式(JPEG、TIFFなど)で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/

● **動作環境**

対応OS	Windows：Windows 10、Windows 8.1 (64 bit 推奨)
	Mac：macOS 10.13 ～ 10.15、11

- SILKYPIX Developer Studio の使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご参照ください。

LoiLoScope -30日間フル体験版

(Windows：Windows 10、Windows 8.1、Windows 8)

簡単に動画編集できるソフトウェアです。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。
http://loilo.tv/product/20

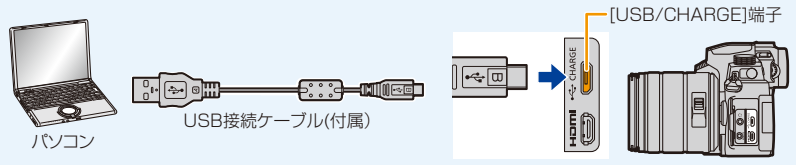
- LoiLoScopeの詳しい動作環境や使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」はMacでは使用できません。

パソコンに画像をコピーする

準備： パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする。(P256)

1　本機とパソコンの電源を入れ、付属のUSB接続ケーブルでつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。



2　▲/▼ ボタンで [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC(Storage)] に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

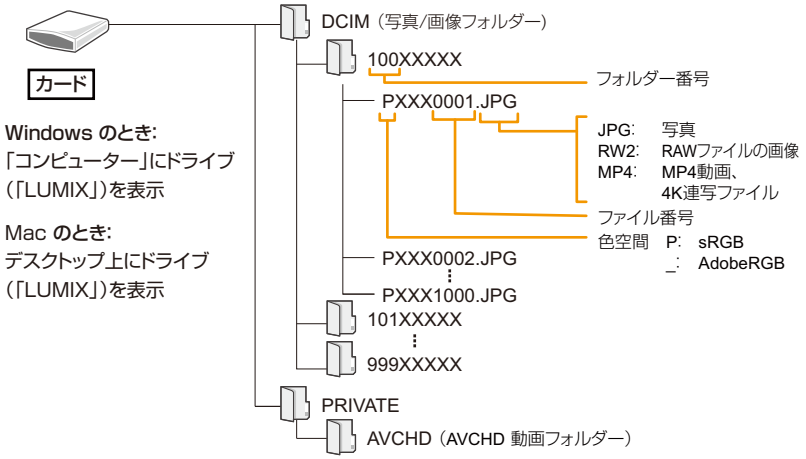
3　「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーは、Windowsのエクスプローラーなどで消去や移動をしないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。
  撮影データが壊れるおそれがあります。
- 十分に充電されたバッテリー、またはACアダプター（別売：DMW-AC10）とDCカプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。
- バッテリー使用時は、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。
  USB接続ケーブルを安全に取り外してください。撮影データが壊れるおそれがあります。

■ カード内のフォルダー構造

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存できます。



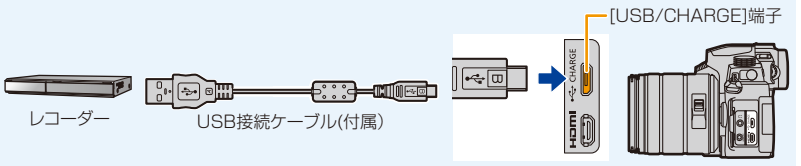
レコーダーにダビングする

本機を当社製ブルーレイディスクレコーダーまたはDVDレコーダーを接続すると、写真や動画をレコーダーに残すことができます。

準備： 本機とレコーダーの電源を入れる。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とレコーダーをつなぐ

- 端子の向きを確認し、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  (斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。



2 ▲/▼ ボタンで [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC (Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にレコーダーと接続します。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 レコーダーを操作してダビングする

- ダビングや再生の方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- お使いのレコーダーによっては、4K動画などのモードに対応していない場合があります。

- 十分に充電されたバッテリー、またはACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。すぐに取り込みを中止してください。撮影データが壊れるおそれがあります。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

プリントする

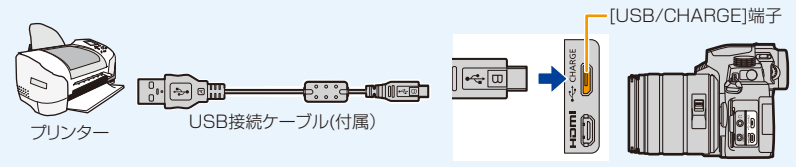
本機を PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：

- あらかじめプリンター側で印字品質などを設定する。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

1 USB接続ケーブル（付属）で本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認し、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。



- [ ]（ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
  （プリンターによって表示されない場合があります）

2 ▲/▼ ボタンで [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数の画像を選んでプリントする

1 「プリントする」の手順 3 で ▲ ボタンを押して複数プリントに設定する

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す。 （設定を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください） ● 選択が終了したら、[DISP.] ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
レーティング	[★1]～[★5] に [レーティング] 設定されたすべての画像をプリントします。

3 ▲/▼ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像は、グループ単位ではなく1枚ずつ表示されます。
- プリント終了後、USB 接続ケーブルを抜いてください。
- 十分に充電されたバッテリー、またはACアダプター（別売：DMW-AC10）とDCカプラー（別売：DMW-DCC8）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB 接続ケーブルを抜いてください。
  撮影データが壊れるおそれがあります。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中に黄色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAW画像をプリントすると、同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。
  JPEG画像が記録されていない場合は、プリントできません。

こんなときは使用できません

- 動画、4K連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。

■ 本機でプリントの各種設定をする

プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。[プリント開始]を選ぶ前に設定してください。

日付プリント	ON（日付プリントする）/OFF
プリント枚数	枚数を設定（最大999枚）
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしまたは複数印刷を設定します。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウト設定でプリントしたい場合は、本機の用紙サイズ、レイアウト設定を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。
  （詳しくはプリンターの取扱説明書をお読みください）

写真に日付や文字を入れる

再生メニューの[文字焼き込み]で日付や日時を写真に焼き込むことができます。

■ [文字焼き込み]を使わずに日付プリントする

お店に依頼する場合：

撮影日時だけ印刷できます。お店で日付プリントを指定してください。
以下のメニューで入力した文字は、お店でプリントできません。

- [個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]、[名前]
- [トラベル日付]の[旅行先]
- [タイトル入力]

自宅でプリントする場合：

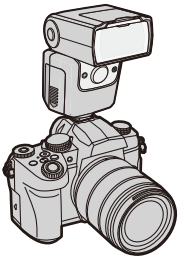
日付プリント対応プリンターをお使いの場合は、本機で[日付プリント](P262)を[ON]に設定すると、撮影日時を印刷できます。
ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。

別売品を使う

外部フラッシュ(別売)

フラッシュライト(別売:DMW-FL580L、DMW-FL360L、DMW-FL200L)を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

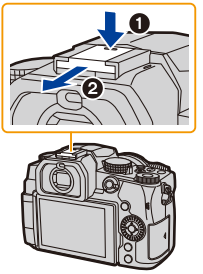
準備: 内蔵フラッシュを閉じ、電源スイッチを[OFF]にする。



ホットシューカバーの取り外し

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。

ホットシューカバーを矢印❶の方向に押しながら、矢印❷の方向に引いて取り外す



- 本機で外部フラッシュの設定をする場合は:(P138)
- ワイヤレスフラッシュの設定については:(P142)

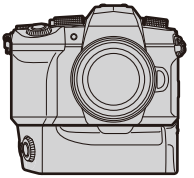
本体との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先AEまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値とISO感度を外部フラッシュ側でも設定してください。(シャッター優先AEモードでは絞り値が変化するので適正な露出が得られません。またプログラムAEモードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません)

- 外部フラッシュを装着すると、フラッシュ撮影時でも以下の機能を使用できます。
  - 絞りブラケット
  - フォーカスブラケット
- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、極性が逆のもの、またはカメラとの通信機能のあるものは使用しないでください。カメラを故障させる原因になる場合や、正常に動作しない場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持たないようにしてください。脱落のおそれがあります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

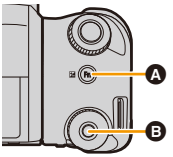
バッテリーグリップ（別売）

バッテリーグリップ（別売：DMW-BGG1）をカメラに装着すると、縦位置撮影の操作性やホールド感を向上できます。また、バッテリーグリップにバッテリーを装着することで、長時間の撮影でも安定して電源を供給できます。
バッテリーグリップ（別売：DMW-BGG1）には、バッテリーパック（DMW-BLC12）が付属します。



■ バッテリーグリップのボタン動作

本機にバッテリーグリップを取り付けた場合、バッテリーグリップのボタン動作が以下のようになります。



Ⓐ [☒]（露出補正）ボタン/[Fn] ボタン：
露出補正ボタンとして動作します。

Ⓑ ファンクションボタン：
Fn1ボタンと同じ働きをします。

■ 優先的に使用するバッテリーを選ぶ

準備： カメラの電源を切り、バッテリーグリップ接点カバーを外す。

❶ カメラにバッテリーグリップを取り付ける
❷ カメラの電源を入れる
❸ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [バッテリー使用順序]

[本体優先]： カメラ側のバッテリーを先に使用します。
[BG 優先]： バッテリーグリップ側のバッテリーを先に使用します。

- バッテリーグリップ側のバッテリーを使用中は、画面に[BG]が表示されます。
- バッテリーグリップ接点カバーが外れにくいときは、カメラの溝があるほうの角を中央へ向けて外してください。
- 詳しくは、バッテリーグリップの取扱説明書をお読みください。

シャッターリモコン（別売）

シャッターリモコン（別売：DMW-RS2）をカメラの[REMOTE]端子につないで、以下の使い方ができます。
- シャッターボタン全押し時の手ブレを防止する
- バルブ撮影や連写時にシャッターボタンを固定する
- 動画撮影を開始/終了する

■ シャッターリモコンの動画ボタン

動画を撮影しないときは、動画ボタンを無効にして、誤操作を防止できます。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作] → [リモコンの動画ボタン]

設定：[ON]/[OFF]

- 詳しくは、シャッターリモコンの取扱説明書をお読みください。

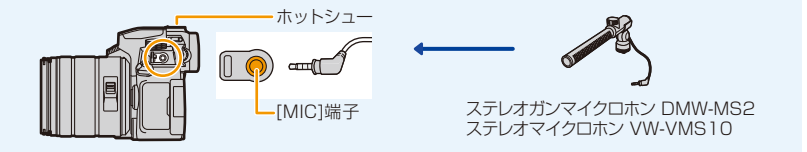
こんなときは使用できません

- 以下の場合、シャッターリモコンでは操作できません。
  - [スリープモード]、[スリープモード Wi-Fi]、[省電力ファインダー撮影]を解除するとき

外部マイク（別売）

ステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）やステレオマイクロホン（別売：VW-VMS10）を使用すると、内蔵マイクに比べて高音質の音声が録音できます。

準備： 内蔵フラッシュを閉じて、カメラの電源スイッチを[OFF]にする。



- ステレオマイクロホンケーブルは 3 m未満をご使用ください。
- カメラに取り付ける場合は、ホットシューカバーを取り外してください。(P264)

■ 専用マイク設定

カメラにステレオガンマイクロホン（別売：DMW-MS2）を取り付けると、[専用マイク設定]でマイクの収音する範囲を設定できます。

❶ カメラにステレオガンマイクロホンを取り付ける
❷ カメラの電源を入れる

❸ メニューを設定する

MENU ボタン→ [動画]→[専用マイク設定]

ステレオ	広い範囲の音をステレオで収音できます。
レンズ連動	レンズの画角に合わせた範囲の音を収音できます。
ガン	周囲の雑音を拾いにくくし、一定方向の音を収音できます。
スーパーガン	[ガン]よりもさらに狭い範囲の一定方向の音を収音できます。
マニュアル	手動で設定した範囲の音を収音できます。

❹ ([マニュアル]選択時)
◀/▶ ボタンで範囲を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 風音低減

外部マイク使用時の風雑音を低減できます。

MENU ボタン→ [動画]→[風音低減]

設定: [強]、[中]、[弱]、[OFF]

- 外部マイクを接続した場合に使用できます。
- [風音低減]を設定すると、通常と音質が変わることがあります。

- 外部マイク接続中は、画面に[ ]が表示されます。
- 外部マイクを接続すると、[録音レベル表示]が自動的に[ON]になり、画面に録音レベルが表示されます。
- 外部マイク装着時は、外部マイクだけを持たないでください。脱落のおそれがあります。
- 外部マイク装着時は、内蔵フラッシュを開かないでください。
- ACアダプター(別売)使用時にノイズなどが記録される場合は、バッテリーをご使用ください。
- ステレオマイクロホン(別売: VW-VMS10)を装着した場合、[専用マイク設定]は[ステレオ]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[レンズ連動]、[スーパーガン]、[マニュアル]に設定した場合、動画メニューの[音声モニタリング]は[記録音]に固定されます。
- [専用マイク設定]を[マニュアル]に設定した場合、Fnボタン機能の[マイク指向性調整]を使用できます。設定したFnボタンを押すと、範囲の設定画面が表示されます。
- 詳しくは、外部マイクの取扱説明書をお読みください。

ACアダプター(別売)/DCカプラー(別売)

ACアダプター(別売:DMW-AC10)とDCカプラー(別売:DMW-DCC8)を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。
ACアダプターとDCカプラーは、必ずセットでお買い求めください。単独では使用できません。

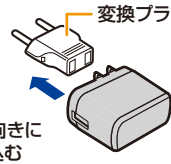
- **DCカプラー装着時、DCカプラー扉が開くため、防じん防滴構造ではなくなります。**砂やほこり、水滴などが付着、侵入しないようにお気をつけください。使用後は、DCカプラー扉に異物が付着していないことを確認し、しっかりと閉じてください。
- 詳しくは、ACアダプターおよびDCカプラーの取扱説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

ACアダプター(付属)は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

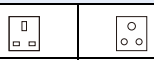
- 電源電圧(100 V～240 V)、電源周波数(50 Hz、60 Hz)でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。
  変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは、ACアダプター(付属)と変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■ 変換プラグの付け方



■ 主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

北米											
アメリカ合衆国	A	カナダ	A	ハワイ	A						
ヨーロッパ											
イギリス	BF,B3	イタリア	C(C2)	オーストリア	C(C2),SE	オランダ	C(C2),SE	ギリシャ	A,B,B3,C(C2),SE	スイス	A,B,C(C2),SE
スウェーデン	B,C(C2),SE	スペイン	A,C(C2),SE	デンマーク	C(C2)	ドイツ	A,C(C2),SE	ノルウェー	C(C2)	ハンガリー	C(C2)
フィンランド	B,C(C2)	フランス	A,C(C2),SE	ベルギー	B,C(C2),SE	ロシア	A,C(C2),SE				
アジア											
インド	B,BF,B3,C(C2)	インドネシア	B,B3,C(C2),SE	シンガポール	B,BF,B3	タイ	A,BF,C(C2)	大韓民国	A,C(C2),SE	台湾	A,C(C2),O
中華人民共和国	すべて	フィリピン	A,O	ベトナム	A,BF,C(C2),SE	香港特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マカオ特別行政区	B,BF,B3,C(C2)	マレーシア	B,BF,B3,C(C2)
オセアニア											
オーストラリア	O	グァム島	A	サイパン島	A	トンガ	O	ニュージーランド	O	フィジー	A,B,C(C2),O
中南米											
アルゼンチン	BF,C(C2),SE	プエルトリコ	A,BF,C(C2)	ブラジル	A,C(C2),SE	メキシコ	A,C(C2),SE				
中東・アフリカ											
アラブ首長国連邦	B,BF,B3	エジプト	BF,B3,C(C2),SE	クウェート	B,B3,C(C2)	トルコ	A,B,C(C2),SE	南アフリカ共和国	B,BF,B3,C(C2)	モロッコ	A,C(C2),SE

タイプ	A	B	BF	B3	C(C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
プラグ形状	不要です						

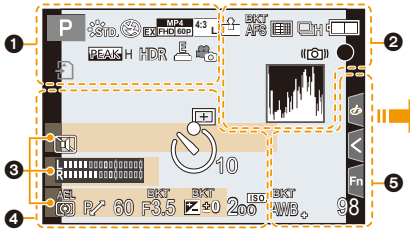
モニター/ファインダーの表示

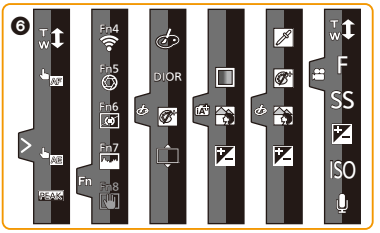
モニター/ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

表示例：[ ](モニタースタイル)に設定し、モニター表示した場合

- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時





❶

iA iA+ P A S M AF P SCN POP	撮影モード(P40)
C 1	カスタムセット(P69)
	動画撮影モード(P144)
STD.	フォトスタイル(P167)
	フラッシュモード(P138)
2nd WL	フラッシュ設定(P140、142)
MP4 EX FHD 60P	EXテレコン(動画時)(P132)
MP4 FHD 60P	記録方式/画質設定(P146)
SNAP 4SEC.	スナップムービー(P150)
4:3 L	画像横縦比(P165)/記録画素数(P166)
4:3 6M	EXテレコン(写真時)(P132)
STD. WIDE	画像サイズ([パノラマ設定])
	画像効果(フィルター)調整表示(P78、169)
POP	画像効果(フィルター)種別(P169)
	ループ記録(P106)
	カード(記録時に表示)(P27)
XXhXXmXXs	記録経過時間※1(P144)
	同時記録表示(P149)
LVF/MON AUTO	ファインダー/モニター自動切り換え(P38)
PEAK H PEAK L	ピーキング(P189)
	ハイライトシャドウ(P171)
HDR	HDR(P177)/iHDR(P59)

	多重露出(P178)
	デジタルズーム(P134)
E	電子シャッター(P176)
120fps	ハイスピード動画(P154)
	動画撮影中の写真撮影(写真優先)(P149)
	温度上昇表示(P277)

❷

RAW	クオリティ(P166)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P81、92)
BKT AFS	フォーカスブラケット(P126)
	フォーカスセレクト(P114)
	AFモード(P83)
	ピント送り(P151)
	個人認証(P194)
AFL	AFロック(P95)
H H M L	連写(P103)
4K 5/5 4K PRE	4Kフォト(P105)
10 10 2	セルフタイマー(P123)
	バッテリー残量(P24)
	給電(P23)
BG	バッテリーグリップ(P265)

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

❷（続き）

DUAL2 DUAL DUAL2 DUAL OFF	手ブレ補正(P128)
	手ブレ警告(P129)
PRE	4Kプリ連写/プリ記録(P106)
●	フォーカス(緑点灯)(P39)/記録動作(赤点灯)(P144)
LOW	フォーカス(低照度時)(P80)
STAR	フォーカス(星空AF時)(P80)
	Wi-Fi接続状態
	Bluetooth接続状態(P226)
GPS	位置情報記録(P236)
	ヒストグラム表示(P190)

❸

名前 ※2(P196)
トラベル経過日数 ※3(P198)
月齢/年齢 ※2(P196)
旅行先 ※3(P198)
現在日時/旅行先設定 ※3: (P197)
露出メーター(P192)
焦点距離表示(P135)
ステップズーム(P135)

❹

□	AFエリア(P87)
+	スポット測光ターゲット(P171)
+	センターマーカー表示(P190)
10 10 2	セルフタイマー(P123)
	録音レベル表示(P152)
LMT OFF	録音レベルリミッター(OFF)(P152)
	サイレントモード(P175)
	外部マイク(P266)
AEL	AEロック(P95)
AE	測光モード(P48、171)
P	プログラムシフト(P61)
F3.5	絞り値(P39)
BKT F3.5	絞りブラケット(P126)
60	シャッタースピード(P39)
BKT ±0	露出補正値(P96)
	露出ブラケット(P125)
	明るさ(P60、79)
	マニュアル露出アシスト(P64)
200 ISO	ISO感度(P97)

❺

BKT AWB	ホワイトバランスブラケット(P127)
	ホワイトバランスの調整(P101)
AWBc AWBw WB 1 K	ホワイトバランス(P99)
	色合い(P60)
98	記録可能枚数(P29)
r20	連続撮影可能枚数(P103)
残XXmXXs	記録可能時間 ※1(P29)

❻

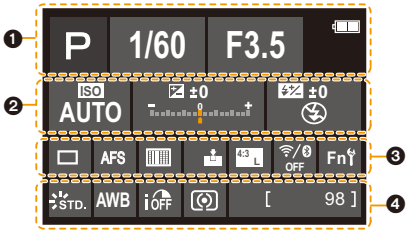
タッチタブ(P187)

	T W	タッチズーム(P136)
		タッチシャッター(P47)
	AF	タッチAF(P47)
	AE	タッチAE(P48)
	PEAK	ピーキング(P189)
Fn	Fn4	Fnボタン(P53)
/ / (P153)		色合い(P60)
		ボケ味コントロール(P60、79)
		明るさ(P60、79)
		ぼかし方(ジオラマ)(P76)
		ワンポイントカラー(P77)
		光源の位置(P77)
		画像効果(フィルター)調整(P79、169)
		画像効果の入/切(P169)
	DIOR	画像効果(フィルター)(P169)
	F	絞り値(P153)
	SS	シャッタースピード(P153)
	ISO	ISO感度(P153)
		録音レベル設定(P153)

※1　hは「hour(時)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2　[プロフィール設定]を設定した場合、電源を入れてから約5秒間表示されます。
※3　電源を入れたとき/時計を設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

撮影時

モニター撮影情報画面



❶

iA iA+ P A S M iP P SCN POP	撮影モード(P40)
	動画撮影モード(P144)
F3.5	絞り値(P39)
1/60	シャッタースピード(P39)
	バッテリー残量(P24)
	給電(P23)
	カード(記録時に表示)(P27)

❷

ISO AUTO	ISO感度(P97)
±0	露出補正値(P96)
	明るさ(P60)
	マニュアル露出アシスト(P64)
	フラッシュモード(P138)
±0 2nd WL	フラッシュ設定(P140、142)

❸

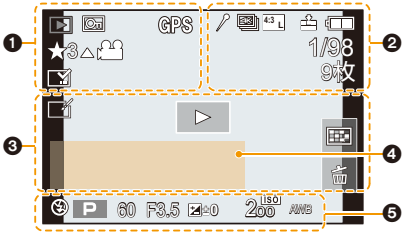
	単写(P102)
H H M L	連写(P103)
4K 4K S/S 4K PHOTO	4Kフォト(P105)
	フォーカスセレクト(P114)
10 10 2	セルフタイマー(P123)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P81、92)
	AFモード(P83)
RAW	クオリティ(P166)
4:3 L	画像横縦比(P165)/記録画素数(P166)
	Wi-Fi/Bluetooth(P221)
Fn	Fnボタン設定(P53)

❹

STD.	フォトスタイル(P167)
AWB AWBc AWBw	ホワイトバランス(P99)
iOFF	iDレンジコントロール(P172)
	測光モード(P171)
98	記録可能枚数(P29)
r20	連続撮影可能枚数(P103)
残XXmXXs	記録可能時間※(P29)
----	カードなし

※ hは「hour(時)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。

再生時



❶

	再生モード(P209)
	プロテクト(P209)
GPS	位置情報記録(P236)
★3	レーティング(P209)
	ケーブル切断禁止アイコン(P261)
	動画再生(P158)
	4K連写ファイルから写真を保存(P110)
	フォーカスセレクト撮影した画像から写真を保存(P116)
	パノラマ再生(P74)
	グループ連続再生(P162)
	フォーカスブラケット(P126、162)
	文字焼き込み済み表示(P216)
XXhXXmXXs	再生経過時間※1(P158)

❷

	マーカーあり表示(P111、113)
	4Kフォト(4K連写ファイル)(P105)
	フォーカスセレクト(P114)
	フォーカス合成(P117)
	画像横縦比(P165)/記録画素数(P166)
MP4 FHD 60P	記録方式/画質設定(P146)
SNAP	スナップムービー(P150)
120fps	ハイスピード動画(P154)
RAW	クオリティ(P166)
	バッテリー残量(P24)
	給電(P23)
BG	バッテリーグリップ(P265)
1/98	画像番号/トータル枚数
	Wi-Fi接続状態
9枚	グループ画像枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間※1(P158)

❸

	クリアレタッチ済み表示(P215)
	情報取得中アイコン
	再生(動画)(P158)
	グループ表示(P162)
	サイレントモード(P175)
1日目	トラベル経過日数(P198)
	サムネイル表示(P160)
	消去(P163)

❹

名前※2(P194、196)
旅行先※2(P198)
タイトル※2(P210)
月齢/年齢(P194、196)

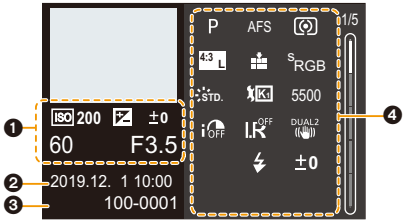
❺

撮影情報

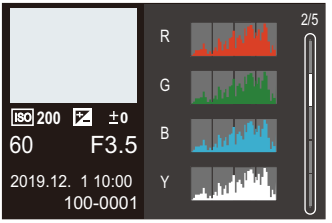
※1　hは「hour(時)」、mは「minute(分)」、sは「second(秒)」を省略した表示です。
※2　[タイトル]、[旅行先]、[名前](赤ちゃん/ペット)、[名前](個人認証)の優先順位で表示されます。

再生時

詳細情報表示

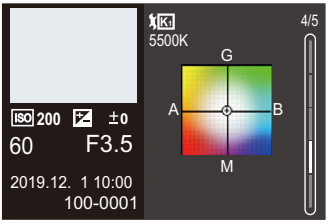


ヒストグラム表示



フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示

ホワイトバランス表示



レンズ情報表示

❶

撮影情報（基本）

❷

撮影日時/ワールドタイム(P197)

❸

100-0001	フォルダー・ファイル番号(P259)

❹

撮影情報（詳細）	
5500	ホワイトバランス(色温度)(P99)
iOFF	iDレンジコントロール(P172)
HDR ON	HDR(P177)/iHDR(P59)
I.R OFF	超解像(P173)

メッセージ表示

カメラの画面に表示される主なメッセージの意味と対処法です。

■ カード

メモリーカードエラー/フォーマットしますか？

- 本機では使用できないフォーマットです。別のカードをご使用いただくか、必要なデータをバックアップしてから本機でフォーマットしてください。(P29)

メモリーカードエラー/このカードは使用できません

- 本機に対応したカードをお使いください。(P28)

カードを入れ直してください/別のカードでお試しください

- カードにアクセスできませんでした。カードを入れ直してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー/ライトエラー/カードを確認してください

- データの読み込みまたは書き込みに失敗しました。カメラの電源を切り、カードを入れ直してから、もう一度、電源を入れてください。
- カードが壊れている可能性があります。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画、4Kフォトおよびフォーカスセレクトの撮影時に、SDカードの書き込み速度が不足しています。対応するスピードクラスのSDカードをお使いください。(P28)
- 指定されたスピードクラスのSDカードを使用しても撮影が停止する場合は、SDカードのデータ書き込み速度が低下しています。データのバックアップを取り、フォーマット(P29)することをお勧めします。
- カードの種類によっては、途中で撮影が終了することがあります。

■ レンズ

レンズが正しく装着されていません。レンズ装着時はレンズ取り外しボタンを押さないでください。

- レンズを一度取り外し、レンズ取り外しボタンを押さずに付け直してください。(P31)
  電源を入れ直し、それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

レンズと通信できませんでした。レンズとの接点が汚れていないかご確認ください。

- レンズをカメラから取り外し、レンズとカメラ両方の接点を乾いた綿棒で軽くふいてください。
  それでもメッセージが表示される場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正品のバッテリーをお使いください。それでもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部が汚れている場合は、端子部のごみやほこりを取り除いてください。

■ Wi-Fi

アクセスポイントの接続に失敗しました/接続できませんでした/送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化キーをご確認ください。(P247)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できないことがあります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、他の無線機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ネットワークが切断されました。送信を中止しました

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動で接続が切断されることがあります。接続し直してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

■ その他

消去できない画像があります/この画像は消去できません

- DCF規格に準拠していない画像は消去できません。必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(P29)

この画像には設定できません

- DCF規格に準拠していない画像は編集できません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号の上限に達したため、新しいフォルダーを作成できません。
  必要なデータをバックアップしてからカードをフォーマットしてください。(P29)フォーマットしたあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P204)

電源を入れ直してください。/システムエラー

- 電源を入れ直してください。数回繰り返してもメッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q&A　故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、まず **1** の内容をお試しください。
それでも解決できない場合は、**2**、**3**、**4** の順にお試しください。

1

本項目（Q&A）の内容を試す

「電源、バッテリー」.....P277
「撮影」.....P277
「動画」.....P279
「再生」.....P280
「モニター/ファインダー」.....P280
「フラッシュ」.....P281
「Wi-Fi機能」.....P281
「テレビ、パソコン、プリンター」.....P283
「その他」.....P284

2

カメラを初期設定に戻す

MENU ボタン→ [セットアップ]→[設定リセット]

3

パナソニックのサポートサイトを確認する

https://panasonic.jp/support/dsc/

- 最新のサポート情報を掲載しています。

4

ご相談窓口に問い合わせる

付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

電源、バッテリー

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
  - 周囲の温度が10 ℃～30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところでUSB接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

カメラの電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐに切れる。

- バッテリーが消耗しています。充電してください。(P20)

電源が勝手に切れる。

- [エコモード]が働いています。(P200)

バッテリーの消費が早い。

- [4Kプリ連写]や[プリ記録]を設定しているときは、バッテリーの消費が早くなります。撮影するときだけ設定してください。
- Wi-Fi接続中はバッテリーの消費が早くなります。[エコモード](P200)を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、続けて撮影を行った場合は、カメラの温度が上昇します。温度上昇からカメラを保護するため、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できなくなることがあります。カメラの温度が下がるまでお待ちください。
  - 4Kフォト
  - 動画撮影
  - フォーカスセレクト
  - USB接続ケーブルによる給電

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影できません。(P185)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズや撮像素子に指紋などの汚れが付くと、画像が白っぽくなることがあります。レンズが汚れたときは、カメラの電源を切り、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。撮像素子のお手入れについては、286 ページをお読みください。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

撮影した画像が明るすぎる、暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロックがかかっていないか確認してください。(P95)

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[ ](連写)に合わせているときは、シャッターボタンを押したままにすると連写されます。(P102)
- ブラケットを設定しているときは、シャッターボタンを押すと自動で設定を変えて複数枚の画像を撮影します。(P124)

ピントが合わない。

- 以下の内容を確認してください。
  - ピントが合う範囲から外れていないか。
  - [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていないか。(P183)
  - [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていないか。(P185)
  - 不適切な状態でAFロック(P95)がかかっていないか。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れが付くと、レンズにピントが合うため、被写体にピントが合わないことがあります。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。このようなときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下の内容をお試しください。
  - ISO感度を低くする(P97)
  - [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整する(P168)
  - [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定する(P174)

被写体が曲がって撮影される。

- 以下の機能を使用中は、動いている被写体を撮影すると被写体が曲がって撮影される場合があります。
  - 電子シャッター
  - 動画撮影
  - 4Kフォト

  これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(P176)使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中にちらつきや横しまが目立つ場合は、シャッタースピードを固定することで軽減できます。[フリッカー軽減](P179)を設定するか、クリエイティブ動画モード(P153)で撮影してください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

ISO感度が高いとき、横しまが出る。

- ISO感度が高いとき、使用するレンズによっては横しまが撮影されることがあります。ISO感度を低くしてください。(P97)

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下では、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するもので、異常ではありません。
- 極端に明るい場所や、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

被写体にない明るい点が画像に記録される。

- 撮像素子の画素欠けの可能性があります。[ピクセルリフレッシュ](P205)を実行してください。

動画

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- SDカードを使った動画の撮影には、対応したスピードクラスのSDカードが必要です。対応したSDカードをお使いください。(P28)

4K動画撮影時、AF でピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、AFの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 撮影環境や使用するレンズによっては、絞りやフォーカスの動作音が動画に記録されることがあります。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P147)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を塞がないでください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になるときは、クリエイティブ動画モードに設定し、タッチ操作で撮影することをお勧めします。(P153)

フォーカスが合ってない部分にピーキングが表示される。

- [フォトスタイル]を[V-Log L]などガンマカーブを調整する設定にした場合、画像のノイズ成分がピントのコントラストとして誤って検出され、ピーキング表示されることがあります。
  撮影前にMFアシストでピントを確認することをお勧めします。

フォトスタイルを[V-Log L]にして撮影した動画をポストプロダクション処理すると、輝度や色のむら、またはノイズが現れる。

- 本機の動画は4:2:0/8 bitで記録されるため、青空や人の肌、白い壁などに輝度や色のむら、またはノイズが現れる場合があります。
  事前に試し撮りを行い、ポストプロダクション処理をした映像を確認してから、撮影することをお勧めします。

再生

再生できない。撮影した画像がない。

- パソコンでフォルダーや画像を加工すると、本機で再生できません。パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使うことをお勧めします。
- [再生モード]を[通常再生]に設定してください。(P209)

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正（[ ]、[ ]）が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。フラッシュモードを[ ]に変更するか、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。(P173)

モニター/ファインダー

電源が入っているときに、モニター/ファインダーが消える。

- 設定した時間内に何も操作をしないと、[LVF/モニター自動OFF](P200)が働き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化して発生する現象です。故障ではありません。

[LVF]ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、ファインダー表示に切り換えられません。

モニター/ ファインダーに明るさや色のむらが現れる。

- 本機のモニター/ファインダーは有機ELを使用しているため、長時間同じ画面を表示すると焼き付きが発生します。記録される画像には問題ありません。
  – [エコモード](P200)や画面の消灯(P43)、アイセンサー(P38)を使うなどして、こまめに画面を切り換えてください。

モニターを斜めから見ると色が付いて見える。

- これは本機のモニターの特徴であり、異常ではありません。

ファインダーの色合いが実際とは異なる。

- これは本機のファインダーの表示方式の特徴であり、異常ではありません。記録される画像に影響はありません。

フラッシュ

フラッシュが発光しない。

- フラッシュを閉じている場合は、フラッシュを開いてください。(P137)
- [⊛](発光禁止)になっている場合、フラッシュは発光しません。(P138、139、140)

Wi-Fi機能

Wi-Fi接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用すると、電波が途切れることがあります。それらの機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- カメラを金属製のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続する無線アクセスポイントが使用可能であることを確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
  - カメラと無線アクセスポイントを近づけてください。
  - 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
  - 無線アクセスポイントの電源を入れ直してください。
  - 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で本機に対応したチャンネルに設定してください。
  - 無線アクセスポイントのSSIDが非通知に設定されていると、検出されない場合があります。SSIDを入力して接続してください。(P247)

スマートフォンのWi-Fi設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi機能を一度オフにしてから、再度オンにしてお試しください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

パソコンとWi-Fi接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- OSのバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント/Microsoftアカウント）があります。必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi接続でパソコンが認識されない。Wi-Fi機能を使用してパソコンに接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。パソコンのワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。[Wi-Fi設定]メニューの[PC接続設定]で、接続するパソコンのワークグループ名に変更してください。(P250)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているか確認してください。
- カメラと接続するパソコンの時計設定が大きくずれていると、OSによっては接続できないことがあります。
  - カメラの[時計設定]/[ワールドタイム]の設定が、Windowsの「日付と時刻」/「タイムゾーン」、またはMacの「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか確認してください。大きくずれている場合は合わせてください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
  - [送信サイズ](P240)で画像サイズを小さくして送信してください。
  - [動画分割](P219)で動画を分割して送信してください。
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
  無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P239)

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニューの[設定リセット]でネットワーク設定をリセットしてください。(P204)
  ただし、[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もすべてリセットされます。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- テレビとの接続を確認してください。(P253)
- テレビの入力をHDMI入力にしてください。

ビエラリンク（HDMI）が働かない。

- カメラの[ビエラリンク]が[ON]になっていることを確認してください。(P202)
- 接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- カメラの[USBモード]を[PC（Storage）]に設定してください。(P202)
- カメラの電源を入れ直してください。

パソコンにSDカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
  https://panasonic.jp/support/sd_w/
- パソコンと接続したときにカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合は、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてからもう一度接続してください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridge に対応していないプリンターではプリントできません。
- カメラの[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。(P202)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- お店によっては、横縦比を16:9に設定して撮影した画像を16：9のサイズでプリントできる場合があります。事前にお店にお尋ねください。

目次
MENU メニュー ガイド
さくいん

その他

カメラを振ると「カタカタ」音がする。

- この音はボディ内手ブレ補正機構によるもので、故障ではありません。

カメラを振ると装着したレンズから「カタカタ」音がする。

- レンズによっては、レンズが内部で移動する音がする場合がありますが、故障ではありません。

電源を入れたときに、カメラから音がする。

- ダストリダクション機能(P286)が動作する音で、故障ではありません。

レンズ部から音がする。

- 電源を入れたり切ったりするときに、レンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- 明るさが変化したときに絞り動作を行う音で、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF 補助光ランプ(P184)が赤く点灯します。

カメラが熱くなる。

- ご使用中、カメラの表面が多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- カメラを長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。再度時計を設定してください。(P35)

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーを取り出し、ACアダプターを一度抜いてから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

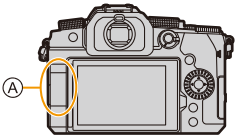
電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

磁石部(Ⓐ)に磁気の影響の受けやすいものを近づけないでください。

- 磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。



殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- 外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがあります。

ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーまたはDCカプラー(別売:DMW-DCC8)、カード(別売)を取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてから、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはがれたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾を使用する場合は、その注意書きに従ってください。

目次
MENU メニューガイド
さくいん

■ 撮像素子のごみの付着について

レンズ交換の際に、マウント内部にごみが入り込むと、撮影条件によっては、撮像素子に付着したごみが写り込む場合があります。
本体の内部にごみやほこりが付着することを防ぐため、ほこりの多い場所でのレンズ交換は避けてください。本体を保管するときは、必ずボディキャップまたはレンズを付けてください。その際、ボディキャップに付着したごみは必ず取り除いてください。

ダストリダクション機能

本機は、撮像素子前面に付着したごみやほこりを払い落とすダストリダクション機能を備えています。この機能は、電源を入れると自動的に働きます。特にごみが気になる場合は、セットアップメニューの[センサークリーニング]を実行してください。

撮像素子のごみの除去

撮像素子は非常に精密で、傷つきやすいため、やむをえずご自身でクリーニングする場合は、以下のことを必ずお守りください。

- 市販のブロワーで撮像素子の表面のほこりを吹き飛ばします。強く吹きすぎないようにしてください。
- ブロワーをレンズマウントより中に入れないでください。
- ブロワーが撮像素子に触れないようにしてください。万一、ブロワーが撮像素子に触れると傷がつきます。
- ブロワー以外のものは使用しないでください。
- ブロワーでもごみやほこりを除去できない場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

■ ファインダーのお手入れについて

ファインダーが汚れた場合は、市販のブロワーでファインダーの表面のごみを吹き飛ばしてから、乾いた布で軽くふいてください。

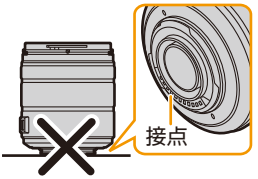
- アイカップは取り外しできませんので、お手入れの際はアイカップが外れないようお気をつけください。
- 万一、強くこすってアイカップが外れた場合は、お買い上げの販売店または修理ご相談窓口にお問い合わせください。

モニター/ファインダー

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出ることや、故障の原因になることがあります。
- 寒冷地などでカメラが冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れることや、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。また、これらの点は、カードの画像には記録されないためご安心ください。

レンズ



- レンズ面を強く押さえつけないでください。
- 太陽や強い光源にレンズを向けないでください。集光作用により、火災・故障の原因になることがあります。
- レンズ表面の汚れ（水、油、指紋など）が画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前と撮影後に、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。
- ほこりやごみの付着、侵入を防ぐため、使用しないときは、レンズキャップ、レンズリアキャップを取り付けてください。
- レンズの接点を保護するため、以下のことはしないでください。故障の原因になります。
  - レンズの接点に触れる
  - レンズの接点を汚す
  - レンズの接点を下にして置く
- 交換レンズ（H-FSA14140）は、防じん防滴性能の向上のため、マウント部にレンズマウントラバーを使用しています。
  - デジタルカメラのマウント部分にレンズマウントラバーのすれ跡が付いても、性能には問題ありません。
  - レンズマウントラバーの交換については、修理ご相談窓口にお問い合わせください。

バッテリー

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど性能への影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出してください。

- 取り出したバッテリーはポリ袋などに入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認してください。

- 端子部が変形したバッテリーをカメラに入れると、カメラを傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

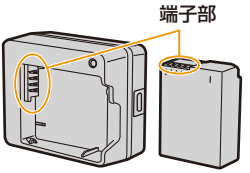
- ホームページ　http://www.jbrc.com

目次
MENU メニューガイド
さくいん

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャー、ACアダプター



- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波などの影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特にAM受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は1 m以上離してください。
- 使用中にACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントからACアダプターを抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 Wの電力を消費します）
- チャージャーやバッテリーの端子部を汚さないでください。汚れた場合は、乾いた布でふいてください。

カード

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しないでください。
カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
カードに強い振動を与えないでください。

- カードや撮影データが壊れるおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カードの端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。

カードを廃棄/譲渡するときのお願い

カメラやパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。
廃棄/譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。
カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

個人情報について

カメラ内および撮影した画像には個人情報が含まれます。個人情報の保護のため、Wi-Fiパスワードや Wi-Fi 機能ロックを設定してセキュリティーを強化することをお勧めします。（P250、251）

- **サイレントモード、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、カメラ内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を［ネットワーク設定リセット］を実行して必ず消去してください。（P204）
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。（P204）
- カメラからカードを取り出してください。
- 修理をすると、カメラが初期設定状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、カメラの操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。

カードを譲渡/廃棄する際は、288 ページの「カードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像を Webサービスにアップロードするとき

- 画像には、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。よくご確認のうえ、Webサービスに画像をアップロードしてください。

長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ずカメラから取り出してください。バッテリーを入れたままにしておくと、カメラの電源を切っていても、絶えず微少電流が流れています。そのままにしておくと過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。（推奨温度：15 ℃～25 ℃、推奨湿度：40%RH～60%RH）
- 長期間保管する場合、1 年に 1 回はバッテリーを充電し、カメラでバッテリーを使い切ってから、カメラから取り出して再保管することをお勧めします。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤（シリカゲル）と一緒に入れることをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

画像データ

- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

三脚/一脚

- カメラを取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、バッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
  無理な力で回すとカメラの三脚取り付け部を傷つけるおそれがあります。ねじを締めすぎるとカメラに傷がつくことや、定格ラベルがはがれることがあるためお気をつけください。
- 三脚/一脚によっては、カメラに径の大きなレンズを取り付けると、台座にレンズが接触するものがあります。レンズが接触した状態でねじを締めると、カメラやレンズを傷つけることがあるため、三脚アダプター（別売：DMW-TA1）を取り付けてから三脚/一脚に装着することをお勧めします。
- 三脚/一脚の取扱説明書もよくお読みください。

ショルダーストラップ

- カメラに重いレンズ（約1 kg以上）を付けた場合は、ショルダーストラップだけを持ってつり下げないでください。カメラとレンズを持って持ち運んでください。

Wi-Fi機能

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。
無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi機能は日本での利用を前提としています

本機のWi-Fi機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。
その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。
※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

- マイクロフォーサーズ™ 及びマイクロフォーサーズ ロゴマークはOMデジタルソリューションズ（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- フォーサーズ™ 及びフォーサーズ ロゴマークは OM デジタルソリューションズ（株）の日本・米国・EU・その他各国の商標または登録商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および“AVCHD Progressive” のロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentiumは、米国およびその他の国におけるIntel Corporation の商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、および Google Play は Google LLC の商標です。

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
  その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- Wi-Fi Protected Setup™ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- "Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
（ｉ）画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
（ii）個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

さくいん

あ行

アイカップ.....286
アイセンサー.....201
アイセンサー AF.....183
青空をさわやかに撮る.....71
アクセス表示.....27
圧縮率.....166
位置情報記録.....236
イルミネーションをキラキラ撮る.....72
色温度設定.....99
色空間.....170
インターバル撮影.....119
インターバル動画作成.....219
インテリジェントオートプラスモード.....57
インテリジェントオートメニュー.....59
インテリジェントオートモード.....57、58
インテリジェント ISO.....97
インプレッシブアート.....76
ヴィヴィッド.....167
動くペットをきちんと撮る.....72
後ダイヤル.....40
エコモード.....200
お気に入り登録する（Wi-Fi 接続）.....249
お手入れ.....285
音声モニタリング.....181
オートフォーカス.....80
オートフォーカスモード.....83
オートホワイトバランス.....99、100
オートマーキング.....113
オートレビュー.....188
オールドデイズ.....76

か行

回折補正.....175
ガイドライン表示.....190
外部フラッシュ.....264
外部マイク.....266
顔・瞳認識.....83、84
拡張 ISO 感度.....98
下限シャッター速度.....174
画質設定（動画撮影時）.....146
画質調整.....168
カスタムセット登録.....69
カスタムマルチ（AF）.....85
カスタムメニュー.....182
カスタムモード.....69
カスタムモードメニュー.....69
カスタム（フォトスタイル）.....167
風音キャンセラー.....180
風音低減.....267
画像回転.....219
画像サイズ（パノラマ）.....73
画像表示順.....220
画像横縦比.....165
カメラ内の画像を送る.....240
カレンダー表示.....161
ガンマ設定（フォトスタイル）.....167
カード.....26、28、288
機器名称.....250
軌跡合成.....214
輝度レベル設定.....179
逆光でしっかり撮る.....71
逆光でふんわり撮る.....71
逆光補正.....59
記録画素数.....166
記録可能時間（動画撮影時）.....25、29
記録可能枚数.....25、29
記録方式.....146
記録枠表示.....192
クイックメニュー.....51
クイック AF.....183
クオリティ.....166
クリアレタッチ.....215
クリエイティブコントロールメニュー.....75
クリエイティブコントロールモード.....75
クリエイティブ動画モード.....153
グループ画像.....162
クロスフィルター.....76
クロスプロセス.....76
言語設定.....202
光学ズーム.....132
個人認証.....194
子どもをかわいく撮る.....71
コマ撮りアニメ.....121
コマ撮りアニメ作成.....220
コントラスト.....168
コントロールダイヤル.....42

さ行

再生.....157
再生ズーム.....160
再生メニュー.....207
再生モード.....209
彩度.....168
サイレントモード.....175
撮影距離基準.....93
撮影中に画像を送る.....239
撮影方向（パノラマ）.....73
撮影メニュー.....165
撮影 / 再生切換.....54、55

サムネイル表示 160
三脚 290
サンシャイン 76
残枚数 / 残時間切換 192
シェーディング補正 174
ジオラマ 76
色調 168
自動画像転送 235
自動時刻合わせ 236
自動シーン判別 57
視度調整 38
シネライク D 167
シネライク V 167
絞りブラケット 126
絞り優先 AE モード 62
絞りリング設定 193
シャッターディレイ 176
シャッター半押しレリーズ 183
シャッター半押し AF 183
シャッター方式 176
シャッター優先 AE モード 63
シャッターリモコン 266
シャープネス 168
充電 20
消去 163
消去確認画面 220
常時プレビュー（M モード） 188
焦点距離設定 130
焦点距離表示 135
省電力ファインダー撮影 200
ショルダーストラップ 19
シルキーモノクローム 76
人物の肌をきれいに撮る 71
人物をきれいに撮る 71
人物（フォトスタイル） 167
シーンガイドモード 70
シーン切換 70
水準器調整 205
水準器表示 44
水面をキラキラ撮る 72
スイーツをかわいく撮る 72
スタンダード（フォトスタイル） 167
ステップズーム 135
ステレオガンマイクロホン 266
スナップムービー 150
スポット測光 171
スポーツをきれいに撮る 72
スマートフォンとつないで使う 227
スライドショー 208
スリープモード 200
スリープモードからの復帰動作 234
スリープモード（Wi-Fi） 200
ズーム 132
ズーム速度 135
ズームリング操作 135
設定リセット 204
セットアップメニュー 197
セピア 76
ゼブラパターン表示 191
セルフタイマー 123
センサークリーニング 205
センターマーカー表示 190
専用マイク設定 267
操作ロック設定 187
送信サイズ 240
送信ファイル形式 240
測光モード 171
ソフトフォーカス 76

た行

タイトル入力 210
ダイナミックモノクローム 76
ダイヤル設定 42
ダイヤル動作切換設定 42
ダイレクトフォーカス移動 184
多重露出 178
ダストリダクション機能 286
タッチシャッター 47
タッチズーム 136
タッチ設定 187
タッチタブ 187
タッチパッド AF 90、187
タッチパネル 46
タッチ AE 48
タッチ AF 47、187
縦位置検出機能 37
縦位置自動回転 220
縦 / 横位置フォーカス切換 185
ダビング 260
中央重点測光 171
超解像 173
長秒ノイズ除去 174
追尾 AF 83、84
露付き 11
低照度 AF 80
デジタル赤目補正 173
デジタルズーム 134
デフォルトに戻す 54、55
手ブレ補正 128
デモモード 205

テレビ再生 238、252、253
テレビ接続設定 202
電子音 199
電子先幕 176
電子シャッター 176
電子補正（動画） 129
トイフォト 76
トイポップ 76
動画から写真を作成 159
動画再生 158
動画撮影 144
動画撮影中の写真撮影 149
動画分割 219
動画ボタン 39、144、187
動画メニュー 179
動画露出設定 153
時計設定 35
ドライブモード 102
トラベル日付 198
トリミング（切抜き） 218

な行

ナチュラル（フォトスタイル） 167
認証情報 205
認証情報編集 210
ネットワークアドレス表示 251
ネットワーク設定リセット 204
ノイズリダクション 168

は行

ハイキー 76
ハイスピード動画 154
ハイダイナミック 76
ハイライトシャドウ 171
ハイライト表示 191
パソコン接続 244、256
発光禁止 138
発光モード 138、143
バッテリー 20、21、287
バッテリーグリップ 265
バッテリー使用順序 265
花をふんわり撮る 72
パノラマ設定 73
パノラマで撮る 72、73
バルブ撮影 64、233
パワーズームレンズ 135
番号リセット 204
バージョン表示 203
ビエラリンク 202、255
比較明合成 213
ピクセルリフレッシュ 205
ヒストグラム表示 190
日付プリント 262、263
ピント 80、92、147
ピント送り 151
ピンポイント AF 設定 184
ピンポイント（AF） 83、89
ピーキング 189
ファイル番号 203、204、273
ファインダー 38、269
ファインダー / モニター自動切り換え 38
ファンタジー 76
フィルター効果 75、168、169
フィルター設定 169
フィルターなし同時記録 170
風景をきれいに撮る 71
風景（フォトスタイル） 167
フェード 150
フォトスタイル 167
フォルダー番号 203、204、273
フォルダー / ファイル設定 203
フォーカスエリア選択 54
フォーカス合成 117
フォーカスセレクト 114
フォーカスブラケット 126
フォーカスモード 81
フォーカスリングロック 187
フォーカス枠のループ移動 185
フォーカス / レリーズ優先 185
フォーマット 29
ブラケット 124
フラッシュ 137
フラッシュ光量調整 141、143
フラッシュシンクロ 140
フラッシュ設定 138
フラッシュモード 138
プリ記録 106
フリッカー軽減 179
プリント 242、261
プリント枚数 262
ブリーチバイパス 76
プレビュー 67
プログラムシフト 61
プログラム AE モード 61
プロテクト 209
プロフィール設定 196
ヘッドホン音量 181
ボケ味コントロール 60、79
星空 AF 80
ホットシュー 264

ホットシューカバー 264
ポップ 76
ボディ内手ブレ補正 128
ほのぼのした雰囲気で撮る 71
ホワイトバランス 99
ホワイトバランスの調整 101
ホワイトバランスブラケット 127

ま行

マイメニュー設定 206
前ダイヤル 40
マニュアル発光量設定 ..... 138、143
マニュアルフォーカス 92
マニュアル露出モード 63
マルチ測光 171
マーカー 113
メカシャッター 176
メニューガイド 192
文字入力 56
文字焼き込み 216
モニター ..... 34、269
モニター輝度 201
モニター撮影情報画面 ..... 44、51、53、192
モニター調整 201
モニター表示速度 201
モノクロで撮る 72
モノクロライブビュー 188
モノクローム ..... 76、167

や行

夜景を暖かく撮る 72
夜景をアーティスティックに撮る 72
夜景をきれいに撮る 72
夜景を手持ちで撮る 72
夜景をバックに人物をきれいに撮る 72
夕焼けを印象的に撮る 71
夕焼けを幻想的に撮る 71
用紙サイズ 262
夜空をクールに撮る 72

ら行

ライブビューコンポジット 65
ライブビューブースト 189
ラフモノクローム 76
リサイズ（縮小） 217
リモコンの動画ボタン 266
リモート起動 231
リモート撮影 232
リモート優先操作設定 232
粒状 168
料理をおいしそうに撮る 72
ループ記録 106
レイアウト 262
レトロ 76
連写 103
連写速度 103
レンズ ..... 18、31、287
レンズ位置メモリー 193
レンズ動作音低減 180
レンズ内手ブレ補正 128
レンズフード 32
レンズ Fn ボタン設定 193
連続撮影可能枚数 103
レーティング 209
録音レベル設定 152
録音レベル表示 152
録音レベルリミッター 152
露出ブラケット 125
露出補正 96
露出補正画面の操作 41
露出補正リセット 183
露出補正連動 141
露出メーター 192
ローキー 76

わ行

ワイヤレス設定 142
ワイヤレスチャンネル 142
ワイヤレス通信光量 143
ワイヤレスフラッシュ 142
ワイヤレスプリント 242
ワイヤレスモード 142
ワイヤレス FP 143
ワンプッシュ AE 68
ワンポイントカラー 76
ワールドタイム 197

英数字

1 点（AF） 83
1 枚消去 ..... 55、163
49 点（AF） ..... 83、185
4K 動画 252
4K フォト 105
4K フォト一括保存 110
4K プリ連写 ..... 105、106
4K ライブクロップ 155
4K 連写 105
4K 連写ファイル 106
4K 連写（S/S） ..... 105、106
5 軸ハイブリッド手ブレ補正 129

AC アダプター 267、288
AF 80
AF エリア表示 185
AF カスタム設定（動画） 148
AF 追従感度（写真） 82
AF 補助光 184
AF 連続動作（動画） 147
AFC 81、147
AFF 81、147
AF-ON 95
AFS 81、147
AFS/AFF 81
AF/AE ロック 95
AF/AE ロック維持 183
AF/AE ロック切換 95
AF+AE 91
AF+MF 186
AV 機器（Wi-Fi 接続） 243
AVCHD 146
AVCHD Progressive（プログレッシブ） 146
Bluetooth（メニュー） 199、225
B（バルブ） 64、233
CLUB Panasonic 登録 197
DC カプラー 267
DCF 規格 157
Dual I.S.（デュアル） 方式 128
EX テレコン 132
Fn ボタン 53
Fn ボタン設定 53
HDAVI Control™（コントロール） 255
HDMI 出力解像度（再生時） 202
HDMI 情報表示（撮影時） 202、254
HDMI マイクロケーブル 253、255
HDR 177
i 手持ち夜景 59
iD レンジコントロール 172
iHDR 59
Image App 224
iOS 224
IP アドレス 251
ISO オート上限設定 173
ISO 感度 97
ISO 感度画面の操作 41
ISO 感度ステップ 183
ISO 感度設定（写真） 173
ISO 感度設定（動画） 154
i.ISO（インテリジェント ISO） 97
LC（ライブビューコンポジット） 65
LVF 調整 201
LVF/ モニター切換 201
LVF/ モニター自動 OFF 200
LVF/ モニター表示スタイル 54
LVF/ モニター表示設定 43
L. モノクローム 167
L. モノクローム D 167
MAC アドレス 251
MF 92
MF アシスト 186
MF アシスト表示 186
MF ガイド 192
MP4 146
PC 接続設定 250
PHOTOfunSTUDIO 256
PictBridge（ピクトブリッジ） 261
Q.MENU（クイックメニュー） 51、187
RAW 166
RAW 現像 211
SD スピードクラス 28
TTL 138
TV で見る（Wi-Fi 接続） 238
UHS スピードクラス 28
USB 給電 202
USB 接続ケーブル 22、258、261
USB モード 202
V-Log L 148、167
WB/ISO/ 露出補正ボタン 186
Wi-Fi 機能 221
Wi-Fi 機能ロック 251
Wi-Fi 設定メニュー 250
Wi-Fi ネットワーク設定 199
Wi-Fi パスワード 250
WIRELESS 接続ランプ 199、222
WPS 246

パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント＆コミュニケーション株式会社
〒570-0021　大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2022